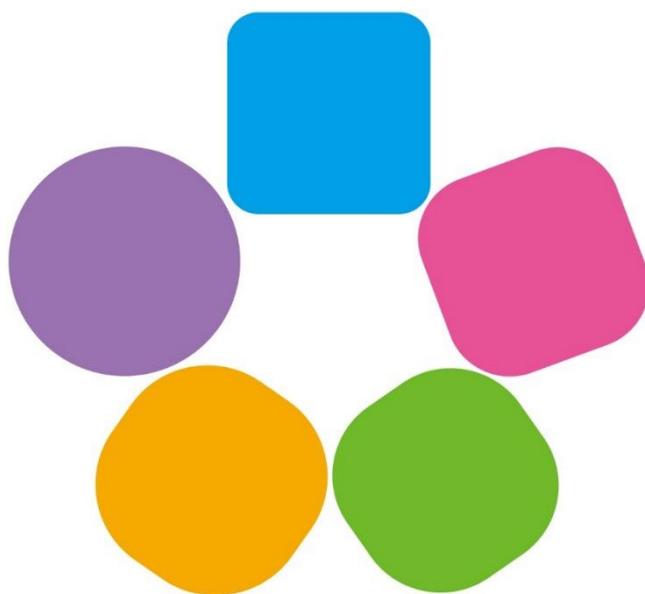


令和6年度

まちづくり報告書

～ 愛南町総合計画の進行管理 ～

令和5年度成果実績



愛南町

目 次

1	まちづくり報告書の基本的な考え方	1
	(1) まちづくり報告書とは.....	1
	(2) 総合計画と行政評価.....	1
	(3) 行政評価による総合計画の進行管理.....	2
	(4) 3つの視点で総合計画を進行管理.....	3
	(5) 報告にあたって.....	3
2	まちづくりの進展度（対基準値）	4
	(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）.....	4
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）.....	4
	(3) 政策別のまちづくり動向（266 指標）.....	5
3	前年度指標値との差異（対前年度）	6
	(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）.....	6
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）.....	6
	(3) 政策別のまちづくり動向（266 指標）.....	7
4	前期基本計画の目標達成状況（目標達成度）	8
	(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）.....	8
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）.....	8
	(3) 政策別のまちづくり動向（266 指標）.....	9
5	まちづくりの分野別進行状況	10

1 まちづくり報告書の基本的な考え方

(1) まちづくり報告書とは

愛南町総合計画は、町の政策を定める最上位の計画であり、町民、事業者及び行政がそれぞれの果たすべき役割と責任を分担して、総合的かつ計画的にまちづくりに取り組んでいくための指針となるものです（愛南町自治基本条例第24条）。

愛南町が2004（平成16）年に誕生し、その間に本町を取り巻く社会情勢は大きく変化しました。人口減少社会や多様化する行政ニーズに対応していくことが求められます。

そのため、合併時に策定した第1次愛南町総合計画の成果状況を踏まえて、平成26年3月に第2次愛南町総合計画を策定し、令和3年度末で計画期間が終了し、令和4年度から第3次愛南町総合計画がスタートいたしました。

本町の総合計画では、分野別にまちづくりの目標となる町のめざす姿と、成果指標を設定しています。まちづくりの成果を把握することで、まちづくりがどの分野でどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、町のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取組状況を町民の皆さんにお知らせするものです。本書は、第3次愛南町総合計画の令和5年度成果実績について報告いたします。

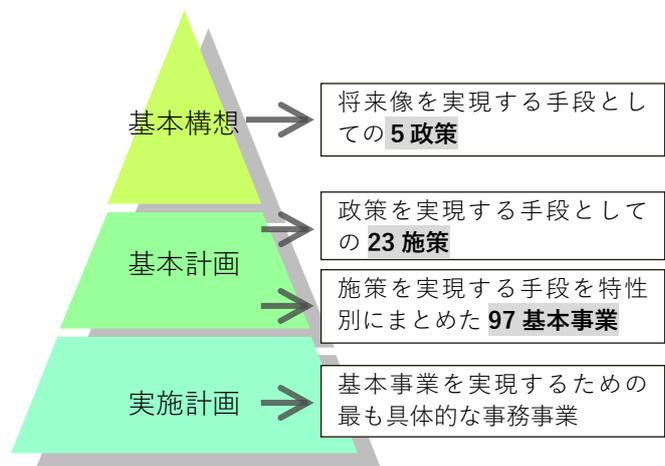


(2) 総合計画と行政評価

第3次愛南町総合計画では、将来像を「ともに彩（いろどり）を育（はぐく）むまち いろこい あいなん」と定め、この将来像を実現するための5つの政策、政策の下には23の施策、97の基本事業を掲げています。

さらに基本事業を実現するための具体的な手段としての事務事業が位置づけられ、施策体系を構成します。

また、愛南町では町民の視点に立った行政経営に取組み、限られた行政資源で成果重視の行政をめざし、行政評価を導入し、将来像の実現に向けた取組の進捗状況を管理しています。

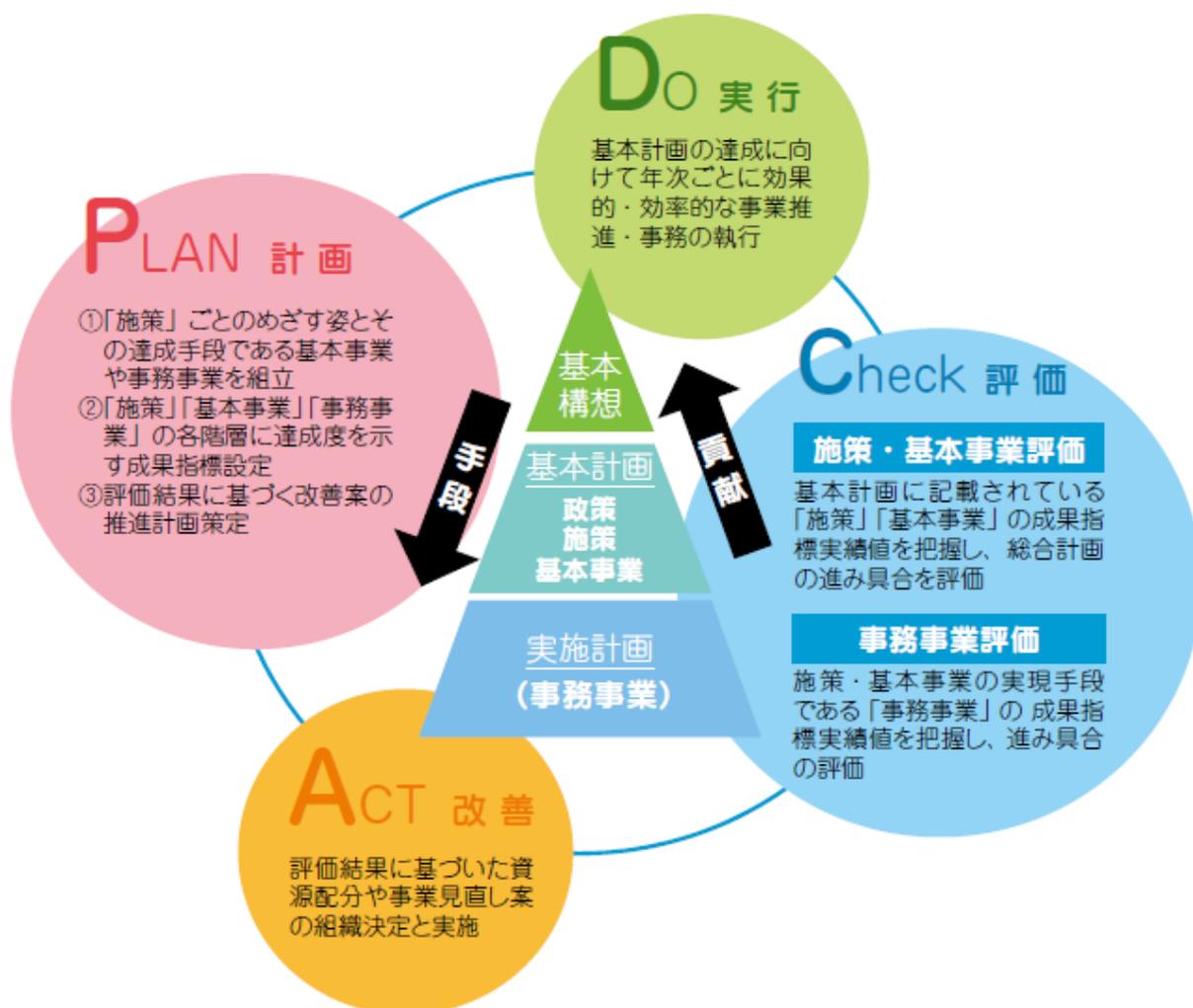


(3) 行政評価による総合計画の進行管理

愛南町では、施策・基本事業に各分野のまちづくりの「めざす姿」の達成状況をあらわす「ものさし」として成果指標を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行うことができるようになりました。

評価の結果は、まちづくりを進めていく上での意思決定の判断材料や税金活用の説明責任資料として活用し、計画の策定 (Plan)、計画の実施 (Do)、計画の評価 (Check)、評価結果に基づく改善 (Act) というPDCAのマネジメントサイクルをまわして、行政経営の質を向上させるものです。

行政経営サイクル (PDCAサイクル)



(4) 3つの視点で総合計画を進行管理

総合計画は、民間企業における中期経営計画のような位置づけとなります。

民間企業の中期経営計画では、目標達成度にもみ焦点があたっています。

しかし、地方自治体の総合計画は、住民意識・行動や法改正の影響、地勢（所在地）など民間企業ほど主体的に変化させづらい要素があります。また、イベント等は天候により参加者数が大きく増減する等の影響を受けることもあります。

そのため、愛南町の総合計画進行管理では、以下の3つの視点で多角的に評価します。

視 点	評価基準
対基準値	まちづくりの進展度を評価する(どの程度計画開始前より良くなったか) ★第3次総合計画開始時点の基準値と比較する
対前年度	昨年度との差異を評価する(天候などの影響で上下することもあり、一喜一憂に留意) ★昨年度指標値と比較する
目標達成度	第3次総合計画の目標値の達成状況の評価する(中期的な計画の達成度を評価) ★第3次総合計画の前期目標値(R7年度)と比較する

(5) 報告にあたって

①各種図表の数値の合計が100%にならない場合があります。

報告書の読みやすさから、小数点を第1位または第2位までの表示にする小数点の端数処理によるものです。

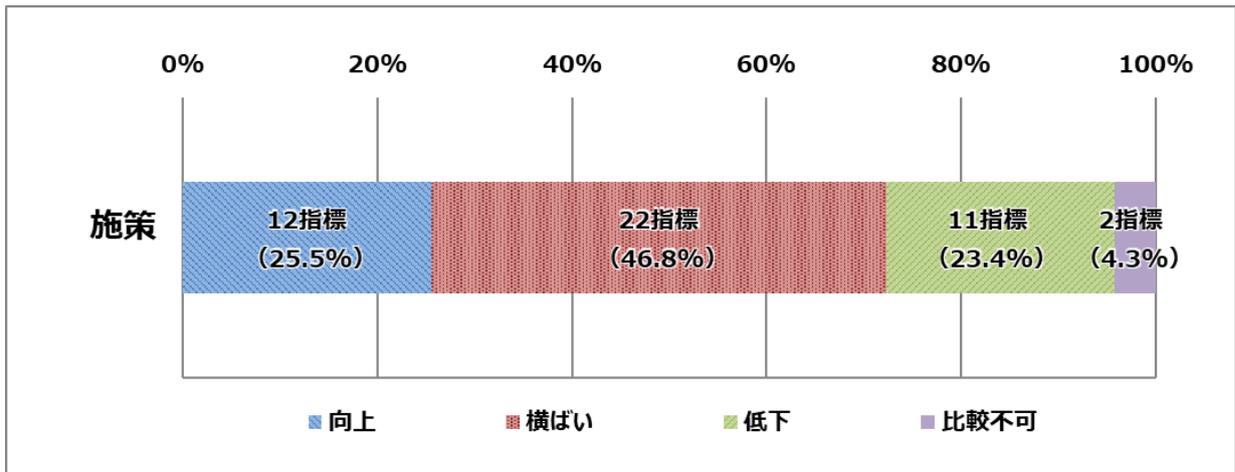
②本報告書の令和4年度の施策コスト、基本事業コストと「令和5年度まちづくり報告書」の施策コスト、基本事業コストが異なる場合があります。

2 まちづくりの進展度（対基準値）

第3次愛南町総合計画前期基本計画で設定した施策・基本事業の266の成果指標の前期計画開始前の値である基準値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

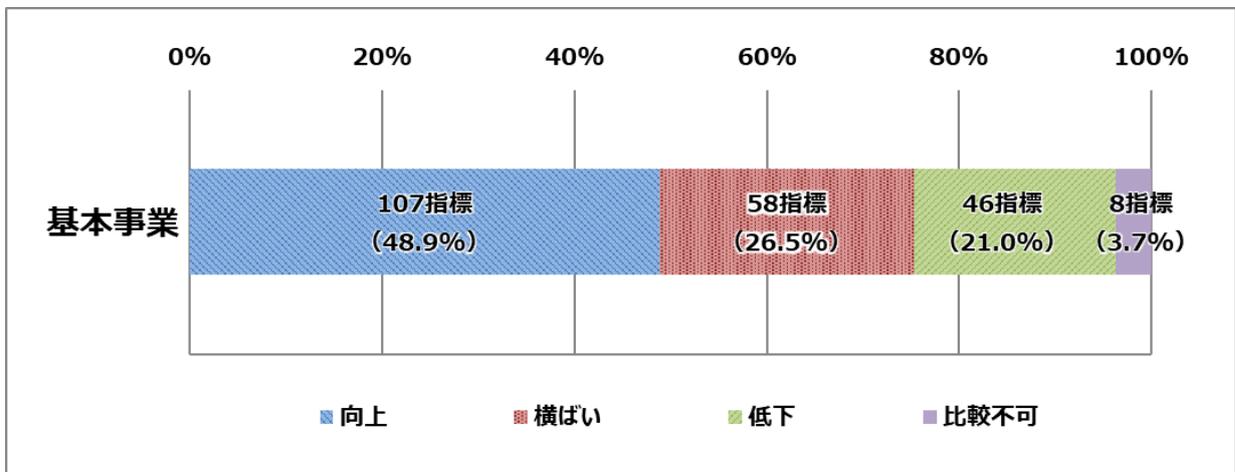
（1）施策の成果指標動向（23施策47指標）

23施策の成果として設定されている47の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は12指標（25.5%）、横ばいの指標は22指標（46.8%）、低下の指標は11指標（23.4%）、比較不可の指標は2指標（4.3%）となっています。



（2）基本事業の成果指標動向（97基本事業219指標）

97基本事業の成果として設定されている219の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は107指標（48.9%）、横ばいの指標は58指標（26.5%）、低下の指標は46指標（21.0%）、比較不可の指標は8指標（3.7%）となっています。

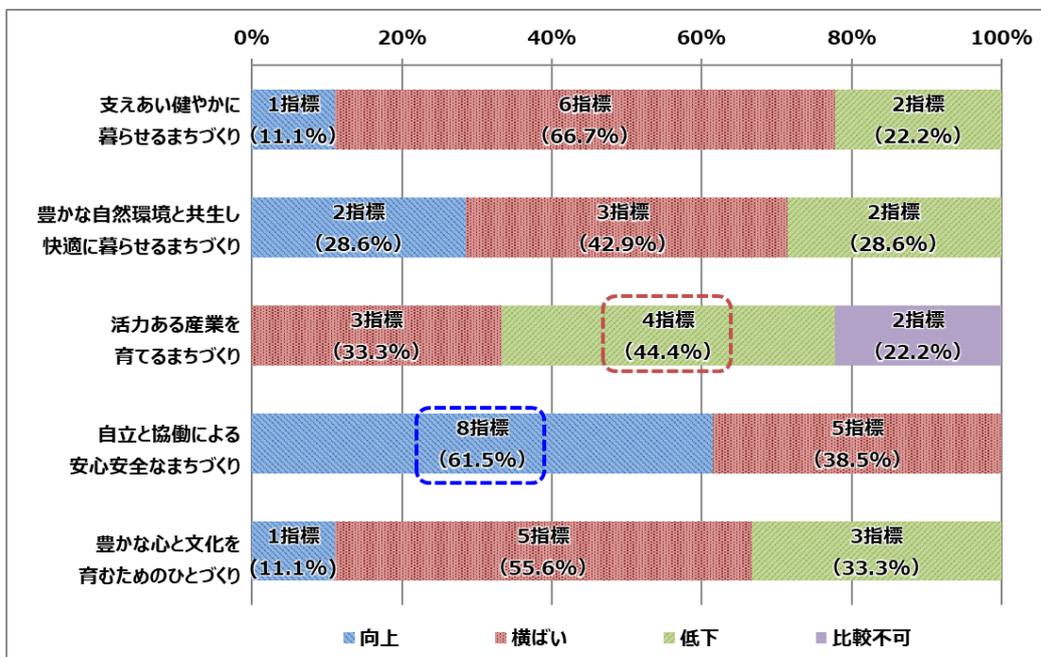


(3) 政策別のまちづくり動向 (266 指標)

〈施策階層〉 対基準値

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「自立と協働による安心安全なまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

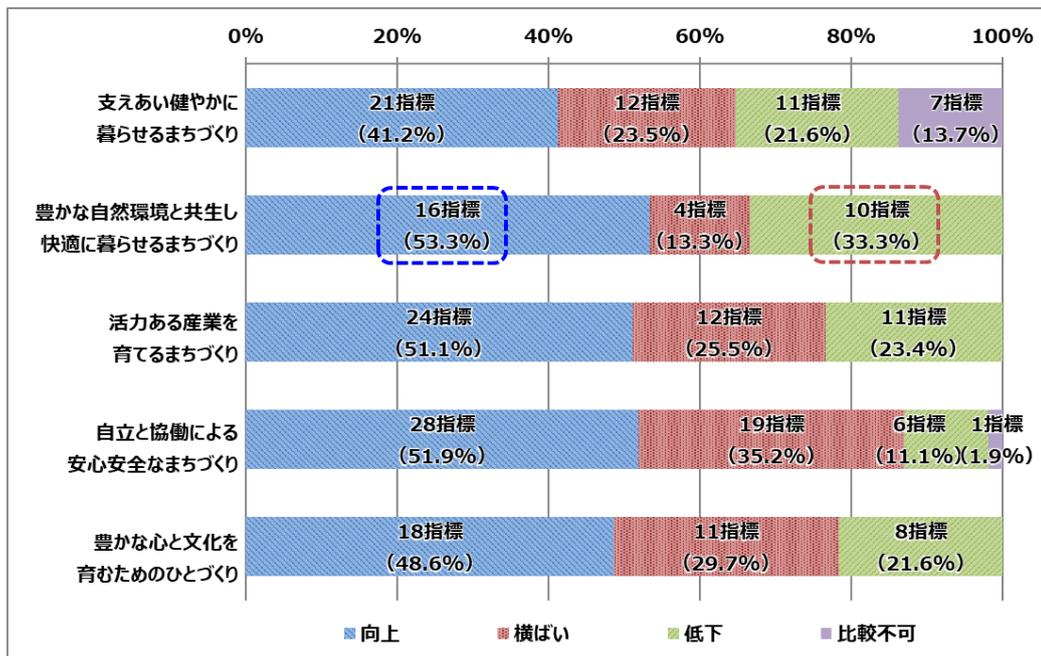
■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (47 指標)



〈基本事業階層〉 対基準値

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」

■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (219 指標)

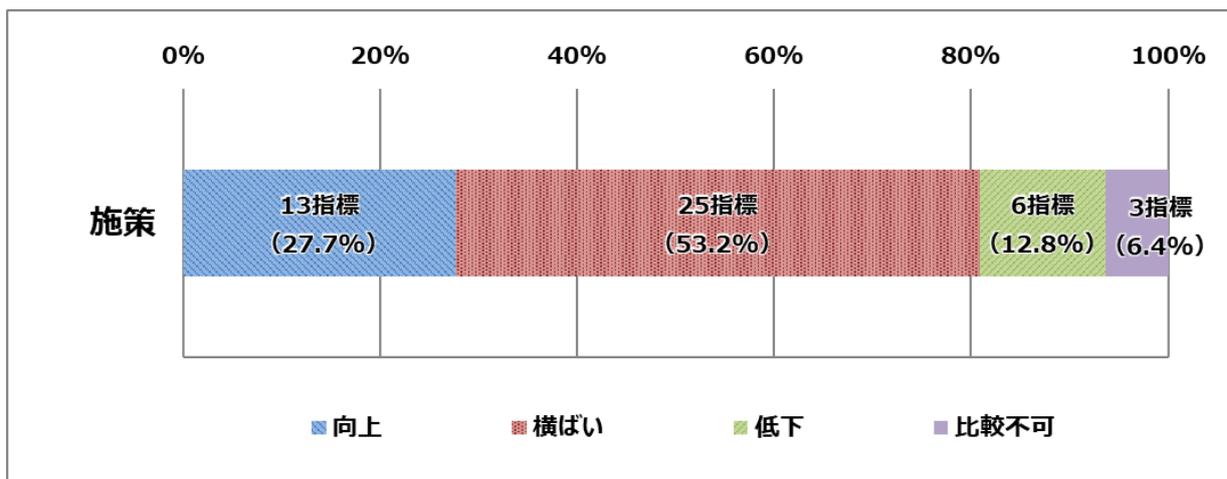


3 前年度指標値との差異（対前年度）

第3次愛南町総合計画前期基本計画で設定した施策・基本事業の266の成果指標の前年度値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

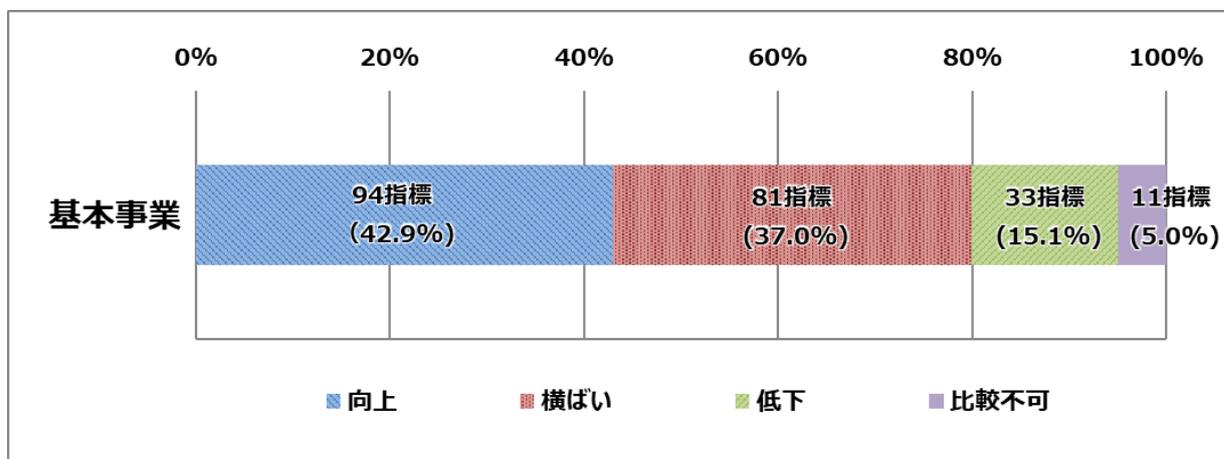
(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）

23 施策の成果として設定されている47の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は13指標（27.7%）、横ばいの指標は25指標（53.2%）、低下の指標は6指標（12.8%）、比較不可の指標は3指標（6.4%）となっています。



(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）

97 基本事業の成果として設定されている219の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は94指標（42.9%）、横ばいの指標は81指標（37.0%）、低下の指標は33指標（15.1%）、比較不可の指標は11指標（5.0%）となっています。

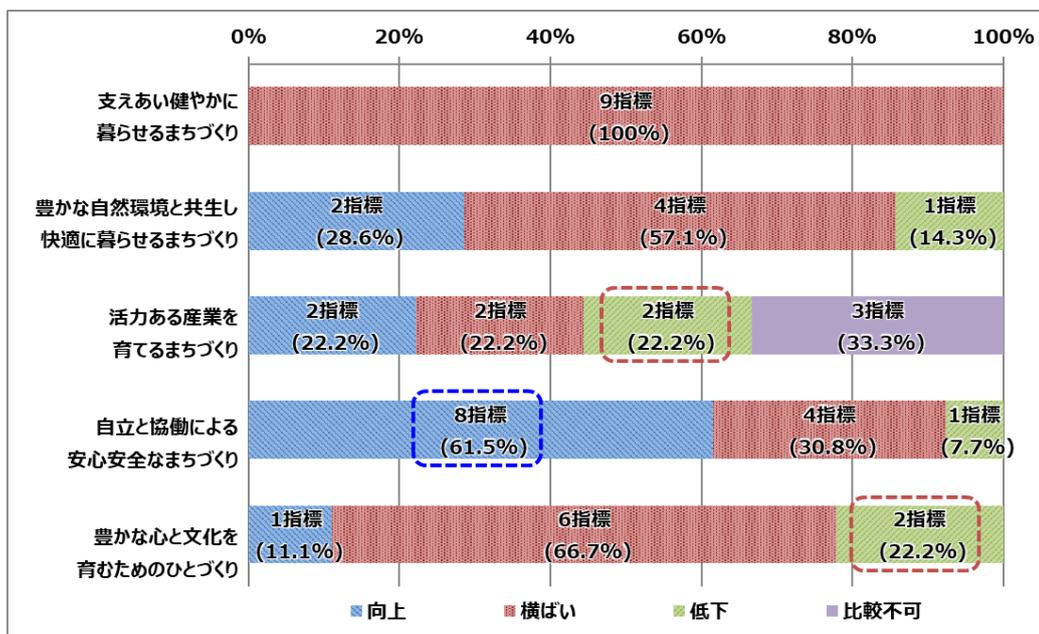


(3) 政策別のまちづくり動向 (266 指標)

〈施策階層〉 対前年度

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「自立と協働による安心安全なまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」、
「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」

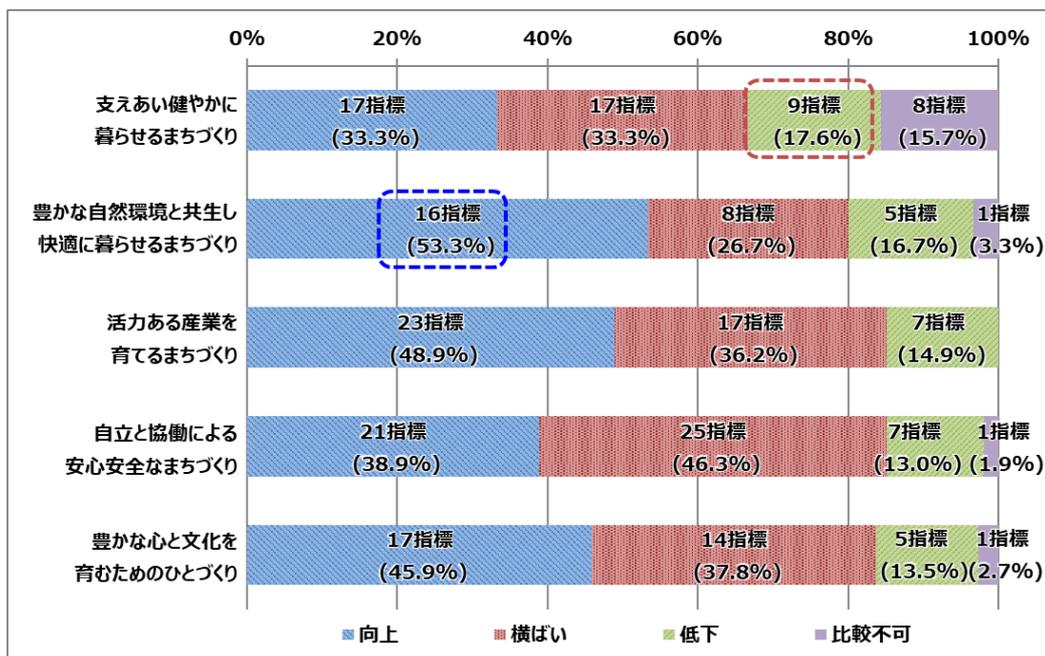
■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (47 指標)



〈基本事業階層〉 対前年度

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「支えあい健やかに暮らせるまちづくり」

■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (219 指標)



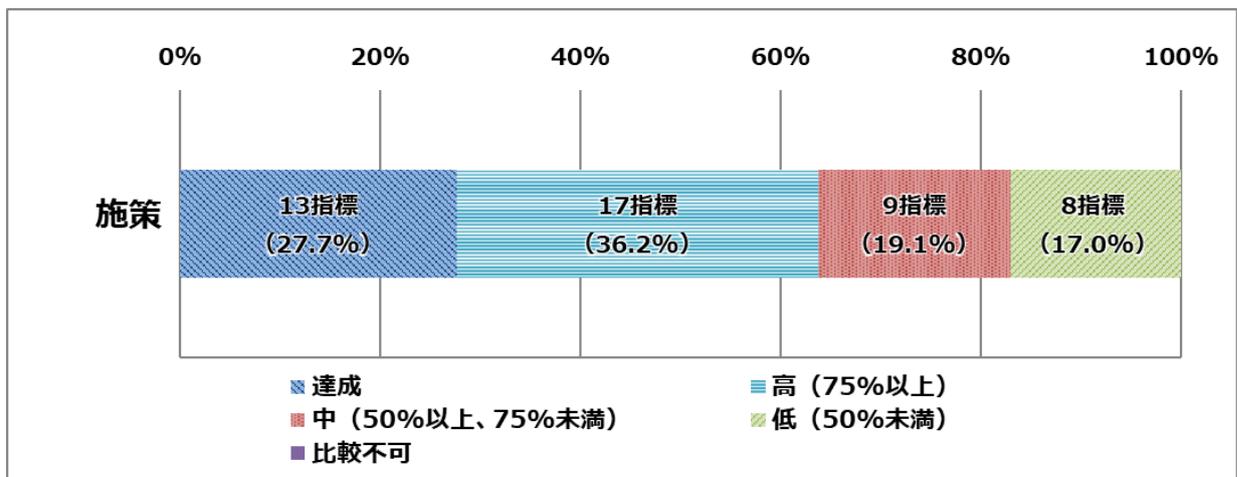
4 前期基本計画の目標達成状況（目標達成度）

第3次愛南町総合計画前期基本計画で設定した施策・基本事業の266の成果指標の令和5年度目標値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

なお、今回の報告は、前期基本計画4年間の1年度の評価となっています。

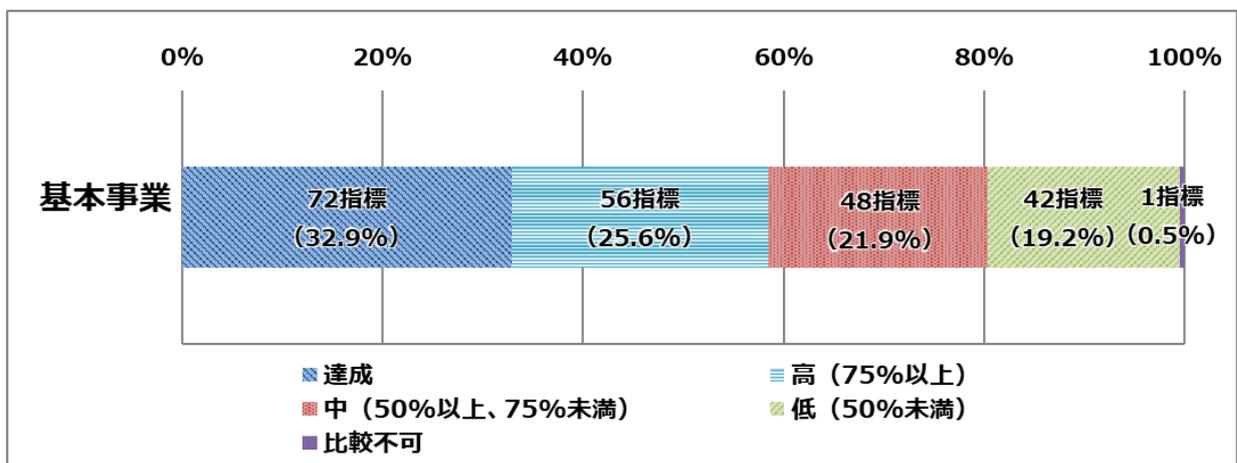
（1）施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）

23 施策の成果として設定されている47の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は13指標（27.7%）、達成度75%以上（高）の指標は17指標（36.2%）、達成度50%以上（中）の指標は9指標（19.1%）、達成度50%未満（低）の指標は8指標（17.0%）、比較不可の指標は0指標（0%）となっています。



（2）基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）

97 基本事業の成果として設定されている219の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は72指標（32.9%）、達成度75%以上（高）の指標は56指標（25.6%）、達成度50%以上（中）の指標は48指標（21.9%）、達成度50%未満（低）の指標は42指標（19.2%）、比較不可の指標は1指標（0.5%）となっています。

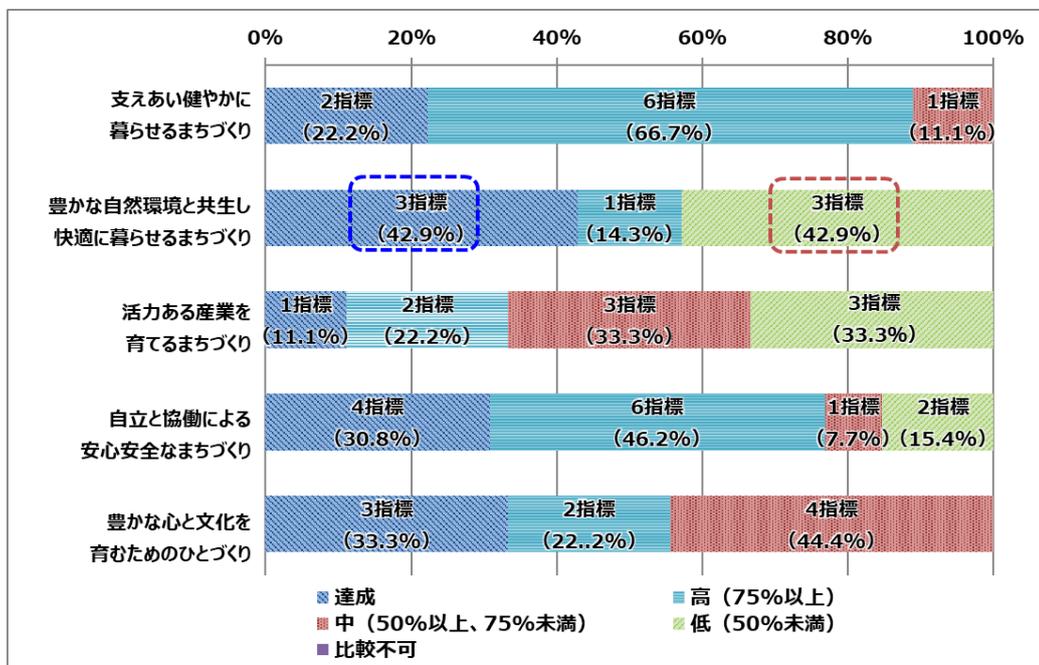


(3) 政策別のまちづくり動向 (266 指標)

〈施策階層〉 目標達成度

- ・ 目標を達成したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 目標達成度が低いと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」

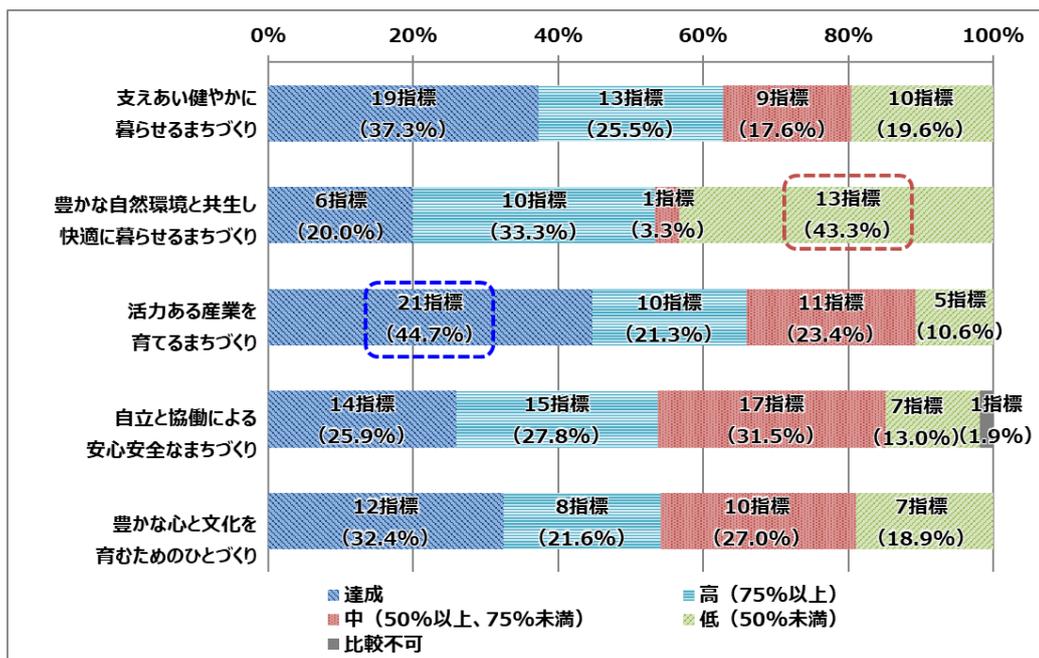
■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (47 指標)



〈基本事業階層〉 目標達成度

- ・ 目標を達成したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」
- ・ 目標達成度が低いと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」

■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (219 指標)



5 まちづくりの分野別進行状況

愛南町の将来像「ともに彩（いろどり）を育（はぐく）むまち いろこい あいなん」を実現するために、愛南町の課題を踏まえ、5つの政策を柱に、23の施策、97の基本事業を設定し、まちづくりを推進しました。

まちづくりの分野別進行状況では、施策及び基本事業ごとに設定した成果指標に基づき、どれぐらいまちづくりの「めざす姿」に近づいているのかを、指標の動向や変動要因の分析などによりお知らせします。



政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-01-01 子どもの健やかな成長

基本事業 01-01-02 保育サービス等の充実

基本事業 01-01-03 地域における子育て支援

基本事業 01-01-04 子どもの人権尊重

基本事業 01-01-05 家族形成意識醸成の支援

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

保育所の入所児童数は令和5年度末369人（広域受託児童除く）で、待機児童は発生していません。未満児（3歳児未満）の受入れが増えたため昨年度から5名の増加となっておりますが、長期的には保育所の児童は減少傾向にあり、保育所の統廃合の基準に該当する保育所もでてきています。平成28年度からの保育料第2子無料化、令和元年10月からの幼児教育・保育無償化に加え、令和5年10月からは3歳以上児に係る副食費の無償化を開始し、保護者の経済的な負担軽減を図っています。課題としては慢性的な保育士不足が挙げられ、少子化や人口減少を見越した長期的な保育・サービスのあり方を考える必要があります。

就学後については、放課後児童クラブを3か所設置しています。令和5年度末現在で89名の利用となっており、年度途中で1か所で定員が超過していましたが、弾力的な受け入れを行うことで待機児童なく運営できています。その他、放課後子ども教室、おかえり子どもクラブ、放課後図書クラブなど、放課後に子どもが安心して過ごせる多様な居場所づくりに努めています。課題としては、慢性的な人材不足に加え支援の必要な家庭や児童の新たな居場所づくりが挙げられ、関係機関が連携して検討していく必要があります。

令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婚活イベントを中止しましたが、令和4年度に再開しています。若い世代がよきパートナーと巡り合い、安心して子どもを産み、育てていくためのサポートの一環として、独身男女に出会いの場の提供や経済的な支援の必要があります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.93 (2.95)	2.96 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.88 (3.67)	3.93 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につながる子ども・子育て支援の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
家族形成を考える世代、子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童保育を利用する子どもの保護者）	安心して産み、子育てができる環境を整えます。

施策の成果状況と評価

指標	保護者による「子育てしやすいまち」に関する評点（100点満点） 上がると良い指標 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		点	76.4	72.2	76.2	80	☁️ (横ばい) 対前年度
評価	（状況）令和5年度は76.2点で前年度を4.0ポイント上回っています。 （原因）「子育てしやすいまちだと思ふ」の割合が増えています。保育所及び放課後児童クラブの待機児童はなく、また、アンケート結果でも保育ニーズは概ね満たしていると考えられます。子育て環境に係るサービスは大部分で充実できており、今後も安定したサービスの提供と質の向上を図り、保護者の安心感を高めていけるよう努めていきます。					☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)	

指標	合計特殊出生率 上がると良い指標 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		()	1.12	1.41	1.25	1.5	☁️ (横ばい) 対前年度
評価	（状況）令和5年度は1.25で前年を0.16ポイント下回っています。 （原因）前年度と比較し15歳から49歳の女性人口が106人減少し、出生数も8人減少したことが、低下の原因と考えます。15歳～34歳の出生数は減少しており、35歳～39歳までの出生数は横ばいです。婚姻率をあげるための取組みや子どもを産み育てやすい事業実施に努めていきます。					☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)	

施策のコスト（千円）

R04	R05
848,700	843,238

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につながる子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-01 子どもの健やかな成長

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 妊娠期から思春期の子どもと保護者	基本事業がめざす姿 妊娠期から思春期まで親子が健やかに過ごすことができます。
------------------------------------	--------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
妊娠20週以降の妊娠届出数 【保健福祉課】 下がると良い指標	件	0	4	0	0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
(状況) 20週以降の妊娠届出数は0件で、目標を達成しています。 (原因) 望んだ妊娠の方が多く、早めの受診をしている妊婦が多かったことが要因と考えられます。						
3歳児健診の受診率 【保健福祉課】 上がると良い指標	%	100	98.7	98.4	100	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)
(状況) 3歳児健診の受診率は98.4%と、前年度より0.3ポイント低下し、目標に達していませんが、ほとんどの児が受診しています。 (原因) 体調不良により年度内に受診できていない児がいたため、100%となっていないが翌年度に受診できています。						
3歳児健診におけるむし歯のある子どもの割合 【保健福祉課】 下がると良い指標	%	18.1	12.8	13.1	16.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
(状況) むし歯のある子どもの割合は13.1%と、前年度より0.3ポイント増加していますが、目標を達成しています。 (原因) 健診時のブラッシング指導や、仕上げ磨きの必要性についての情報提供等により、保護者のむし歯予防に対する意識が向上していることが考えられます。						
若年妊婦の割合 【保健福祉課】 下がると良い指標	%	1.5	1.7	3.4	1.0	(低下) 対前年度 (低下) 目標達成度 (低)
(状況) 若年妊婦の割合は3.4%で、前年度と比較して1.7ポイント増加しており、目標を達成していません。 (原因) 若年妊婦の届出件数は横ばいですが、妊娠届出件数が減少傾向にあり、全体に占める若年妊婦の割合が高くなったためと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
40,770	38,430

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-02 保育サービス等の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童保育等を利用する子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 保育サービスや放課後の居場所の充実により、保護者が安心して子どもが預けられ、働くことができます。
-------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
保育所を利用している保護者の満足度(100点満点) 上がると良い指標 【保健福祉課】	点	80.6	86.4	86.0	80	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
(状況) 令和5年度は86.0点で前年度を0.4ポイント下回っていますが、サービスに変更がないため、統計誤差の範囲と考えます。 (原因) 待機児童なしで受け入れできており、また、提供している各種保育サービスについても概ね満足を得られていることが要因と考えます。						
学童保育を利用している保護者の満足度(100点満点) 上がると良い指標 【保健福祉課】	点	76.8	78.2	80.0	80	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
(状況) 令和5年度は80.0点で前年度を1.8ポイント上回っています。 (原因) 令和5年度は待機児童がなく、全ての児童の受け入れができました。アンケートの結果からは、子どもへの接し方や行事に高い満足度が得られており、また、全体的にも概ね満足を得られています。継続してサービスの質の向上に努めていることが要因と考えられます。						
放課後の児童の受入事業(施設)設置数 その他の指標 【保健福祉課】	か所	8	10	10	8	(向上) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
(状況) 令和5年度は前年度と同じになっています。 (原因) 放課後の居場所づくりは、保護者や児童のニーズを確認しながら進めていますが、令和5年度は新たに設置又は廃止した居場所がなかったことが要因です。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
216,776	224,062

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-03 地域における子育て支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童保育を利用する子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 子育ての不安や悩みを取り除きます。
------------------------------------------------------	---------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	子育てについて相談できる相手（場所）がいる（ある）保護者の割合 【保健福祉課】	%	93.5	93.5	94.6	100	対基準値
	上がるの良い指標						対前年度 目標達成度 ■ (高)
評価	（状況）令和5年度は94.6%で前年度を1.1ポイント上回っていますが、目標を達成していません。 （原因）アンケート結果では、相談先に行政機関を選じた人の割合は全回答者の62.2%となっています。相談先があると回答した割合は高い数値となっていますが、一方で新たな相談先や情報の入手先が増えていないため、ほぼ横ばいになったと考えられます。						

指標	内容	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	子育てについて相談できる相手（場所）の相談先の数（人、行政機関等） 【保健福祉課】	相談先数	4.2	3.9	4.0	4.5	対基準値
	上がるの良い指標						対前年度 目標達成度 ■ (高)
評価	（状況）令和5年度は4.0件で前年度を0.1ポイント上回っていますが、目標を達成していません。 （原因）相談できる相手がいる保護者の割合が昨年からはほぼ変わっていないことが要因の一つと考えられます。相談先がないと回答した人の割合は5.4%になっています。また、相談先として行政機関と回答する保護者は例年15%～16%程度に推移しており、この割合が伸びていないことも一つの要因と考えられます。						

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
32,216	34,894

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-04 子どもの人権尊重

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子ども	基本事業がめざす姿 人権や権利が守られ、生活できます。
----------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	虐待ケースの終結の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 指標のとらえ方の変更による 【保健福祉課】	%	28.0	29.8	27.7	30.0	☁️
評価	(状況) 令和5年度は27.7%で前年を2.1ポイント下回っています。 (原因) 令和5年度の新規認知件数は横ばいとなっており、業務の推進体制や制度に変更がないため統計誤差の範囲と考えます。引き続き関係機関と連携して、虐待防止に向けた啓発と妊娠期からの継続した支援に努めていきます。						(横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
8	0

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-05 家族形成意識醸成の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
20歳以上の独身者	若い世代を中心に婚姻率が高まります。 若い世代の婚姻や家族形成意識を醸成し、次世代が育成されます。

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
出会いの場を提供したカップルの延べ成婚数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【企画財政課】	組	5	6	6	9	☀️ (向上)
評価 (状況) 出会いの場を提供したカップルの延べ成婚数は6件で、前年度から横ばいです。 (原因) 出会いの場を提供するイベントの参加者や、愛結びへの登録者が少ないことが原因と考えています。結婚したい意志がある人が参加しやすいイベントを行う必要や、愛結びの周知を図る必要があります。	(組)					☁️ (横ばい)
						■ ■ (中)

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
婚姻率（人口1,000人当たり） 上がると良い指標 【企画財政課】	%	2.0	2.2	2.2	2.5	☀️ (向上)
評価 (状況) 婚姻率は2.2%で、前年度から横ばいです。 (原因) 人口の減少、出会いの場が少ないこと、経済的な問題等が原因と考えられます。かつての皆婚規範に対して、近年では結婚を選択的行為として捉える見方が広まり、個人の意識の問題も原因として考えられます。	(%)					☁️ (横ばい)
						■ ■ (低)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
3,487	10,971

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
555,443	534,881

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-02-01 安心と尊厳のある暮らしの保持

基本事業 01-02-02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進

基本事業 01-02-03 地域における支えあい・連携の強化

基本事業 01-02-04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備

基本事業 01-02-05 介護保険サービスの充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

令和5（2023）年4月1日現在の高齢化率は46.3%で、令和22（2040）年には58.6%になると推計されています。また、町内の127地区（行政区）のうち62地区が限界集落であることに加え、単身高齢者世帯の割合の増加や活動している老人クラブ数が減少するなど、地域力の低下や人間関係の希薄化が進んでいます。一方で介護人材の不足も進んでいることから、地域における支え合い連携の強化が必要となっています。

要支援・要介護認定の新規該当者の平均年齢は、令和5（2023）年度では81.5歳・82.2歳と昨年度、また、総合計画基準値と比較しても低下しています。これまでも高齢者になるべく要介護状態にならず自立した生活が送れるように「自立支援・重度化防止」に向けた取組を推進してきましたが、これまで以上に介護予防の普及・啓発に努めていく必要があります。令和5年度に制作した介護予防体操を今後は広く活用し、高齢者等が介護予防（フレイル予防）についての正しい知識や技術を習得し、運動機能の維持向上に取り組みながら、健康でいきいきとした生活が送れるよう支援していきます。

介護人材の不足については、介護給付の適正化を行う一方で、新たな介護の担い手の確保と地域で支える仕組みづくりを進めていき、地域包括ケアシステムの更なる深化に向け取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	2.96 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.79 (3.67)	3.84 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
高齢者、家族、地域住民、事業者	高齢者が健康で、生きがいをもって住み慣れた地域で生活できます。

施策の成果状況と評価

指標	自立高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	79.2	79.5	79.4	80.0	(横ばい) 対前年度
評価	(状況) 自立高齢者の割合は79.4%で、前年度より0.1ポイント低下し、横ばいです。 (原因) 自立高齢者の割合は横ばい状態ではありますが、介護予防への取り組みにより要支援・要介護者の増加に歯止めをかけられているためと考えられます。						(横ばい) 目標達成度
							■ (高)

施策のコスト(千円)

R04	R05
3,989,959	4,065,751

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-01 安心と尊厳のある暮らしの保持

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
高齢者、家族	高齢者の権利が守られるとともに必要な時に相談することができ、安心して暮らせるための支援を受けられます。

基本事業の成果状況と評価

指標	高年齢者の人権が侵害された件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【高齢者支援課】	件	4	3	2	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 高齢者の人権が侵害された件数は2件で、前年度と比べて1件減少し、順調です。 (原因) 地域住民、民生児童委員、関係機関等と連携を図り、高齢者虐待や消費者被害を早期発見・対応ができたことで、件数の増加を防げたものと考えられます。						☀️ (向上) ☀️ (向上) ■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
9,612	11,486

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-02 介護予防・健康づくり・生きがいくりの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 自発的な社会活動や各種事業を通じて、介護予防・健康づくりに取り組み、生きがいを持って生活しています。
----------------	-----------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	要支援認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	歳	81.8	82.6	81.5	82.3	☂ (低下)
評価	(状況) 要支援認定者の新規該当者の平均年齢は81.5歳で、昨年度と比べて1.1歳低下しており、停滞しています。 (原因) 介護サービスが身近になり、利用しやすい環境が整っていることが一因と考えられます。						☂ (低下)
		対前年度	☂ (低下)	目標達成度	■ (低)		
指標	要介護認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	歳	82.4	82.8	82.2	83.3	☁ (横ばい)
評価	(状況) 要介護認定者の新規該当者の平均年齢は82.2歳で、昨年度と比べて0.6歳低下しており、停滞しています。 (原因) 介護サービスが身近になり、利用しやすい環境が整っていることが一因と考えられます。						☂ (低下)
		対前年度	☂ (低下)	目標達成度	■ (低)		
指標	生きがいをもっている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	55.2	61.8	67.0	60.0	☀ (向上)
評価	(状況) 生きがいをもっている高齢者の割合は67.0%で、昨年度と比べて5.2ポイント増加し、目標値に達しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、地域での集まりや文化活動、屋内外での軽スポーツ等の活動が再開され、生きがい活動に取り組む人が増えてきたためと考えられます。						☂ (低下)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	🏠 (達成)		

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
84,948	100,597

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-03 地域における支えあい・連携の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者、地域住民、医療・介護従業者	基本事業がめざす姿 地域における支え合いや連携を強化することで、高齢者が住み慣れた地域で生活していくことができます。
-------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	相談相手がない高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値	
	下がるが良い指標 【高齢者支援課】	%	10.1	16.3	12.0	8.0	☂ (低下)	
評価	(状況) 相談相手がない高齢者の割合は12.0%で、昨年度と比べて4.3ポイント低下し、順調となっています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、親族間の交流が徐々に増え、さらに、地域活動の再開により、地域内外における交流が増えてきたことが要因だと考えられます。					☀ (向上)	☀ (向上)	■ (低)
指標	第2層協議体の設置数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値	
	上がるが良い指標 【高齢者支援課】	協議体	0	1	2	4	☀ (向上)	
評価	(状況) 第2層協議体の設置数は2協議体で昨年度と比べて1協議体増加し、順調です。 (原因) 旧5か町村に毎年1か所ずつ設置し、地域の支え合いや助け合いの活動を推進していく計画としています。					☀ (向上)	☀ (向上)	■ (中)
指標	他の事業所との連携ができていると答える医療・介護従事者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値	
	上がるが良い指標 【高齢者支援課】	%	72.3	-	69.3	73.0	☂ (低下)	
評価	(状況) 他の事業所との連携ができていると答える医療・介護従事者の割合は69.3%で、昨年度は現状値がないため(3年に1度実施するアンケート結果を指標にしているため)、総合計画基準値と比べると3ポイント減少しており、停滞しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、これまでの感染防止対策の影響もあって顔の見える関係づくりが希薄化しており、連絡機会自体も減り、双方の理解が一致しない状況が生じているためだと考えられます。					☂ (低下)	☂ (低下)	■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
5,839	6,100

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者、家族	基本事業がめざす姿 在宅において日常生活の支援や住まいの支援を受けることで高齢者が安心して暮らすことができます。
-------------------	-------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	高年齢福祉サービスの利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	人	1,367	1,504	2,265	1,400	☀️ (向上)
評価	(状況) 高齢者福祉サービスの利用者数は2,265人で、総合計画基準値より898人増加し目標値を達成しています。タクシー助成2事業、免許返納支援事業等の利用者数は増加しました。その他の事業については、横ばいまたは減少傾向にあります。積極的な周知に努めます。 (原因) 事業の見直しを行い、高齢者タクシー事業については、80歳以上の要件を緩和したため、増加したものと考えられます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
120,960	137,647

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-05 介護保険サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者、介護保険事業者	基本事業がめざす姿 介護や支援が必要になっても、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができます。
------------------------	-----------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
介護保険サービス利用者のうち施設サービスの利用割合 下がると良い指標 【高齢者支援課】	%	21.4	21.1	22.0	21.0	(低下) 対前年度 (低下) 目標達成度 (低)
(状況) 介護保険サービス利用者のうち施設サービスの利用割合は22.0%で、総合計画基準値より0.6ポイント増加し、停滞しています。 (原因) 24時間体制で介護が受けられる安心感から、利用者が増加しているものと考えられます。						
町外施設に入所している高齢者の割合 下がると良い指標 【高齢者支援課】	%	0.3	0.3	0.3	0.2	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)
(状況) 町外施設に入所している高齢者の割合は0.3%で、総合計画基準値と変化なしです。 (原因) 介護給付の適正化を図っているところですが、高齢化率が増加していることから介護サービスの需要は高く、町内の限られた福祉資源はすでに活用されているためと考えられます。						
町内介護保険サービス事業所及び施設に勤務する介護従事者等の人数 上がると良い指標 【高齢者支援課】	人	707	712	699	700	(低下) 対前年度 (低下) 目標達成度 (低)
(状況) 町内介護保険サービス事業所及び施設に勤務する介護従事者等人数は699人で、総合計画基準値より8人減少し、停滞しています。 (原因) 介護サービスのニーズが高まっていますが、離職者数に対して就職者数が少なく、人材不足が要因と考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
3,486,842	3,490,858

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
281,758	319,063

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-03-01 児童発達支援の充実

基本事業 01-03-02 自立支援及び地域生活支援の推進

基本事業 01-03-03 社会参加の促進と就労支援

基本事業 01-03-04 障がい者の人権尊重

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

文部科学省が行った「通常学級に在籍する特別的教育支援を必要とする児童生徒に関する調査」では、平成24年では「学習面又は行動面で著しい困難を示す」生徒の割合が6.5%、令和4年の調査では8.8%と2.3ポイント増加しています。本町においても子どもの数は年々減少していますが発達障がいやその特性の強い子ども（グレーゾーン）など支援を受けている又は支援を受けていた子どもの数は令和4年度で224人となります。

発達障がいに関する施策については、既存の事業を継続しつつ、愛南町の子ども状況等に沿った取組が必要となります。

また、人口減少や町民の高齢化が進むなど様々な社会的要因により障がいのある人を取り巻く環境も厳しくなっており、抱える課題等が複雑化・複合化する中で、課題等の解決に向けて、障がい分野だけではなく他分野、地域等様々な人を巻き込みながら安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組んでいく必要があります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.99 (2.95)	2.96 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	3.70 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
障がい者(児)	障がい者(児)が町内で自ら望む地域生活をいきいきと営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標	町内で生活をしている障がい者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	95.2	96.0	95.7	95.0	(横ばい)
評価	(状況) 令和5年度は95.7%と前年度を0.3ポイント下回っていますが、目標は達成しています。 (原因) 障がい者手帳所持者数の減少と町外生活者が53人から55人と2人増加したことが要因として考えられます。						(横ばい)
							目標達成度 (達成)

施策のコスト(千円)

R04	R05
857,588	865,936

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-01 児童発達支援の充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>発達が気になる子、障がい者(児)とその家族</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>障がい児支援を、健診・相談から子育て支援の一環としてとらえ、ライフステージに沿って切れ目のない支援が得られ、家族は安心して子育てできます。</p>
----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	各種児童発達支援サービスを受けている子ども数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	人	89	93	93	90	
評価	<p>(状況) 令和5年度の療育利用者は93人で前年度と比較して増減はありません。</p> <p>(原因) 乳幼児健診で発達ที่気になる子どもの早期発見や医療機関などで療育が必要と判断された子どもが、適切に療育につながっていることが要因として考えられます。</p>	(人)					<p>比較不可 対前年度</p> <p>比較不可 目標達成度</p> <p> (達成)</p>

指標	適切なサービスを受けるために相談支援を利用している子ども数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	人	76	93	93	80	
評価	<p>(状況) 令和5年度の相談支援を利用している子どもの数は、93人と前年度と比較して増減はありません。</p> <p>(原因) 支援が必要な子どもが適切に相談支援につながる体制が確立されていることが、要因として考えられます。</p>	(人)					<p>比較不可 対前年度</p> <p>比較不可 目標達成度</p> <p> (達成)</p>

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
91,778	96,639

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-02 自立支援及び地域生活支援の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 障がい者(児)	基本事業がめざす姿 障がい種別に応じたサービスを受けることにより、住み慣れた地域で生活を送ることができます。
--------------------	-----------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	自立支援給付を受けている人数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	人	477	447	455	500	比較不可
評価	(状況) 令和5年度の自立支援給付利用者は、455人で前年度を8人上回りましたが、基準値を22人下回っています。 (原因) 個別のサービスで多少の増減はありますが、就労継続支援B型の利用者が13人増加したことが大きな要因として考えられます。	(人)					比較不可 対前年度 比較不可 目標達成度 ■■■ (高)

指標	地域生活支援事業の利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	人	520	317	391	530	比較不可
評価	(状況) 令和5年度の利用者実人数は391人で前年度を74人上回っています。基準値と比較すると利用者は低調となっていますが、相談支援事業の利用者は増加傾向にあります。 (原因) 地域生活支援事業所が令和4年度末に1か所増えたことや、町内の事業所に相談支援専門員が増えたことで、利用しやすくなったことが要因として考えられます。	(人)					比較不可 対前年度 比較不可 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
751,708	761,214

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-03 社会参加の促進と就労支援

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>障がい者(児)、事業者、町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>障がい者(児)が社会参加しやすい環境が整い、地域社会の一員であるという意識が醸成します。</p>
--------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町内の就労支援事業所利用率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	87.8	75.3	80.5	88.0	☂ (低下) 対前年度
評価	<p>(状況) 令和5年度の就労継続支援事業所利用率は80.5%と前年度を5.2ポイント上回っています。就労継続支援B型で就労する人は13人増えました。</p> <p>(原因) 令和4年度から、新たに就労継続支援B型事業所が1か所開設され、令和5年度から本格的に受け入れを始めたことが要因として考えられます。</p>						☀ (向上) 目標達成度 ■■ (高)

指標	障がい者の日中活動の場を提供する事業所等の数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	箇所	10	10	10	12	☁ (横ばい) 対前年度
評価	<p>(状況) 令和5年度は10か所で横ばいです。</p> <p>(原因) 日中活動の場としての数は増えていませんが、保護者が中心となり余暇活動の場を設けています。重度の障がいがあっても利用できる日中活動の場をつくるのが今後の課題です。</p>						☁ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
320	707

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-04 障がい者の人権尊重

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
障がい者(児)、事業者、町民	地域で、安全に暮らすために人権が尊重されています。

基本事業の成果状況と評価

指標	障がい者に関する権利が損なわれた件数(子ども、高齢者以外)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	下がると良い指標 【保健福祉課】 (状況) 障がい者に関する権利が損なわれた件数は、0件です。 (原因) 権利が損なわれた件数は0件でしたが、引き続き広報などの媒体を活用して障がいのある人の権利擁護に関する周知をしていきます。	件	0	0	0	0

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
0	0

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
13,782	7,376

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-04-01 生活習慣病の予防

基本事業 01-04-02 早期発見・早期治療の推進

基本事業 01-04-03 こころの健康づくり

基本事業 01-04-04 感染症予防対策の推進

基本事業 01-04-05 医療保険制度の健全運営

基本事業 01-04-06 福祉医療費助成制度の充実

基本事業 01-04-07 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

令和5（2023）年4月1日現在の高齢化率は46.3%と前年度と比較して0.7ポイント増加し、高齢化に伴う疾患の慢性化、長期化、重症化等の影響で、医療ニーズはますます増大しています。また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行しましたが、感染拡大による影響は大きく、医療機関は大きな役割を担っています。

一人当たりの年間保険給付費は医療費の高額化や被保険者の高齢化等により増加傾向にあることから、引き続き、町民一人ひとりがライフステージに応じた健康づくりに取り組み、生活習慣病の発症予防・重症化予防を行うことで限りある医療資源を守ることが必要です。

医療提供体制を確保するために、県立南宇和病院、愛媛大学、愛南町が連携し、継続して医師確保の取組を行っています。令和3年度から実施している愛南町での生活への不安払拭や地域への定着を目的とした赴任医師に対する生活応援事業を継続して実施するとともに、愛南町の地域医療や魅力について紹介したプロモーション動画を医学生や臨床研修医、県内外の医師等に対して発信しています。また、地域医療や地域のよさにふれることを目的とした医療にふれる会を継続して開催しています。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.59 (2.95)	2.48 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	4.12 (3.67)	4.18 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	健康な暮らしができる町民が増えます。 町民が安心して医療を受けることができます。

施策の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
65歳以上で介護認定を受けていない町民の割合 【保健福祉課】	%	79.2	79.0	79.5	80.0	(横ばい)
上がるが良い指標						☁️ (横ばい)
評価						☁️ (横ばい)
(状況) 65歳以上で介護認定を受けていない町民の割合は79.5%で、前年度と比較して0.5ポイント増加し、順調に向上しています。 (原因) 生活習慣病の重症化予防や特定保健指導を実施して壮年期からの健康づくりに取り組んでいることが影響していると考えられます。						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
自分で健康と感じている町民の割合 【保健福祉課】	%	78.4	73.3	73.5	80.0	(低下)
上がるが良い指標						☁️ (横ばい)
評価						☁️ (横ばい)
(状況) 自分で健康と感じている町民の割合は73.5%と、前年度と比較して横ばいで、目標を達成していません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活習慣の変化により、集団での活動の場や交流の機会が減少し、主観的健康感が低下したことが要因と考えられます。						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
65歳未満の死亡率 (65歳未満人口千対) 【保健福祉課】	-	2.2	3.0	3.0	1.8	(低下)
下がるが良い指標						☁️ (横ばい)
評価						☁️ (横ばい)
(状況) 65歳未満の死亡率は3.0と、前年度と比較して横ばいで、目標を達成していません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活習慣の変化や健診の受診控え等があり、生活習慣病の重症化への進行や疾病の早期発見が遅れたことが要因と考えられます。						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
町内の医療体制に対する満足度 【保健福祉課】	%	38.0	42.0	41.5	40.0	(向上)
上がるが良い指標						☁️ (横ばい)
評価						☁️ (横ばい)
(状況) 町内の医療体制に対する満足度は41.5%と昨年度と比較して0.5ポイント低下していますが、目標を達成しています。 (原因) 県立南宇和病院の常勤医師不足が続いていますが、町内の医療機関や大学病院等の支援を得て、医療を維持しています。また、医療・介護連携の取組により、維持できていると考えられます。						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)

施策のコスト (千円)

R04	R05
4,947,261	4,727,406

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-01 生活習慣病の予防

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 自分に合った健康づくりの方法で健康管理ができます。
---------------	----------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
喫煙している町民の割合 【保健福祉課】 下がると良い指標	%	12.3	14.7	13.3	10.0	(横ばい)
(状況) 喫煙している町民の割合は13.3%で、前年度と比較して1.4ポイント減少していますが、目標には達成していません。 (原因) 健診受診者等へたばこの害や禁煙についての周知は行っていますが、その他周知が必要と思われる町民へ、情報が届いていないことが原因と考えられます。						対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している町民の割合 【保健福祉課】 下がると良い指標	%	10.9	9.1	8.4	7.0	(向上)
(状況) 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている町民の割合は8.4%で、前年度と比較して0.7ポイント減少していますが、目標を達成していません。 (原因) 健診結果報告会や健康づくり教室等で、適正な飲酒量について周知したことが要因と考えられます。						対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)
20歳の時の体重から10kg以上増加している町民の割合 【保健福祉課】 下がると良い指標	%	40.4	35.7	38.3	30.0	(横ばい)
(状況) 20歳の時の体重から10kg以上増加している町民の割合は38.3%で、前年度と比較して2.6ポイント増加しており、目標を達成していません。 (原因) 壮年期からの健康づくりの目標として、適正体重の維持・管理を設定し、啓発や指導を行っていますが、町民への周知が不十分であることが要因と考えられます。						対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)
1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している町民の割合 【保健福祉課】 上がると良い指標	%	36.3	36.3	39.6	40.0	(向上)
(状況) 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合は39.6%で、前年度と比較して3.3ポイント増加していますが、目標を達成していません。 (原因) 壮年期からの健康づくりの目標として、手軽にできる運動を普及していることが要因と考えられます。						対前年度 (向上) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
1,159	1,205

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-02 早期発見・早期治療の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	健（検）診を定期的に受診し、病気が早期に発見され、早期に治療を行います。

基本事業の成果状況と評価

指標	年1回健診を受けている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	69.0	69.0	73.8	73.0	☀ (向上)
評価	(状況)年1回健診を受けている町民の割合は73.8%で、前年度と比較して4.8ポイント増加し、目標を達成しています。 (原因)県や健診機関と協働で受診勧奨を行っていることや、Web予約を導入したことで健診の受けやすさにつながったことが要因と考えられます。						☀ (向上)
		☀ (向上)	☀ 目標達成度 (達成)				

指標	年1回がん検診を受けている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	49.6	53.0	54.3	55.0	☀ (向上)
評価	(状況)年1回がん検診を受けている町民の割合は54.3%で、前年度と比較して1.3ポイント増加していますが、目標を達成していません。 (原因)全世帯へのがん検診の受診勧奨通知や商工会と連携した周知を継続していることが要因と考えられます。						☁ (横ばい)
		☁ (横ばい)	☐ 目標達成度 (高)				

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
49,337	56,435

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-03 こころの健康づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	こころの悩みを相談したり、軽減することでこころの健康を保ちます。

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
ストレスを解消する方法をもっている町民の割合 上がると良い指標 【保健福祉課】	%	69.8	65.3	65.3	70.0	(低下) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)
(状況) ストレスを解消する方法をもっている町民の割合は、65.3%と前年度と比較して横ばいで、目標を達成していません。 (原因) 令和5年5月以降新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、その後も感染拡大による影響があり、人との交流が減少し、ストレスの増大や解消方法が実践できなかったことが要因と考えられます。						
人口10万人あたり自殺死亡率 下がると良い指標 【保健福祉課】	-	14.3	14.6	24.9	12.8	(低下) 対前年度 (低下) 目標達成度 (中)
(状況) 人口10万人あたり自殺死亡率が24.9と、昨年度と比較して10.3ポイント増加しており、目標を達成していません。 (原因) 前年度と比較して、自殺者数が増加したことにより、自殺死亡率も増加しています。自殺の背景には、こころの問題だけでなく、生活困窮、過労、介護疲れ、孤立等の様々な要因が関連していると考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
326	324

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-04 感染症予防対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 感染症の予防・啓発に努め、発生・まん延を防ぎます。
---------------	----------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	各種予防接種の接種率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	70.6	70.0	65.9	72.0	☂ (低下)
評価	(状況) 子どもの麻疹風しん(2期)と高齢者のインフルエンザの接種率は65.9%で、昨年度と比較して4.1ポイント低下しており、目標を達成していません。 (原因) インフルエンザの予防接種前にインフルエンザが流行し、罹患した人が多かったことで高齢者のインフルエンザの接種者数が減少したことが要因と考えられます。					対前年度 ☂ (低下)	
							目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
165,455	124,625

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-05 医療保険制度の健全運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 国民健康保険被保険者、後期高齢者医療被保険者	基本事業がめざす姿 医療保険制度を健全に運営します。
------------------------------------------	--------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【町民課】	円	336,188	368,054	373,528	336,000	☂ (低下)
評価	(状況) 国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費は373,528円で、前年度より5,474円増加し、また、目標値より37,528円高く、目標を達成していません。 (原因) 被保険者数は毎年度減少していますが、生活習慣病の重症化、入院を要する治療、長期入院、高額薬剤及び医療の高度化等による医療費の高額化と、65歳以上の被保険者が5割を超えたことによる影響が考えられます。						☂ (低下)
		対前年度	☂ (低下)	目標達成度	☐ (高)		

指標	国民健康保険税の収納率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【町民課】	%	97.22	98.21	98.27	98.00	☀ (向上)
評価	(状況) 国民健康保険税の収納率は98.27%で、前年度より0.06ポイント増加し、また、目標を達成しています。 (原因) 被保険者への丁寧な制度説明と未納者に対する滞納処分強化の取り組みによるものと考えられます。						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	☑ (達成)		

指標	後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【町民課】	円	712,750	692,065	706,324	712,000	☀ (向上)
評価	(状況) 後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費は706,324円で、前年度より14,259円増加していますが、目標を達成しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し保険適用となったことや、年間をとしたインフルエンザ等感染症の流行によるものと考えられます。						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	☑ (達成)		

指標	後期高齢者医療保険料の収納率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【町民課】	%	99.85	99.83	99.93	99.86	☀ (向上)
評価	(状況) 後期高齢者医療保険料の収納率は99.93%で、前年度より0.1ポイント増加し、また、目標を達成しています。 (原因) 被保険者への丁寧な制度説明と未納者に対する滞納処分強化の取り組みによるものと考えられます。						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	☑ (達成)		

基本事業のコスト (千円)

R04	R05
4,167,590	3,977,669

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-06 福祉医療費助成制度の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
子ども、障がい者、ひとり親家庭	社会的・経済的に弱い立場にある方の医療費に係る経済的負担を軽減します。

基本事業の成果状況と評価

指標	福祉医療費年間助成額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値															
		その他の指標 【町民課】	千円	119,580	118,310	131,758	125,000	比較不可														
評価	(状況)福祉医療費年間助成額は131,758千円で、前年度より13,448千円増加しましたが、対象者へ適正に医療費を助成しました。 (原因)人口減少に伴い受給者数は減少していますが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し保険適用となったことや、年間をとおしたインフルエンザ等感染症の流行によるものと考えられます。	<table border="1" style="display: none;"> <caption>福祉医療費年間助成額 (千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>119,580</td> <td>125,000</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>118,310</td> <td>125,000</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>131,758</td> <td>125,000</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>125,000</td> <td>125,000</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	基準	119,580	125,000	R04	118,310	125,000	R05	131,758	125,000	R07	125,000	125,000	比較不可
		年度	実績値	目標値																		
基準	119,580	125,000																				
R04	118,310	125,000																				
R05	131,758	125,000																				
R07	125,000	125,000																				
							目標達成度 (達成)															

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
118,310	133,455

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-07 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、医療機関	基本事業がめざす姿 一次・二次救急医療体制の確保と町内医療機関の連携により、地域医療の充実を図ります。
---------------------------	---------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	一次救急医療に従事する常勤医師数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 一次救急医療に従事する常勤医師数は13人で、目標を達成しています。 (原因) 開業医が1名増加しています。開業医の協力を得て、一次救急医療体制を維持できています。	人	12	12	13	13	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
指標	二次救急医療に従事する常勤医師数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 二次救急医療に従事する常勤医師数が10人と、前年度より1名増加し、目標を達成しています。 (原因) 県立南宇和病院の常勤医師が1名増加しています。南宇和郡医師会等の協力を得て、二次救急医療を維持できています。	人	10	9	10	10	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
指標	かかりつけ医をもっている人の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) かかりつけ医をもっている人の割合は65.7%と前年度と比較して2.1ポイント増加していますが、目標を達成していません。 (原因) 健診や健康教育の際に、かかりつけ医やかかりつけ薬局をもつことについて周知を行ったことが要因だと考えられます。	%	62.0	63.6	65.7	70.0	(向上) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
259,241	290,681

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
185,843	143,012

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-05 地域福祉の推進

施策を実現する手段

基本事業 01-05-01 総合相談窓口による支援

基本事業 01-05-02 地域福祉活動への参画推進

基本事業 01-05-03 社会福祉制度の円滑運営

基本事業 01-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

福祉サービスの充実や生活基盤となる施設整備を進めるとともに、地域福祉を担う民生児童委員や社会福祉協議会などが様々な地域福祉活動に取り組んでいますが、地域のつながりの希薄化や担い手の高齢化が深刻化しています。今後は、地域で自立した生活を望む町民からの声に応えるなど、地域福祉力の更なる強化や多様化する福祉ニーズへ対応する「地域共生社会の実現」に向けた体制づくりが求められています。

地域をとりまく福祉の課題が複雑・多様化している状況を踏まえ、制度や分野、支え手と受け手の関係を超えて、誰もが役割を持ち、活躍ができる「地域共生社会」を目指すため、令和3年度からの6年間を計画期間とする「第4次愛南町地域福祉計画」を策定しています。計画は、住民、地域、関係団体、行政が協働し、地域福祉活動の推進と社会福祉制度の円滑運営を目指してより良い方策を見出ししていくことを基本的な考え方としています。

また、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、縮小傾向にあった地域福祉活動も少しずつ増加傾向にあります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.96 (2.95)	2.90 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.67 (3.67)	3.73 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	住み慣れた地域で、お互いに支えあいながら安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	地域で支えあっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	67.8	68.8	65.3	70.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和5年度は65.3%で、前年度より3.5ポイント減少しましたが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばい状態(現状維持)です。</p> <p>(原因) 各地域で地域共生社会の実現に向け、世代や分野を問わず誰もが気軽に集える住民主体の拠点づくりを社会福祉協議会、行政協力員、民生児童委員、ボランティアの地域住民が連携して取り組んでいることが、高い割合を維持できている原因と考えます。</p>						(横ばい)

施策のコスト(千円)

R04	R05
379,083	602,268

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-01 総合相談窓口による支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	いつでもどこでも誰でも相談ができ、適切な支援を受けられます。

基本事業の成果状況と評価

指標	総合相談窓口での相談・支援件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		【保健福祉課】	件	15	16	25	15
評価	(状況) 令和5年度は25件で、前年度に比べ9件増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの不安定な社会情勢などにより、生活が困窮し、何らかの支援を希望する者が増え、窓口を訪れた相談者数が増加したと考えられます。						比較不可 対前年度
							比較不可 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
15,309	17,786

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-02 地域福祉活動への参画推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	地域住民が福祉活動に参画しやすい環境を整備することで、地域福祉活動を活性化します。

基本事業の成果状況と評価

指標	民生児童委員の年間延べ相談・支援件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	件	2,292	2,481	2,198	3,200	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和5年度は2,198件で、前年度と比べて283件減少しています。 (原因) 令和5年度は高齢人口の減少等により高齢者に関する相談件数が減少したことによるものと考えられます。	(件)					☔️ (低下)
							■ (中)

指標	福祉分野のボランティア参加者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	人	770	898	1,199	2,400	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和5年度は1,199人で、前年度と比べて301人増加し、順調に増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、縮小傾向にあったボランティア参加者数が増加したことが原因と考えられます。	(人)					☀️ (向上)
							■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
38,722	38,056

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-03 社会福祉制度の円滑運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	社会福祉制度を円滑に運営します。

基本事業の成果状況と評価

指標	公的な社会福祉制度に基づく延べ支援者数 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		その他の指標	人	6	4,761	8,856	3,700
評価	(状況) 令和5年度は8,856人で、前年度と比べて4,095人増加しました。 (原因) 令和5年度は新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の支援対策として、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金、物価高騰重点支援給付金が創設されたことが要因です。					比較不可 対前年度	
						比較不可 目標達成度 (達成)	

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
249,015	470,260

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
76,037	76,166

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-01 循環型社会の形成

施策を実現する手段

基本事業 02-01-01 生活環境の保全

基本事業 02-01-02 再生可能エネルギーの推進

基本事業 02-01-03 生活排水の適正処理

基本事業 02-01-04 4Rの推進

基本事業 02-01-05 ごみ処理体制の適正化

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

今日の環境問題は、身近な生活環境や自然環境に加えて、地球温暖化の影響や生物多様性の危機、更には、東日本大震災を契機とした再生可能エネルギーの活用など新たな局面を迎えています。このような状況を踏まえ、近年の環境をめぐる社会の動き等に対応するため、第2次愛南町環境基本計画を策定し、本計画に基づいて「環境がすべての生命の生存基盤であり、限りあるものであること」を共通認識として、住民、事業者及び行政が一層連携を深め、自然と共生する循環型社会の実現に向けた取組を進めていく必要があります。

特に集落排水処理施設による下水道事業やPFI手法での町営浄化槽整備推進事業の促進により、水環境の改善や汚水処理人口普及率の向上を図るとともに、ごみ減量化やリサイクルなどの取組を強化し、廃棄物処理の改善を図ります。さらに、新エネルギー利用機器の導入促進、再生可能エネルギーの活用と省エネルギー対策に対する住民の理解を深める取組を行うことにより、自然環境負荷が少ない持続可能な社会の形成を目指します。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.93 (2.95)	2.89 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.51 (3.67)	3.57 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象 町民、事業者、行政、愛南町の自然、廃棄物	施策がめざす姿 環境負荷の少ない生活を実践し、廃棄物の排出を抑制することにより、自然環境にやさしいまちになります。
-------------------------------	--------------------------------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	最終処分量	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	t	1,153	1,200	989	1,107	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 前年度と比較すると211t減少し、目標値を達成しました。 (原因) 本町のゴミ排出量の減少に加え、宇和島地区広域事務組合の構成市町全体の排出量も減少したことから、それに伴い本町に割り当てられた飛灰の埋立処分量が減少したことが要因して考えられます。						
指標	愛南町のCO2排出量 (産業、家庭含む)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	1,000tCO	135	144	137	120	(横ばい) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)
評価	(状況) 令和6年度に公表された令和3年度の排出量は、137千t-CO2で、前年度に比べて7千t-CO2減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症による外出自粛が緩和された結果、在宅時間の減少により家庭からの排出量は減少し、産業部門、運輸部門においても、省エネの取組みやコロナ禍における長距離移動の減少などにより排出量が減少したと考えられます。その一方で、サービス業では経済活動の再開によって排出量が増加したため、大幅な排出量削減には至らなかったものと考えられます。						
指標	公共水域の水質の基準達成率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	81.3	81.3	75.0	100	(低下) 対前年度 (低下) 目標達成度 (低)
評価	(状況) 公共水域の水質基準の達成率は75.0%で、前年度と比較して6.3ポイント減少しており、不調です。 (原因) 水質基準を達成できなかった採水地点の水路では全窒素や全燐の項目が超過しており、合併処理浄化槽への転換が進んでいないことによる住宅の生活雑排水の影響が考えられます。						

施策のコスト (千円)

R04	R05
797,376	970,347

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-01 生活環境の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、愛南町の自然	基本事業がめざす姿 生活環境が適正に管理され、安全で快適に暮らせます。
--------------------------	----------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	自然や住居の周囲が適正な管理がされてきていると感じている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	70.5	71.7	72.8	75	☀️ (向上)
評価	(状況) アンケート結果は72.8%で、前年度と比較して1.1ポイント向上しましたが、アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。また、回答した町民の7割が自然や住居の周囲が適正に管理されていると感じており、順調に推移しています。 (原因) 各種団体や個人による清掃活動や、かんきょうかわら版・防災行政無線等による啓発により、住居周辺の環境がおおむね清潔に保たれていると考えられます。						☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
14,265	37,801

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

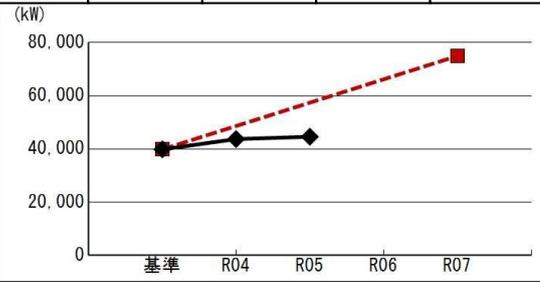
基本事業 02-01-02 再生可能エネルギーの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者	住民の環境意識が高揚し、エネルギーの有効活用、再生可能エネルギーの利用が増え、脱炭素が進んでいます。

基本事業の成果状況と評価

指標	再生可能エネルギー設備の導入容量	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	上がると良い指標 【環境衛生課】 (状況) 令和6年度に公表された令和4年度の太陽光発電設備の導入容量は、前年度に比べて882kw増加しましたが、導入量は鈍化しています。 (原因) 化石燃料価格の高騰に伴う光熱費上昇を受け、家庭では町の補助事業を活用しての太陽光発電システムの導入が一定量進んでいます。しかし、産業用発電においては、売電価格の低下や固定価格買取制度の改正が新規の太陽光発電設備の導入を抑制する要因となっており、全体として太陽光発電設備の導入量は減速傾向にあると考えられます。	kW	39,895	43,757	44,639	75,000



基本事業のコスト (千円)

R04	R05
5,936	14,583

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-03 生活排水の適正処理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政、公共用水域	基本事業がめざす姿 公共用水域の水質を保全し、衛生的な水環境を維持します。
-------------------------------	-------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
汚水処理人口普及率 上がると良い指標 【環境衛生課】	%	47.4	50.4	51.6	61.8	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)
(状況) 令和5年度は51.6%で、前年度に比べて1.2ポイント増加しました。 (原因) 集落排水施設への接続件数及び浄化槽設置基数の増加が指標値向上の要因と考えられます。しかし、住宅密集地における浄化槽設置用地の確保が困難であることや、近年の物価高騰の影響により浄化槽設置基数は伸び悩んでいることが普及率低調の原因として考えられます。						
農業・漁業集落排水処理施設への接続率 上がると良い指標 【環境衛生課】	%	82.7	83.1	83.4	85.1	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)
(状況) 令和5年度は83.4%で、前年度に比べて0.3ポイント増加しました。 (原因) 新築住宅等による接続件数の増加が影響しているものの、集落排水に接続していない住宅の半数は、既に浄化槽を設置している住宅であるため、新既接続が見込めないという点が接続率低調の原因として考えられます。						
合併浄化槽設置基数 (家庭用、事業用) 上がると良い指標 【環境衛生課】	基	2,223	2,352	2,392	2,648	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)
(状況) 令和5年度は2,392基で、前年度に比べて40基増加しました。 (原因) 町が設置主体となり、浄化槽を整備する町営浄化槽整備事業の推進が設置基数の増加の要因と考えられます。しかしながら、年間目標設置基数85基を下回っています。その要因として、住宅密集地での浄化槽設置用地の確保が困難であること、近年の物価高騰の影響が考えられます。						

基本事業のコスト (千円)

R04	R05
443,218	566,533

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-04 4Rの推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業者、行政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>ごみの発生抑制（Refuse）、削減（Reduce）、再利用（Reuse）及び再生利用（Recycle）を進めることにより、環境への負荷を軽減します。</p>
---------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりのごみの排出量	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	g/日	622	626	614	597	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) ごみ排出量は、前年度から12g減少しており、ごみ排出量削減は向上していますが、削減幅は低く低調しています。</p> <p>(原因) 住民のごみ削減意識の向上に加え、新型コロナウイルス感染症が収束し、巣ごもり生活から通常の生活に戻ったことで、家庭ごみの排出量が減少したと考えられます。しかしながら、ごみ排出量は減少したものの、人口減少に伴い、一人当たりの削減幅は小さいものにとどまったと考えられます。</p>						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	■ (低)		

指標	リサイクル率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	22.4	22.6	23.3	27.0	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度と比較して0.7ポイント増加していますが、増加幅は低く、ほぼ横ばい状態で推移しています。</p> <p>(原因) かんきょうかわら版や町ホームページを通じた4Rに関する情報発信により、住民のリサイクル意識は向上してきていますが、大きな意識変化には至らなかったため、増加率が小さくなったと考えられます。</p>						☁️ (横ばい)
		対前年度	☁️ (横ばい)	目標達成度	■ (低)		

指標	分別不適合件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	件	58	98	70	29	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 前年度から28件減少しましたが、不適合件数は高い状況にあります。</p> <p>(原因) 令和4年度に作成した家庭ごみの早見表により、家庭系の不適合物は減少していますが、事業系の産業廃棄物が大半を占めていることが影響しているものと考えられます。</p>						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	■ (低)		

指標	不法投棄苦情件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	件	23	25	30	12	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 前年度より5件増加しており、依然として不法投棄苦情件数は減少しておらず、不調に推移しています。</p> <p>(原因) 不法投棄巡視員による町内巡視や不法投棄防止看板及び監視カメラの設置などの対策を行っていますが、投棄者の意識改革や周知・啓発活動等の不足が件数増加の要因と考えられます。</p>						☔️ (低下)
		対前年度	☔️ (低下)	目標達成度	■ (低)		

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
101,391	108,798

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-05 ごみ処理体制の適正化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業者、行政、町域</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>災害時の対応を含め、廃棄物を安全かつ適正に処理します。</p>
------------------------------------	-----------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりの廃棄物処理費用	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【環境衛生課】	円	9,798	10,072	11,103	9,406	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 前年度と比較すると費用が1,031円増加しており、不調に推移しています。</p> <p>(原因) ごみ袋購入事業の増額や燃料費等の高騰による環境衛生センターの経常経費増額と、宇和島地区広域事務組合環境センターのインボイス導入設備費に伴う分担金の増額による影響が要因と考えられます。</p>						☔ (低下)
							■ (低)

指標	災害時の廃棄物処理について知っている町民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標 【環境衛生課】	%	22.4	23.4	16.4	80	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 住民アンケートの結果では、前年度より7ポイント減少し、認知度が下がっています。</p> <p>(原因) ホームページや広報誌による啓発不足により、災害廃棄物処理に関する住民の認知度が下がったものと考えられます。</p>						☔ (低下)
							■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
109,522	112,551

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
123,044	130,081

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-02 道路環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 02-02-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業 02-02-02 国・県道の整備促進

基本事業 02-02-03 町道等の整備と維持管理

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町は、「四国8の字ネットワーク」を形成する高規格道路の空白地帯として早期整備を待ち望んでいます。津島道路「津島岩松IC～内海IC」の現況は、津島側の改良工事に加え、柏地区において新内海トンネルの掘削に着手し、内海IC附近の改良工事を施工しています。

また、令和4年度には、宿毛内海道路「宿毛新港～一本松」及び「御荘～内海」が新規事業化され、未事業化区間は「一本松～御荘」となっていますが、令和6年度に新規事業化されることが公表されました。今後は国の事業に全面的に協力するとともに、一日も早い開通に向けた整備促進を強く要望していきます。

本町の道路実延長は、国道29km、県道155km及び町道528kmです。一方、道路改良率は、町道52.4%と県道81.3%に比べ低い水準となっています。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.67 (2.95)	2.63 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.89 (3.67)	3.91 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民、道路利用者、道路</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>町外への移動時間が短縮され、安全で快適な通行ができます。 町内の道路において安全で快適な通行ができます。</p>
---------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間	分	130	130	130	130	(横ばい)
下がると良い指標						【建設課】
<p>評価</p> <p>(状況) 愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間は130分で基準値となっている令和3年度から所要時間の変化はありません。</p> <p>(原因) 四国横断自動車道の津島道路「津島岩松IC～内海IC」間は、平成28年度から用地買収と並行して柏地区等で道路本線となる橋梁・トンネル工事など本格的な工事に着手していますが、新規開通区間がなかったことによるものです。</p>						対前年度
						(横ばい)
						(達成)

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
町内の道路環境の満足度	%	69.7	63.1	64.1	71.0	(低下)
上がると良い指標						【建設課】
<p>評価</p> <p>(状況) 町内の道路環境の満足度は、64.1%で前年度に比べ1.0ポイント増加していますが、住民アンケートの結果であり統計誤差の範囲で横ばいです。基準値からは5.6ポイント下回っており、満足度は停滞しています。</p> <p>(原因) 地区要望に迅速に対応していますが、町道の総延長が548kmあり、全体的な老朽化も進んでいることや地区内の人口減少や高齢化により、草刈り等の維持管理ができなくなった地区があること等が要因と考えられます。</p>						対前年度
						(横ばい)
						(低)

施策のコスト(千円)

R04	R05
541,938	528,447

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、道路利用者、四国横断自動車道	町外（宇和島・幡多圏域等）への移動時間が短縮され、快適で安全な通行ができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合 上がると良い指標 【建設課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		評価	(状況) 宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合は89.9%で、前年度に比べ1.3ポイント増加し、順調に推移しています。 (原因) 宿毛内海道路「宿毛新港～一本松」と「御荘～内海」が令和4年度に新規事業化され、測量調査等の事業が進んでいることで町民の関心が高くなってきたことが考えられます。	%	86.8	88.6	89.9

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
40,827	573

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-02 国・県道の整備促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
国道、県道道路利用者	道路環境が改善され、町外への移動時間が短縮されるとともに、快適で安全な通行ができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	国道・県道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	70.8	65.0	65.7	72.0	☔ (低下)
	【建設課】						☰ (高)
評価	<p>(状況) 国道・県道の道路満足度は65.7%で前年度に比べて0.7ポイント増加していますが、住民アンケートの結果であり統計誤差と考えられるため、横ばい状態です。基準値からは、5.1ポイント低下しており、満足度は停滞しています。</p> <p>(原因) 本町は、近隣市町に比べ、国・県道整備が遅れていることから、国道・県道の道路満足度が低い原因となっているものと考えます。</p>						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
13,598	17,350

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-03 町道等の整備と維持管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町道、道路利用者	基本事業がめざす姿 町民に身近な生活道路を整備及び適正な維持管理を行い、安全で快適な通行ができます。
---------------------	-------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【建設課】	%	68.6	61.3	62.5	70.0	☔ (低下)
評価	(状況) 町内の道路満足度は、62.5%で前年度に比べて1.2ポイント増加していますが、住民アンケートの結果であり統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因) 地区要望等を着実に対応している結果、基準値を下まわっているものの、町道の道路満足度を維持しているものと考えます。しかしながら町道延長が528kmあり、目標値に達していないことから、引き続き町民の望む道路環境の整備を図る必要があります。	(%)					☁ (横ばい) 目標達成度 ■ (低)
指標	町道（規格道路）の改良率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【建設課】	%	52	52.4	52.4	54	☀ (向上)
評価	(状況) 町内の町道（規格道路）の改良率は、52.4%で前年と比べ変化ありません。 (原因) 指標値に変化がないのは、道路台帳の補正を隔年で行っているため数値に変化がないことによるものです。目標値は達成していないため、今後も町民の望む道路環境の整備を図る必要があります。	(%)					☀ (向上) 対前年度 比較不可 目標達成度 ■ (高)
指標	改修により安全性が確保された橋梁数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【建設課】	橋	0	5	7	8	☀ (向上)
評価	(状況) 改修により安全性が確保された橋梁数は7橋で、目標値には達していませんが、順調に事業推進しています。 (原因) 令和5年度は、2件の改修を行ったためです。今後も計画的な橋梁の改修が必要と考えます。	(橋)					☀ (向上) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ■ (高)
指標	道路管理上の損害賠償請求件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【建設課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 道路管理上の損害賠償請求件数は0件を維持しています。 (原因) 町内パトロール強化や地域からの通報等に迅速に対応し、必要な箇所については早急に修繕等を実施していることが原因と考えます。	(件)					☀ (向上) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
384,650	411,575

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
102,863	98,949

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-03 公共交通の確保

施策を実現する手段

基本事業 02-03-01 町による生活交通の確保

基本事業 02-03-02 公共交通機関の利用促進

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町では、民間事業者のバス路線の一部廃止に伴い、平成18(2006)年度からあいなんバス(コミュニティバス)を運行し、公共交通の維持に努めてきました。令和4(2022)年度からは、町内8路線であいなんバスを運行しています。

令和4年度に運行路線を2路線追加したことや、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、あいなんバスの利用者は近年増加傾向にあります。

平成18(2006)年10月の道路運送法の改正により、地方公共団体、交通事業者、住民、関係者等が地域交通のあり方を検討する地域公共交通会議の仕組みが導入されました。また、本町では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に基づき、平成26(2014)年度に愛南町地域公共交通網形成計画を策定しました。

令和2(2020)年11月の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、地域公共交通網形成計画から改称された地域公共交通計画の策定が求められ、本町では令和5年度に計画を策定しました。現在は当該計画に基づき、地域の実情に応じた持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.63 (2.95)	2.61 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.80 (3.67)	3.84 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

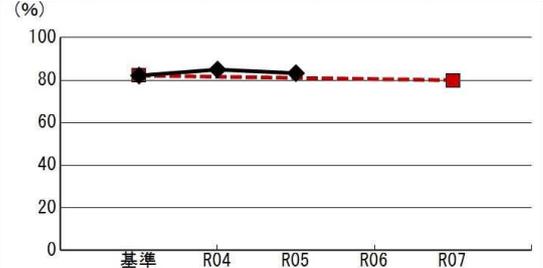
政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>町内の移動に困る方が減少します。</p>
------------------------	----------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	町内での移動に困らない世帯割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	<p>上がると良い指標</p> <p style="text-align: right;">【総務課】</p>	%	82.2	85.0	83.3	80	 (向上)
評価	<p>(状況) 町内での移動に困らない世帯割合は83.3%で前年度より1.7ポイント減少しましたが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばい状態です。基準値及び目標値とも上回っています。</p> <p>(原因) 自家用車の利用が中心であることや、公共交通(バス、タクシー)を利用して移動手段を確保できているためだと考えられます。</p>						 (対前年度)
							 (横ばい)
							 (目標達成度)
							 (達成)

施策のコスト(千円)

R04	R05
132,038	115,251

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

基本事業 02-03-01 町による生活交通の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 需要に合わせた効果的・効率的で持続可能な交通手段を確保します。
------------------	----------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町営の交通手段の年間利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	人	36,725	59,296	61,145	45,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 町営の交通手段の年間利用者数は61,145人で、前年度より1,849人増加し順調に推移しています。基準値及び目標値を上回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者が増加したものと考えられます。						☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)
指標	町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	円	3,833	7,270	7,758	7,000	☂️ (低下)
評価	(状況) 町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額は7,758円で、前年度より488円増加しており、停滞しています。基準値及び目標値を下回っています。 (原因) 令和4年度は14人乗りの車両購入3,877千円であったのに対し、令和5年度は25人乗りの車両購入8,881千円であったためです。						☂️ (低下) 対前年度 ☂️ (低下) 目標達成度 🏰 (高)

基本事業のコスト (千円)

R04	R05
84,406	84,666

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

基本事業 02-03-02 公共交通機関の利用促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、民間事業者	基本事業がめざす姿 既存のバス路線維持のために、町民のバスの利用を促進します。
---------------------	--------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町内を運行する民間運行バスの年間利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	人	209,447	192,544	204,318	175,000	☂ (低下)
評価	(状況) 町内を運行する民間運行バスの年間利用者数は204,318人で、前年度に比べて11,774人増加し、順調に推移しています。目標値を上回りましたが、基準値には届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者が増加したものと考えられます。						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	☀ (達成)			
指標	町内を運行する民間運行バスの平均乗車率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	%	5.21	10.95	25.19	24.0	☀ (向上)
評価	(状況) 町内を運行する民間運行バスの平均乗車率は25.19%で、前年度から14.24ポイント増加し、順調に推移しています。基準値及び目標値を上回っています。 (原因) 乗車率の低い路線(久良・榎月下・外泊)の運行が廃止されたことによるものです。						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	☀ (達成)			
指標	民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	円	5,322	4,785	3,091	2,000	☀ (向上)
評価	(状況) 民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額は3,091円で、昨年度から1,694円減少しており、基準値を上回りましたが、目標値には届いていません。 (原因) 乗車率の低い路線(久良・榎月下・外泊)の運行が廃止されたことにより、その路線の補助金額が皆減したためです。						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	☀ (達成)			

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
47,632	30,585

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-04 安定的な水道水の供給

施策を実現する手段

基本事業 02-04-01 安定的な給水の推進

基本事業 02-04-02 経営の安定化

基本事業 02-04-03 地震・災害に強い水道の整備

基本事業 02-04-04 安全な給水の推進

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定が総務省から求められ、本町におきましては平成29年3月に平成28年度版「経営戦略」を策定しました。（計画期間：平成29年度～令和8年度）

5年毎に見直しを行う必要があることから、平成28年度版「経営戦略」について更新を行い、令和4年度から10年間の計画期間とする令和3年度版「経営戦略」を策定しています。（計画期間：令和4年度～令和13年度）

給水人口の減少を受け、水道料金収入は年々減少傾向にある中、災害時でも安定した水道水の供給を維持するため、老朽化した施設や管路の更新・耐震化が求められています。安全な水を持続して供給し町民が安心して住み続けられるよう、「経営戦略」では、健全な水道事業運営に必要な財源の確保のため水道料金収入の適正化を行うこととしています。

「経営戦略」のもと、投資計画においては、施設、設備の廃止・統合（ダウンサイジング）や合理化（スペックダウン）等について取り組みます。また、財政計画においては、料金、企業債等財源の適正化を図ります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.57 (2.95)	3.55 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.34 (3.67)	3.40 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

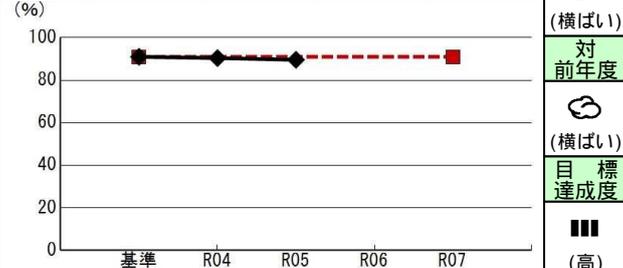
施策 02-04 安定的な水道水の供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
愛南町営水道の給水区域内の町民	安定的に「安心・安全な水道水」を利用することができます。

施策の成果状況と評価

指標	水道水に満足している町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	91.0	90.4	89.6	91.0	(横ばい)
	【水道課】	(%)					対前年度
評価	<p>(状況) 令和5年度は89.6%で、前年度より0.8ポイント減少しましたが、概ねの町民が水道水の水質や水量、水圧等の給水サービスに満足しています。</p> <p>(原因) 清浄で低廉な水が求められる中、近年の物価高騰は、住民生活にも影響を及ぼしています。そのため、水道料金も生活の負担増につながっている可能性もありますが、老朽管及び水道施設の継続的な更新と耐震化を推進しているため、長期間にわたる給水不良等の不具合はなく、また、水質基準に適合した水の供給に努めていることから、「安心・安全な水道水」として町民から認識されていると考えられます。</p>						(横ばい) 目標達成度 (高)



施策のコスト(千円)

R04	R05
326,536	283,839

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-01 安定的な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 水道施設	基本事業がめざす姿 老朽施設（配水管等）が整備され安定的に給水できています。 有収率の向上により、施設維持管理費が低減できます
-----------------	-----------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	有収率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水道課】	%	76.0	72.0	72.9	76.5	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和5年度は72.9%で、前年度より0.9ポイント増加していますが、ほぼ横ばい状態です。 (原因) 経年劣化した水道管の更新や漏水調査により、有収率向上の取組を継続して行っていますが、高度経済成長期に集中整備された水道管の多くが法定耐用年数を経過しているため、老朽化による漏水が増加していることが原因です。						☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
指標	突発的な断水件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【水道課】	件	60	71	44	45	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和5年度は44件で、前年度より緊急な断水が27件減少し、目標値を達成しました。 (原因) 老朽化した水道管の更新及び漏水調査委託等の漏水解消に係る取組が、突発的な断水の被害を未然に防ぐことに繋がったと考えられます。						☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-02 経営の安定化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 給水区域内の町民、水道事業者	基本事業がめざす姿 水道の運営基盤を強化し、適正な料金で使用できる体制を確立できています。
---------------------------	--------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	公営企業会計における経常収支比率（一般会計基準外繰入金を除く。） 上がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和5年度は77.50%で、前年度より5.37ポイント増加したため経常収支は改善しました。 (原因) 給水人口の減少及び節水機器の普及の影響を受けて料金収入は減少傾向にあり、経常収益は前年度より2,817千円減少しましたが、動力費等の営業費用減少により経常費用も53,181千円減少したことが原因です。	(%)	82.35	72.13	77.50	80.00	(低下) 対前年度 (向上) 目標達成度 ■■■ (高)

指標	料金収納率 上がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和5年度は98.6%で、前年度より0.1ポイント増加しており、目標値に近い水準で推移しています。 (原因) 水道料金未納者に対する戸別訪問の実施や、電話連絡による未納の通知、また、毎月の支払督促及び給水停止の業務を行っていることが成果の維持に結びついたと考えられます。	(%)	98.8	98.5	98.6	98.8	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
308,254	263,740

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-03 地震・災害に強い水道の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 水道施設	基本事業がめざす姿 管路の耐震化、主要浄水場への自家発電の整備により、地震・災害時の断水等の被害を最小限にとどめます。
-----------------	----------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	管路の耐震化率	%	29.0	30.4	31.1	31.9	☀ (向上)
	上がると良い指標 【水道課】						☀ (向上)
評価	(状況) 令和5年度は31.1%で、前年度より0.7ポイント増加し、管路の耐震化率は順調に推移しています。 (原因) 毎年度耐用年数の到来した水道管を耐震管更新事業として計画的に実施しており、令和5年度は2,525.40mの更新を行ったことが成果の向上に結びついたと考えられます。						☀ (向上)
		☀ (向上)	☀ (向上)	☀ (向上)	☀ (向上)	☀ (向上)	
指標	浄水・送水施設における自家発電設備設置割合	%	75.0	77.8	77.8	87.5	☁ (横ばい)
	上がると良い指標 【水道課】						☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和5年度は77.8%で、前年度との増減はありません。総合計画基準値より2.8ポイント増加していますが、令和3年度より自家発電設備の設置数を見直したことによるものです。 (原因) 令和5年度末において主要な浄水場等9施設の内、7施設については自家発電設備の設置を完了し、災害等による停電時においても一定時間の給水が可能となっています。(設置済7施設/主要浄水場9施設 = 77.8%) 今後も、中長期計画による施設の統配合を見据えながら、主要な施設に自家発電設備を設置する計画としています。						☁ (横ばい)
		☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-04 安全な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
浄水水質	清浄で安全な水道水を利用できます。

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	浄水場の施設維持管理上の不具合件数	件	0	0	0	0	☀️ (向上)
	下がると良い指標 【水道課】	(件)					☀️ (向上)
評価	(状況) 令和5年度は前年度と同様の0件で、目標値の水準で推移しており、安定的な水道水の供給を図ることができました。 (原因) 職員による日々の浄水施設点検業務に加え、専門技術を有する委託業者による浄水施設保守業務を実施してきたことが、施設異常の早期発見・早期改善につながり、成果の向上に結びついたと考えられます。						☀️ (向上)
		目標達成度 (達成)					

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数	件	0	1	2	0	☔️ (低下)
	下がると良い指標 【水道課】	(件)					☔️ (低下)
評価	(状況) 令和5年度は2件で、前年度より1件増加しており、順調ではありません。 (原因) アルミニウム及びその化合物の基準値超過が稲津浄水場区域の採水において1件、また、大腸菌の基準値超過が太田浄水場区域の採水において1件検出されました。アルミニウム及びその化合物は浄水装置の不具合が原因で、大腸菌は採水誤りによるものであり、いずれも土壌・水源の汚染を起因とするものではありません。						☔️ (低下)
		目標達成度 (低)					

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
18,282	20,099

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-01 水産業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業 03-01-06 持続可能な漁業の推進

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

漁船漁業である、カツオ一本釣り漁業及びまき網漁業については、令和4年の黒潮の蛇行や台風の影響が少なく、水揚げ量が増加傾向にあります。

魚類養殖業では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、魚価が回復傾向にあり水揚げ金額が増加しました。真珠・真珠母貝養殖については、関係機関と連携し、アコヤ貝の死亡原因が特定され、大量死を軽減できる1月ふ化の種苗生産を行い、PCR検査を併せて実施し生産力と生産効率を向上させアコヤ貝の大量死を軽減する対策を実施しました。

漁港及び漁港海岸施設の整備については、漁業者の減少や高齢化が進むなか、いかに住みやすく働きやすい環境づくりの推進が不可欠であります。その為、老朽化した漁港・漁港海岸施設等の長寿命化対策を推進し、機能の維持・保全を計画的に実施することにより戦略的に施設の維持管理・更新を図ります。また今後、異常気象による激甚化が懸念される台風・集中豪雨等に対する防災・減災対策に取り組み、災害に強い基盤づくりを推進する必要があります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.25 (2.95)	3.19 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.62 (3.67)	3.69 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>漁業者、町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>漁業経営の安定化及び持続可能な水産業が推進されています。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	漁業生産額 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		百万円	18,133	16,759	-	21,000	比較不可
評価	<p>(状況) 港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていません。 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、低迷していた漁業生産額が回復していくことが見込まれます。</p>					対前年度	
		<p>(百万円)</p> <p>25,000</p> <p>20,000</p> <p>15,000</p> <p>10,000</p> <p>5,000</p> <p>0</p> <p>基準 R04 R05 R06 R07</p>	<p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>■</p> <p>(低)</p>				

指標	漁業経営体数 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		経営体	490	344	-	500	比較不可
評価	<p>(状況) 港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていません。 高齢化や後継者不足の問題による廃業により横ばいに推移していると考えられます。</p>					対前年度	
		<p>(経営体)</p> <p>600</p> <p>500</p> <p>400</p> <p>300</p> <p>200</p> <p>100</p> <p>0</p> <p>基準 R04 R05 R06 R07</p>	<p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>■</p> <p>(低)</p>				

施策のコスト(千円)

R04	R05
753,967	582,009

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者、漁協、町民	基本事業がめざす姿 漁港機能の充実を図り、漁業活動の安全性と稼働率が高まっています。高潮、津波等による被害から背後地の生命や財産を防護します。災害に強い強靱な施設が維持をされています。
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	漁港・海岸施設の漁船最多利用率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【水産課】	%	103.9	96.4	97.0	90.0	☂ (低下)
評価	(状況) 令和5年度の漁港・海岸施設の漁船最多利用率については、97.0%で基準値と比較すると6.9ポイント減少していますが、前年度と比較すると0.6ポイント増加しています。 (原因) 基準年である令和2年度の数値と比較した場合、漁業者人口に比例し減少となっていますが、令和5年度においては新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い出漁回数が増加したためと考えられます。	(%)					☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

指標	漁港・海岸施設の施設災害発生件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【水産課】	件	0	1	0	0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和5年度においては、水産業施設の利用に悪影響を及ぼすような災害は発生しませんでした。 (原因) 水産業施設の利用に悪影響を及ぼすような大規模な地震や台風の接近等もなかったことに加えて、日常的に適切な維持管理及び施設整備を図ったことで災害は発生していません。	(件)					☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
436,731	367,654

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁船漁業生産者、養殖業者、漁業者	基本事業がめざす姿 新技術の確立及び支援体制の整備によって、付加価値の高い水産物を安定的に供給できるようになります。 良好な漁場環境を保全し、安心安全な水産業の振興を目指します。
------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	地区内漁業種別水揚金額 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		百万円	2,637	2,681	4,204	2,800	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況)令和5年度の愛南漁協及び久良漁協の水揚金額は、4,204百万円で、基準値に比べ1,567百万円上回っています。 (原因)まき網漁業及びカツオー本釣り漁業が豊漁であったこと及び新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより飲食店向けの需要が回復傾向にあることにより水揚金額が増加したと考えられます。						
		アコヤ貝（真珠母貝）種苗生産量 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)
	万個	1,841	2,770	2,753	2,060	(向上) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)	
評価	(状況)令和5年度のアコヤガイ種苗生産量は2,753万個で、対前年度では17万個減ですが、誤差の範囲で現状維持です。対基準値では912万個増加で向上し、前期目標値を達成しました。 (原因)大量死対策には冬の種苗生産が効果的で、1月生産では昨年より251万個増加した1,928万個の生産に成功しました。また、死亡率が高く生産休止中の耐性貝は、選抜育種により死亡率の軽減が見られたため、2月に生産を再開し366万個の生産に成功しました。3月の春生産は死亡率が高いため減産となりましたが、トータルで昨年同等の生産量を維持しました。						
		水産用水基準の不適合件数 下がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)
	件	0	0	0	0	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)	
評価	(状況)令和5年度の水産用水基準の不適合件数は0件であり、目標値を達成しています。 (原因)現状では水産用水基準の不適合となる漁場は確認されませんが、依然として数値が高い漁場が見られることから引き続き漁場をモニタリングしていき、状況次第で底質改善剤等の散布が必要になる可能性があります。						

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
138,622	56,814

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>住民、消費者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>ぎょしょく教育の普及推進活動によって、魚食と健康に関する理解が進み、魚の消費が拡大します。 ぎょしょく教育を通じて、地産地消を推進し、地元水産物の消費が拡大します。</p>
------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	ぎょしょく教育に参加した延べ人数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	人	5,251	2,510	3,887	5,000	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 令和5年度のぎょしょく教育に参加した延べ人数は3,887人で、目標値と比較し1,113人少ない状況です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による出前事業の実施が困難な状況になったことが低下の原因ですが、令和4年度と比べて1,377人増加しており、5類移行に伴い回復傾向にあります。</p>	<p>対前年度: ☀ (向上)</p> <p>目標達成度: ■■■ (高)</p>					
		<p>(状況) 令和5年度の公共施設の給食における地元水産物の利用額は20,465千円で、目標値と比較し9,535千円少ない状況です。 (原因) 令和4年度3月の年度末の卒業式等に関連する給食での需要が令和5年度は少なかったことや魚価の低迷等の影響があります。</p>	<p>対前年度: ☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度: ■■ (中)</p>				
指標	公共施設の給食における地元水産物の利用額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	千円	22,493	24,790	20,465	30,000	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 令和5年度の漁協直販増加額は577,500千円で、目標値と比較し27,500千円上回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより飲食店向けの需要及び魚価が回復したことにより増加しました。また、令和4年度は、もじゃこの不漁によりブリの売り上げが大幅に減少していましたが、令和5年度は回復傾向にあります。</p>	<p>対前年度: ☀ (向上)</p> <p>目標達成度: ■■■ (高)</p>					
		<p>(状況) 令和5年度の漁協直販増加額は577,500千円で、目標値と比較し27,500千円上回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより飲食店向けの需要及び魚価が回復したことにより増加しました。また、令和4年度は、もじゃこの不漁によりブリの売り上げが大幅に減少していましたが、令和5年度は回復傾向にあります。</p>	<p>対前年度: ☀ (向上)</p> <p>目標達成度: 🏰 (達成)</p>				

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
9,575	5,890

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>漁業者、漁協、大学、行政、企業等</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>関係者が連携を図ることにより、地域の抱える水産課題を解決します。</p>
----------------------------------------	----------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	共同開発研究をした延べ件数 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		件	14	12	14	15	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和5年度の共同研究をした延べ件数は14件であり、昨年度から2件増加しています。 (原因) 令和5年度から新たに漁業者と連携しJブルークレジットの取組を開始したため、昨年度から増加しています。</p>					対前年度	
		<p>(横ばい)</p> <p>☀️ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>					
指標	市場で付加価値が高い水産物数 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		種	4	4	4	5	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和5年度の水産物は4種であり、愛媛県、愛媛大学、水産関係者等と共同連携し、事業を推進しています。スマに関しては付加価値を高めるため、種苗の質を高める試験を県が継続している他、養殖現場ではペレット給餌試験を実施しています。 (原因) 水産物の高付加価値化やブランド化には時間を要するため、ほぼ横ばい状態が続くと思われます。</p>					対前年度	
		<p>(横ばい)</p> <p>☁️ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>					

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
36,265	42,970

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者	基本事業がめざす姿 地域漁業を担う漁業者を育成します。
----------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町内の漁業従事者の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	%	8.1	7.6	7.2	8.2	☂ (低下)
評価	(状況) 令和5年度の漁業従事者数は、1,414人で、町内の漁業従事者数の占める割合は7.2%となり基準値の8.1%に対して0.9ポイント、前年と比較して0.4ポイント低下しています。 (原因) 高齢化及び後継者不足による廃業などによる従事者数の横ばいもしくは低下が原因であると考えます。						☂ (低下) 対前年度
							☂ (低下) 目標達成度
							■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
83	75

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-06 持続可能な漁業の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者	基本事業がめざす姿 カーボンニュートラル漁業を目指し、環境負荷の軽減と資源の持続性に配慮した漁業が推進されています。
----------------	---------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	水産エコラベル認証に基づく輸出量	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	t	53.0	57.0	76.0	63.6	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和5年度の水産エコラベル認証に基づく輸出量は76.0tで、目標値と比較して12.4t上回っています。 (原因) 国際認証のBAP認証を令和5年3月に取得したことにより輸出の幅が広がったことです。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
5,399	6,262

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
127,292	102,344

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-02 農林業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業 03-02-02 農地の継承

基本事業 03-02-03 経営安定と産地化の推進

基本事業 03-02-04 農地の保全・農村環境の整備

基本事業 03-02-05 新たな森林管理システムの推進

基本事業 03-02-06 農業地域資源を活用した農作物の高付加価値化

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

農林業を取り巻く環境は、農林畜産物価格の低迷及び資材価格の高騰のほか、鳥獣被害や災害リスクの増加など厳しい状況が続いています。また、営農環境では、地域農業の担い手の高齢化による労働力不足により、農作業等の負担や危険性が拡大しているため、後継者をはじめとする新規就農者等の担い手の確保が課題となっています。

これらの課題を解消するため、将来の地域農業のあり方を地域で作り上げる地域計画等に基づき、意欲ある経営体や集落営農組織の育成、効率的な農地集積の推進及び鳥獣被害防止支援を組み合わせた適正な農地管理と併せて、安定した収入の確保に向けた農林畜産物の産地化や高付加価値化に取り組んでいく必要があります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.97 (2.95)	2.96 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.63 (3.67)	3.70 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>農林業者、農地、農業用施設、森林、町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>自然環境に配慮しつつ、地域特性を活かした安心安全な農林産物の安定生産及び販売が行われ、付加価値が向上することにより所得が向上します。</p>
-----------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	農業産出額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	千万円	233	243	238	233	(横ばい)
評価	(状況) 農業算出額は、前年度と比較して5千円減少しましたが、目標値を達成しています。 (原因) 主として、果実の産出額が4千円減少したことによるものです。価格の高騰による生産コストの上昇が一因と考えられます。	(千万円)					対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
指標	林業素材生産量	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	m3	7,407	5,946	7,842	10,000	(横ばい)
評価	(状況) 前年度より1,896m3、基準値より435m3増加しました。目標値は達成していませんが順調です。 (原因) 高性能林業機械等が導入され、集積作業が効率的に行えるようになったことが、成果向上に結びついたと考えられます。	(m3)					対前年度 (向上) 目標達成度 (高)
指標	耕作面積	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	1,383	1,338	1,096	1,383	(低下)
評価	(状況) 耕作面積は、前年度より242ha、基準値より287ha減少し、減少傾向にあります。 (原因) 高齢化や後継者不足等により、新たに耕作放棄地が増加したことが原因と考えられます。	(ha)					対前年度 (低下) 目標達成度 (高)

施策のコスト(千円)

R04	R05
616,736	444,186

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者	基本事業がめざす姿 県、JA等と連携し、募集、研修、経営定着、経営発展、経営継承まで、一貫した支援が受けられ、意欲のある経営体や集落営農組織などの多様な担い手が確保・育成されています。
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	新規就農者数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R07)	対基準値
指標	上がると良い指標 【農林課】	人	0	4	6	12	☀️ (向上)
評価	(状況)令和5年度は独立自営が2名(うち親元就農1名、親と別部門1名)新規に就農しており、目標値の達成に向け順調に推移しています。 (原因)大きく増加しない背景として、雇用就農者が増加しており、法人の経営基盤の強化に向けた雇用確保の動きが影響していることが要因と考えられます。					☁️ (横ばい) 対前年度	
評価							☁️ (横ばい) 目標達成度
評価							■ (中)
指標	認定農業者数	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R07)	対基準値
指標	上がると良い指標 【農林課】	人	158	154	152	158	☁️ (横ばい)
評価	(状況)認定農業者数は152名で、前年度より2名減少、総合計画基準値より6名減少しました。 (原因)認定農家の高齢化等により5名が認定更新等を辞退しましたが、新たに3名を認定農業者として認定したため、全体として2名の減となりました。					☁️ (横ばい) 対前年度	
評価							☁️ (横ばい) 目標達成度
評価							■ (高)
指標	農地所有適格法人数	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R07)	対基準値
指標	上がると良い指標 【農林課】	経営体	14	18	18	18	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和5年までに報告のあった法人数は、昨年度から増減はなく18経営体となっており、目標値を達成しています。 (原因)令和5年度に新たに農地所有適格化法人となった法人はありません。					☁️ (横ばい) 対前年度	
評価							☁️ (横ばい) 目標達成度
評価							🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
16,813	33,740

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-02 農地の継承

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者、農地	基本事業がめざす姿 持続的な農業推進のために、農地が継承されています。
-------------------	----------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	新規利用権設定数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	件	0	61	120	296	☀️ (向上)
評価	(状況)令和5年度の利用権設定数は59件で、前年度に比べ2件減少しましたが、目標値の達成に向け順調に推移しています。 (原因)年によってばらつきはありますが、高齢化等により担い手の労働力確保が困難になっており、経営面積の拡大が進んでいないことが原因と考えられます。	(件)					☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (低)

指標	農地利用集積面積	単位	基準値	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	300	356	353	300	☀️ (向上)
評価	(状況)令和5年度に地域の担い手へ集積している面積は353haで、前年度と比べ3ha減少しています。 (原因)高齢化をはじめとする労働力不足により、経営面積を維持することが困難となっていることが一因と考えられます。	(ha)					☀️ (向上) 対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
515	1,116

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-03 経営安定と産地化の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者	基本事業がめざす姿 経営安定のための各種支援が活用され、産地化が進み、農業経営が継続されています。
----------------	------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	産地化、高付加価値化を進める農産物（野菜）の作付面積	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	36.3	41.4	45.4	40.0	☀️ (向上)
評価	(状況)産地化、高付加価値化を進める農産物（野菜）の作付面積は45.4haで、前年度より3.0ha増加し、目標値を達成しています。 (原因)特に春ブロッコリーの作付が増加しており、大口農家が農地集積を行い、作付けを増やしたことが要因と考えられます。						☀️ (向上) ☀️ (向上) 🏠 目標達成度 🏠 (達成)

指標	産地化、高付加価値化を進める農産物（柑橘）の作付面積	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	449.7	451	451.9	450.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和4年産柑橘の栽培面積は451.9haで、前年度より0.9ha増加しており、町内の主要品目である柑橘の栽培面積は維持されています。 (原因)果樹経営支援対策事業等を活用し新植、改植等を進めることで、優良園地として栽培が継続されていることが要因と考えられます。						☁️ (横ばい) ☁️ (横ばい) 🏠 目標達成度 🏠 (達成)

指標	水田の有効活用面積	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	24.4	25.4	24.6	28.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)産地交付金の対象としている高収益作物の栽培面積は24.6haで、前年度より0.8ha減少しましたが、基準値は上回っています。 (原因)高齢化等により、高収益作物の作付農家が減少したことが原因と考えられます。						☁️ (横ばい) ☁️ (横ばい) 🏠 目標達成度 🏠 (高)

指標	セーフティネット加入経営数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	件	422	331	358	422	☔️ (低下)
評価	(状況)前年度と比較し、収入保険事業の加入者は増減はありませんが、農業共済事業の加入者は27名増加しました。 (原因)事業の周知により、異常気象による高温等により作物の収量低下や価格低下等の経営リスクへ備える農家が増えたことが要因と考えられます。						☔️ (低下) ☁️ (横ばい) 🏠 目標達成度 🏠 (高)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
13,773	13,463

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-04 農地の保全・農村環境の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者、農地、農業用施設	基本事業がめざす姿 適正な農地管理、鳥獣被害軽減及び生産性が高い農地や農道、水路、防災重点ため池の整備がされています。
-------------------------	----------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	鳥獣被害面積	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【農林課】	ha	11.97	10.43	10.17	10.00	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和5年度の鳥獣被害面積は10.17haで、前年度と比較し0.26ha減少しており、鳥獣による農作物被害の拡大が抑制され、順調に推移しています。 (原因) 鳥獣侵入防止柵の設置や、猟友会及びわなの会の協力による捕獲の効果が鳥獣被害の防止に結び付いたと考えられます。						☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)
指標	農業施設整備完了割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標 【農林課】	%	91.4	90.8	95.9	100	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和5年度における地区要望・整備計画における農業施設整備完了割合は95.9%となっており、前年度に比べて5.1ポイント増加となっています。目標値には及ばないものの、高い水準を維持しています。 (原因) 令和5年度地区要望・整備計画の工事における2件の工事実施について、令和6年度へ繰越実施することとしたことが主な原因です。令和6年度の工事完了により農業施設完了割合は100%となります。						☀️ (向上) 目標達成度 ■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
374,341	235,584

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-05 新たな森林管理システムの推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>林業者、森林</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>森林経営管理制度と森林環境譲与税を両輪とした新たな森林管理システムを推進し、林業事業者の事業量と担い手が安定確保されています。</p>
------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	間伐面積	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	110.0	70	81	130	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 間伐面積は、前年度に比べ11ha増加しましたが、目標値は達成していません。</p> <p>(原因) 森林環境譲与税を使用し、計画的な間伐を実施していますが、労働力の不足が問題となっています。</p>						☁ (横ばい) 目標達成度 ■ (中)

指標	林業従業者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	人	28	25	17	35	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 林業従事者数は、前年度から8名、基準値から11名減少しており、減少傾向にあります。</p> <p>(原因) 高齢による離職及び新規林業従事者の確保が出来ていないことが原因と考えます。</p>						☂ (低下) 目標達成度 ■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
102,163	53,584

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-06 農業地域資源を活用した農作物の高付加価値化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者、町民	基本事業がめざす姿 河内晩柑をはじめとする愛南産農産物やグリーンツーリズムの取組等、魅力ある愛南町の情報を発信し、愛南のファンが増加しています。
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	愛南ゴールド等販売促進部会における河内晩柑等の販売額 上がると良い指標 【農林課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		万円	120	556	828	300	☀️ (向上)
評価	(状況) 愛南ゴールド等販売促進部会における河内晩柑の販売額は前年対比272万円増の828万円であり、目標値を達成しています。 (原因) これまで継続的に行ってきた河内晩柑の販売促進活動が徐々にではあるものの確実に実を結んでおり、その結果が大幅な目標値越えにつながっています。事業者に対するサンプル提供や商談の成果により、これまで納入実績がなかった北海道や東北で愛南ゴールドの取扱いが始まったことが大きな要因です。						☀️ (向上) ☀️ (向上) ☀️ (向上) ☀️ (達成)

指標	河内晩柑の果汁及び果皮の販売額（委託搾汁分） 上がると良い指標 【農林課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		千円	4,460	4,460	7,600	7,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和3年度から実施している河内晩柑の委託搾汁事業について、果汁及び果皮の販売額は前年の約1.7倍となる7,600千円で目標値を上回りました。果汁等を活用した販売促進活動により、本町特産品の河内晩柑の消費拡大や認知度の向上が図れている状況です。 (原因) 河内晩柑果汁を使用した商品の売れ行きが好調で、取引先からの受注量が増加したことが原因です。						☀️ (向上) ☀️ (向上) ☀️ (向上) ☀️ (達成)

指標	グリーン・ツーリズム等の体験提供イベント参加者数 上がると良い指標 【農林課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		人	130	72	88	143	☔️ (低下)
評価	(状況) グリーン・ツーリズム体験提供イベントを3回実施しましたが、参加者数は88人ととどまり、目標には達しませんでした。 (原因) 秋に大型イベント開催を予定していましたが、諸事情によりイベント開催を中止したことが要因です。						☔️ (低下) ☀️ (向上) ☀️ (達成) ■ (中)

指標	ホームページやSNSを活用した情報発信数 上がると良い指標 【農林課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		件	74	62	7	96	☔️ (低下)
評価	(状況) 町ホームページとFacebookの2つの媒体で毎月2回の情報発信を目標としましたが、達成できませんでした。 (原因) 発信すべき有益な情報が少なかったことが主な原因としてあげられます。						☔️ (低下) ☔️ (低下) ☀️ (達成) ■ (低)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
16,529	16,138

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
92,602	90,561

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-03 商工業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-03-01 経営面の支援強化

基本事業 03-03-02 創業・事業承継への支援

基本事業 03-03-03 企業誘致・留置の推進

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の商工業者数は、近年減少傾向となっています。商工業者の8割以上が従業員数5人以下等の小規模事業者であり、事業主の高齢化や後継者不足等が廃業につながりやすいことが主な要因となっています。そのような状況の中、新たなビジネスの創業支援や事業承継といった課題に取り組み、地域産業を維持していくことが求められています。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.80 (2.95)	2.80 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.64 (3.67)	3.73 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
商工業者	商工業者の生産性や販売力が強化されることにより、事業活動が継続され、地域が活性化しています。

施策の成果状況と評価

指標	町内の商工業者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		業者	1,144	1,082	1,082	1,000	
評価	(状況) 町内の商工業者数は1,082業者で、総合計画基準値より62業者減少しており、推計通りの減少傾向となっています。 (原因) 事業承継や新規創業が少なく、事業主の高齢化による廃業が進み、町内の商工業者数が減少したことが原因です。	(業者)					

施策のコスト(千円)

R04	R05
262,610	271,255

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-01 経営面の支援強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>中小企業者及びその他法人</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>中小企業者等の経営力が向上し、その経営が安定しています。</p>
------------------------------------	------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	黒字化している事業所（町民税の法人税割課税事業所）割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	%	35.7	65.4	65.9	38.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 黒字化している事業所割合は65.9%で、総合計画基準値より30.2ポイント上回り、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 事業者の業績が上がり、課税事業者の割合が増加したことが主な要因と考えられます。</p>						☁️ (横ばい)
							🏰 (達成)

指標	町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業者数（基本計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	業者	2	11	16	60	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業者数は5業者で、総合計画基準値より3業者多いですが、目標達成度は低い状況となっています。</p> <p>(原因) 町の経営支援制度を活用して、生産性向上等に取り組む事業者が少ないことが原因です。</p>						☔️ (低下)
							■ (低)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
201,801	218,260

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-02 創業・事業承継への支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 中小企業者	基本事業がめざす姿 地域資源を活かした起業が行われるとともに、事業承継により事業活動が継続されています。
------------------	---------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	新規に法人化した事業者数（基本計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	業者	11	9	18	15	☀️ (向上)
評価	(状況) 新規に法人化した事業者数は9業者で、既に前期目標値を達成しています。 (原因) 業績が良く、法人成りした事業者が多く設立されたことが主な要因です。	(業者)					☁️ (横ばい)
							🏰 (達成)

年度	実績値 (業者)	目標値 (業者)
基準	11	11
R04	9	11
R05	18	11
R07	15	15

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
0	0

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-03 企業誘致・留置の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>製造業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業又は宿泊業を営む事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>町内に企業が進出するとともに、進出した企業が留まっていることで、雇用が拡大し、地域が活性化しています。</p>
-------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	企業の誘致・留置件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	<p>上がる和良好的指標 【商工観光課】</p> <p>(状況) 企業の誘致・留置件数はこれまで5件と、令和5年度に新たな企業誘致の動きはありませんでした。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響も徐々に少なくなっていますが、企業の地方への進出意向は回復していません。</p>	件	5	5	5	6

Year	Actual Value (件)	Target Value (件)
基準	5	-
R04	5	-
R05	5	-
R07	-	6

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
3,224	959

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
57,585	52,036

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-04 観光・物産の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の年間観光客数は、平成28（2016）年度は1,231千人ありましたが、令和2（2020）年度には新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により790千人と約36%減少していましたが、令和5（2023）年度は1,006千人と回復傾向にあります。今後は、観光に携わる町内事業者との連携を強化し、民間活力を取り入れた効果的な観光イベントの実施など、観光資源のPRや受け入れ態勢の充実を図り、町の魅力が十分に発信できる環境づくりに取り組めます。

近年、観光を取り巻く状況は、国内観光等のマイクロツーリズムを主体として、新たな観光需要に対応することが求められています。町観光協会の機能を充実・強化することにより、ニューノーマルな視点での観光プログラムの造成、情報発信力や広域連携による誘客機能の向上を図り、まちづくりの情報発信拠点となるよう取り組んでいきます。

本町の魅力を広く発信し、町内に点在する地域資源を利活用しながら、観光・物産振興に対する町民の理解を深め、町民が地域への誇りと愛着を持つことができる、活力に満ちた地域社会の実現を目指します。また、ふるさと納税や統一ブランディングロゴマーク「いろこいあいなん」の活用により、特産品等のブランド力の向上を図ります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.76 (2.95)	2.75 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.78 (3.67)	3.86 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
観光客	地域の魅力を理解し、愛南町を好きな方が増加するとともに、多くの観光客が訪れます。

施策の成果状況と評価

指標	年間観光客数(入込客数)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	人	790,032	946,654	1,006,341	1,500,000	(横ばい)
評価	<p>【商工観光課】</p> <p>(状況) 基準値に比べ、216,309人増加しているものの目標値には大きく届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたため、イベント開催数等も増加しており、このため観光客も増加したと考えられます。</p>						(対前年度) (向上) 目標達成度 (中)

施策のコスト(千円)

R04	R05
920,706	1,420,953

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 特産品、観光スポット	基本事業がめざす姿 地域の資源（特産品や観光スポット）を活かしたイベントやふるさと納税事業の実施により、誘客の促進と特産品が全国に認知されます。
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町内で観光客誘致のため開催される各種イベントにおける参加者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		人	11,286	17,938	36,185	100,000	☁️ (横ばい) ☀️ (向上) ■ 目標達成度 ■ (中)
評価	(状況) 基準値に比べ、24,899人増加しているものの目標値には大きく届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたため、イベント開催数も増加しており、このため参加人数も増加しました。						

指標	町が実施又は支援する観光・物産振興イベントの開催回数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		回	2	19	20	25	☁️ (横ばい) ☀️ (向上) ■ 目標達成度 ■ (中)
評価	(状況) 基準値に比べ、イベントの実施回数も18回増の20回と増加しているものの目標値には届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたため、イベント開催数も増加しました。						

指標	ふるさと納税の寄附件数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		件	16,336	128,868	206,554	100,000	☀️ (向上) ☀️ (向上) ■ 目標達成度 🏰 (達成)
評価	(状況) 基準値を190,218件、目標値を106,554件上回り好調に推移しています。 (原因) 返礼品数の増加及び積極的なPR、並びにふるさと納税市場の拡大によるものと考えられます。						

指標	ふるさと納税の返礼品登録数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		品	320	1,006	1,200	700	☀️ (向上) ☀️ (向上) ■ 目標達成度 🏰 (達成)
評価	(状況) 基準値を880件、目標値を500件上回り好調に推移しています。 (原因) 令和4年度からのふるさと納税事業の業務委託により、同社と連携した新規返礼品開発が可能になったことが要因と考えられます。						

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
615,291	1,143,282

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民、民間企業	基本事業がめざす姿 具体的な効果のあるブランド、PRを充実させ、観光協会、旅行会社等と連携することにより、観光客が望む内容を理解し、多くの方々に本町の魅力を知ってもらうための情報発信を行います。
------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町ホームページ内の観光ページへのアクセス件数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標	件	20,846	24,202	26,888	30,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 基準値のアクセス件数と比較すると、6,042件増加していますが、目標値には届いていません。 (原因) 内容の充実を図り、イベントや観光・物産のPRを行ったことで、基準値よりアクセス件数が増加したと考えられます。					☀️ (向上)	
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	■ (中)		
指標	町及び観光協会の公式SNSフォロワー数及び登録者数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標	人	1,167	1,758	3,053	1,300	☀️ (向上)
評価	(状況) 目標値に対し、1,753人増の3,053人とフォロワー数が増加しており、目標を達成しています。 (原因) SNSの投稿を週1回以上を目標に実施しており、これにより、フォロワー数が増加したと考えられます。					☀️ (向上)	
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)		
指標	統一ブランディングロゴマーク「いろこいあいなん」の利用登録件数(基本計画期間累計) 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標	件	11	12	22	22	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べて10件増加し、目標値を達成しました。 (原因) 事業者に対し補助金事業が周知され、ロゴマーク「いろこいあいなん」が浸透していることが要因だと考えられます。					☀️ (向上)	
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)		
指標	新聞、テレビ、雑誌等及びSNS等へのリリース・情報発信件数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標	件	26	46	28	30	☔️ (低下)
評価	(状況) 基準値に対し、2件増減の28件の情報発信を実施していますが、目標値に届いていません。 (原因) SNSを活用した情報発信が多く、プレスリリース件数が減少したことで目標値に届きませんでした。					☔️ (低下)	
		対前年度	☔️ (低下)	目標達成度	■ (中)		

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
45,445	20,401

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民、民間企業	基本事業がめざす姿 観光施設の維持管理やリニューアル、体験型観光等のメニュー・ルート作りをして、魅力の向上を図り、多くの方が訪れます。
-----------------------	------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	観光施設の利用支障件数（修繕件数）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【商工観光課】	件	25	16	13	20	☀️ (向上)
評価	(状況) 基準値に対し、本年度は13件となり、目標値以下で達成できています。 (原因) 各施設と連絡を密にし、初期段階で状況を確認し対策することで施設の不具合箇所の影響拡大をある程度抑えることができました。今後も早期対応に努める必要があります。						☀️ (対前年度) (向上)
							☀️ (目標達成度) (達成)

指標	観光資源を活用した体験メニュー数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標 【商工観光課】	件	2	1	5	10	☀️ (向上)
評価	(状況) 基準値の2メニューに対し、5メニューとなっており目標値に届いていません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたため、体験メニューの充実を図り、誘客に努めたいと思います。						☀️ (対前年度) (向上)
							■ (目標達成度) (中)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
223,037	234,343

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
36,933	22,927

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

施策を実現する手段

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業 03-05-02 労働人材の確保

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化に伴って生産年齢人口が減少し、町内の従業者数も減少が続いています。このような状況の中、求人募集事業者と求職者のニーズが一致しない、いわゆる雇用のミスマッチが起こっており、愛南町就職支援センターにおける有効求人倍率も平成30（2018）年度からの3か年度平均は3.44倍と高い水準になっています。雇用関係の成立や企業誘致・留置施策による雇用の創出・維持など労働人材の確保が課題となっています。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.47 (2.95)	2.43 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	4.05 (3.67)	4.02 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民及び事業者	雇用及び労働人材が確保されることにより、地域産業が持続し、町民が安心して働き、生活できます。

施策の成果状況と評価

指標	町内の従業者数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		上がる和良好的指標	人	6,310	5,903	5,903	5,500
評価	<p>(状況) 町内の従業者数は5,903人(令和3年調査)で、総合計画基準値より407人減少しており、推計通りの減少傾向となっています。</p> <p>(原因) 人口の減少、事業主の高齢化による廃業などによって生産年齢人口が減少していることが原因です。</p>					対前年度	
		比較不可	目標達成度	■ ■ (中)			
指標	有効求人倍率 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		下がる和良好的指標	倍	3.54	4.28	4.46	3.00
評価	<p>(状況) 町内の有効求人倍率は4.46倍で、前年度と比較し0.18ポイント、総合計画基準値と比較し0.92ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 雇用のミスマッチは従来から原因の一つとされていますが、近年では人口減少や高齢化に伴い求職活動を行う人が減少しています。就職支援センターにおける相談者数及び求人の紹介件数が減少していることも、有効求人倍率の上昇原因として挙げられます。</p>					対前年度	
		☔ (低下)	目標達成度	■ ■ (低)			

施策のコスト(千円)

R04	R05
1,831	1,013

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民及び事業者	基本事業がめざす姿 求職者が雇用相談や各種研修などを活用することにより、雇用が促進されます。
--------------------	---------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	求職者の就職割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	%	53.5	63.8	54.9	58.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 求職者の就職割合は54.9%で、前年度より8.9ポイント減少し、総合計画基準値は上回っていますが、目標値を3.1ポイント下回っています。 (原因) 雇用側が、人手不足に伴い採用基準のハードルを下げ、より広い範囲の求人を行っているものの、求職者との間でミスマッチがあったこと等が要因として考えられます。						☂️ (低下)
							■ ■ ■ (高)

指標	誘致・留置した企業の町内雇用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	人	238	241	241	250	☀️ (向上)
評価	(状況) 誘致・留置した企業の町内雇用者数は241人で、総合計画基準値を3人上回り、目標値を達成しています。 (原因) 誘致・留置した企業が、労働人材の不足により採用活動を積極的に行っていることが主な要因と考えられます。						☁️ (横ばい)
							🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
831	76

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

基本事業 03-05-02 労働人材の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者及び移住者	事業承継や町内外からの就業・起業が促進され、人材不足が解消されています。

基本事業の成果状況と評価

指標	町と関係機関が連携・支援して、事業承継した事業者数及び新規参入者数(基本計画期間累計) 【商工観光課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値																		
		業者	15	7	16	24	☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)																		
評価	(状況)町と関係機関が連携・支援して、事業承継した事業者数及び新規参入者数は、農林課3人、水産課4人及び商工観光課2人の計9人で、単年度目標値6に比べて3人上回り、目標値を達成しています。 (原因)農業・水産業・商工業の各分野における補助金制度が活用されたことが要因です。	(業者)	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>基準</td><td>R04</td><td>R05</td><td>R06</td><td>R07</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>15</td><td>7</td><td>16</td><td>-</td><td>24</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>24</td></tr> </table>				年度	基準	R04	R05	R06	R07	実績値	15	7	16	-	24	目標値	-	-	-	-	24	
年度	基準	R04	R05	R06	R07																				
実績値	15	7	16	-	24																				
目標値	-	-	-	-	24																				
指標	町外向けの仕事紹介への取組数(短期、定住) 【商工観光課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値																		
件	0	0	0	4	☂️ (低下) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■ (低)																				
評価	(状況)町外向けの仕事紹介への取組数は0件で、総合計画目標値4件(累積)に比べて、順調ではありません。 (原因)令和4年度から年度単位で1件ずつの取組を想定していましたが、町HPに求人情報の掲載をしているものの、それ以上の取組を行えなかったことが原因です。	(件)	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>基準</td><td>R04</td><td>R05</td><td>R06</td><td>R07</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>-</td><td>4</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>4</td></tr> </table>				年度	基準	R04	R05	R06	R07	実績値	0	0	0	-	4	目標値	-	-	-	-	4	
年度	基準	R04	R05	R06	R07																				
実績値	0	0	0	-	4																				
目標値	-	-	-	-	4																				

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
1,000	738

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
0	199

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業 04-01-02 ボランティア・NPO活動の推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

協働によるまちづくりは、愛南町自治基本条例に明記されているとおり、町民が主体的に町政へ参画できる機会を提供し、その意見を町政へ反映させることにより推進されますが、町民の町政への参画はまだ十分ではない状況です。

また、人口減少や少子高齢化が進展する中、町の周辺地域においては衰退が著しい地区も発生してきています。地域コミュニティの運営・維持は、町の活性化の大きな課題となっており、地域と連携した効果的・効率的な地域コミュニティへの支援が必要な状況となっています。

時代の変化に伴い多様化していく行政ニーズに対応していくため、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携し、福祉、産業等のまちづくりに取り組む必要があります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	2.97 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.51 (3.67)	3.55 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、行政	町民、事業者及び行政、それぞれの役割を認識し、協働の精神で連携した、自立した地域社会ができています。

施策の成果状況と評価

指標	町民、事業者及び行政が協働したまちづくりがなされていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	%	54.5	54.3	52.3	60.0	(横ばい)
評価	(状況) 令和5年度は、基準値に2.2ポイント、前期目標値に7.7ポイント届きませんでした。 (原因) コロナ禍以前に比べて、中止、縮小された事業が多く、満足度が向上しなかったものと考えられます。						(横ばい)
							(横ばい)
							目標達成度
							■■■ (高)

施策のコスト(千円)

R04	R05
200,931	165,136

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 行政区の機能が維持され、地域の運営・維持がされています。
------------------	-------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
町民の行政区への加入率 【総務課】	%	73.4	72.7	72.1	75.0	☁️ (横ばい)
上がると良い指標 (状況) 令和5年度は72.1%で、目標値には2.9ポイントとどきませんでした。 (原因) 人口減少により行政区に加入する世帯が減少したことに加え、若い世帯や転入・転居世帯の新規加入が進まないことなどが原因として考えられます。					☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)	
地域コミュニティ活動への参加率 【総務課】	%	31.7	42.3	39.5	50.0	☀️ (向上)
上がると良い指標 (状況) 令和5年度は39.5%で、目標値には10.5ポイント届きませんでした。 (原因) 行政区加入世帯数は70%を超えているものの、生活スタイルの変化や近隣関係の希薄化により地域コミュニティ活動の役割が薄れてきていること、地域コミュニティに対する若い世代と高齢世代の意識のずれ等が要因と思われます。					☀️ (向上) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)	
行政区の活動継続のために行政として支援や情報提供を実施した件数 【総務課】	件	1	1	1	3	☀️ (向上)
上がると良い指標 自治会を行政区へ修正 (状況) 令和5年度の情報提供等の回数はなく、行政区からの相談等の回数は1回でした。 (原因) 各行政区において自治的な運営を行っており、基本的に行政からの積極的な支援や指導は難しいため、相談等は少ない傾向にあります。					☀️ (向上) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)	

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
59,625	69,996

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-02 ボランティア・NPO活動の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、NPO、ボランティア団体、行政	基本事業がめざす姿 多様な市民活動（NPO法人、ボランティア等）が、協働担い手として、活動できる環境となっています。
--------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	団体情報ファイルに記載されている各分野のNPO法人及びボランティア団体の数 【企画財政課】	団体	19	19	18	19	(横ばい)
	上がる和良好的指標	(団体)					対前年度
評価	(状況) 令和5年度は18団体で、前年に比べて1団体減少しました。 (原因) 既存の団体が活動を終了したためです。						目標達成度
							■■■ (高)
指標	ボランティア活動やNPO活動をしている町民割合 【企画財政課】	%	11.0	17.0	17.0	18.0	(向上)
	上がる和良好的指標	(%)					対前年度
評価	(状況) 令和5年度は17.0%で前年と同様です。およそ1割強の住民が町内でのボランティア活動及びNPO法人活動に参加しており、順調に推移しています。 (原因) 町内で行われる各種活動について、参加率は前年と同数で安定しており、一定数がボランティア活動に関心を抱いていることが要因であると考えられます。						目標達成度
							■■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	町の出来事や行政の情報が十分に伝わっています。

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町からの広報（広報紙及びホームページ）の量や内容が十分だと思う町民の割合	%	93.5	91.6	91.5	95.0	☁️ (横ばい)
	上がると良い指標 【総務課】						
評価	(状況)令和5年度の指数値は90%を超えましたが、目標値には3.5ポイント届きませんでした。また、前年に比べると0.1ポイント低下していますが、これは住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲内と考えられます。 (原因)令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しつつも様子見の傾向もあり、目標値まで届かず伸び悩んだと考えられます。しかしながら、ホームページや広報紙には最新のイベント情報や各課からのお知らせを掲載したため、前年から引き続き横ばい状態を維持していると考えます。						☁️ (横ばい) 対前年度
		☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)					

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	広報紙を読んでいる町民の割合	%	69.2	91.9	92.1	75.0	☀️ (向上)
	上がると良い指標 【総務課】						
評価	(状況)90%を超える町民が広報を読んでいると回答しており、目標は達成できていると言えます。 (原因)町内で行われるイベントや各種行政情報の掲載など、幅広い層の読者に興味を持ってもらえる内容を意識した結果、多くの町民が求める紙面になっていると考えられます。また、FacebookやLINEなどのSNSを利用した広報紙発行情報の発信や、ホームページへの記事の掲載も、多くの町民に広報あいなを届けるための一助になっていると考えられます。						☀️ (向上) 対前年度
		☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)					

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
6,357	6,562

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 町の事業、施策等における計画、実施、評価及び見直しに至るまでの各過程に町民が主体的に関わることによって、町民の町政への参画を図ります。
-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	公募による委員の割合 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	11.4	11.4	11.0	20.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和5年度は11.0%で、基準値に0.4ポイント、目標値に9.0ポイント届きませんでした。 (原因)就業している住民にとっては日中の会議開催に参加し難い状況であること、公募可能な委員会の中にはその協議内容が未経験者にはハードルが高く、公募し難い状況にあることなどが原因として考えられます。						☁️ (横ばい)
		対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)					

指標	町政に町民の意見が反映できていると感じている住民の割合 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	52.8	56.4	50.7	60.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和5年度は50.7%で、基準値に2.1ポイント、目標値に9.3ポイント届きませんでした。 (原因)意見表明制度への意見件数や委員の公募件数の低迷が町政への意見が反映できていないと感じる一因であると考えられます。						☁️ (横ばい)
		対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 ■■ (高)					

指標	意見表明制度の実施回数 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		回	9	7	7	10	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和5年度の実施件数は7件で、基準値より2件減少し、目標値にも届いていない状況です。 (原因)令和5年度には、意見表明制度の実施の対象となる計画等の件数が少なかったことが原因と考えられます。						☁️ (横ばい)
		対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (高)					

指標	地区要望のうち当該年度に実施した事業の割合 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	68.9	55.4	62.8	75.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和5年度は62.8%で、目標値には12.2ポイント届きませんでした。 (原因)昨年度に比べ19.6ポイント上昇しましたが、地区要望の中には直ちに修繕等を行う必要はないものがあり、また、限られた予算の中で優先順位の高いものから実施していることなどが原因と考えられます。						☁️ (横ばい)
		対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■■ (中)					

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
35,780	35,699

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	町民が町政に関する情報を分かりやすく取得でき、町と町民が情報を共有することによって、町政の透明性と公平性を高めます。

基本事業の成果状況と評価

指標	情報公開請求に対する不適正件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	件	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和5年度の情報公開請求に対する不適正件数は、0件です。基準値及び目標値を達成しています。 (原因) 情報公開請求に対し、適正に対応できているものと考えられます。						☁️ (横ばい)
							🏆 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
99,169	52,879

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-02-01 家庭の防災力の向上

基本事業 04-02-02 地域の防災力の強化

基本事業 04-02-03 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業 04-02-04 災害対応力の強化

基本事業 04-02-05 防災・減災ハード対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

南海トラフ沿いで想定されるマグニチュード8から9クラスの大規模地震の発生確率は、今後30年以内に70から80%に高まっています。また、地震・津波だけでなく、豪雨による水害や土砂災害についても、全国各地に毎年甚大な被害を与えており、自治体による適切な避難情報の発令や住民が適切に避難行動をとれる支援が求められています。

一方、住民一人一人の「自らの命は自らが守る」（自助）、地域住民が連携して「地域の安全はみんなで守る」（共助）意識の向上、日頃からの備え、発災時における命を守るための主体的な行動、地域住民相互の助け合いなど、地域防災力の向上が求められています。

また、大規模災害による復旧・復興が長期化することで、人口流出や地域活力の衰退が懸念されており、事前の復興手順や体制、復興後のまちづくり計画など事前復興の取組が求められています。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.04 (2.95)	2.96 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.73 (3.67)	3.86 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、行政	地域に密着し機能する持続可能な防災地域社会システム（防災文化）を創造することにより、町の防災力・減災力が向上し、被害が少なくなっています。

施策の成果状況と評価

指標	自然災害による死傷者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【防災対策課】	人	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況)自然災害による死者数は0件で、平成25年度より0件を維持しており、順調となっています。 (原因)町域で大規模な災害が発生しなかったことが影響していると考えられます。						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)		

指標	自然災害による被害戸数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【防災対策課】	棟	0	1	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況)台風や大雨など自然災害の発生はありましたが、住戸に大きな被害は無く、順調に推移しています。 (原因)町域で大規模な災害が発生しなかったことや一部の河川で堤防改修工事が行われ、災害の発生リスクを抑えられたことが影響していると考えられます。						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)		

施策のコスト(千円)

R04	R05
264,237	252,824

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-01 家庭の防災力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 一人ひとりが、日頃から災害に対する心構えを身につけ、災害に対する備えを行い、自分の命は自分で守る（自助）ことができるようになっています。
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	家庭での防災対策実践項目数（全12項目における平均実践度）	単位	基準値	実績値（R04）	実績値（R05）	目標値（R07）	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	項目	3.65	3.46	3.6	7	(横ばい)
評価	（状況）令和5年度の「家庭での防災対策実践項目数」は、3.6項目で、基準値より0.05ポイント減少しましたが、町民アンケートの指標で統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 （原因）住民の防災への関心はあるものの、費用の負担が必要な備えもあることが影響しているものと考えられます。					(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)	

指標	住宅の新耐震基準適合率	単位	基準値	実績値（R04）	実績値（R05）	目標値（R07）	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	%	54.3	55.0	55.5	90.0	(横ばい)
評価	（状況）令和5年度の住宅の新耐震基準適合率は55.5%で、前年度より0.5ポイント増加していますが、横ばい状態です。 （原因）耐震診断の申請件数は増加しているものの、耐震工事までに至る物件が少ない状況です。耐震化率の上昇は自然的な住宅更新によるものです。					(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)	

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
6,228	10,980

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-02 地域の防災力の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 自主防災組織	基本事業がめざす姿 災害時に地域住民が連携協力し合えるよう、自主防災組織が活性化し、日頃から防災教育や訓練などを行い、自分たちの地域は自分たちで守る（共助）ことができるようになっていきます。
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
訓練等を実施している自主防災組織の割合 上がると良い指標 【防災対策課】	%	19.3	22.0	29.0	50.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (中)
(状況) 令和5年度は29.0%で、前年度より7ポイント、6組織の増加となり、防災への関心の高まりから概ね順調に推移しています。 (原因) 近年頻発化する自然災害により、住民の防災に対する関心が高まってきており事業に影響していると考えられます。						
避難支援プラン個別計画の整備割合 上がると良い指標 【防災対策課】	%	12.1	8.2	8.4	50.0	(低下) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)
(状況) 令和5年度は8.4%で、基準値より3.7ポイントの減少となり、前年度と比較して横ばいです。 (原因) 避難行動要支援者対象者の増加（分母の増加）や新たな個別避難計画の整備ができていないことが原因です。今後は、真に避難支援が必要な対象要件を精査し、更に保健福祉部局や自主防災会及び介護支援事業所等と連携し、個別避難計画の整備を進めていきます。						
地区防災計画を策定している自主防災組織の割合 上がると良い指標 【防災対策課】	%	0	0	3.5	50.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)
(状況) 令和5年度は3.5%と86組織中3組織で作成が進み、前年度より3.5ポイント増加しました。 (原因) 近年頻発化する自然災害に加え、訓練や防災学習の際に啓発を行ったことが考えられますが、目標値を達成するためには更なる啓発活動が必要となります。						

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
4,817	15,735

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-03 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、町全体	基本事業がめざす姿 迫りくる未曾有の危機に対する正しい知識をもち、学校・家庭・地域の連携で自分の命は自分たちで守る「生き抜く力」を育て、親から子、子から孫へと継承されていく防災地域社会システム（防災文化）ができています。
-------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	社会教育における防災教育プログラムを履修した延べ町民数 上がると良い指標 【防災対策課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和5年度は15,435人で、前年度より2,834人増加し、基準値と比べて5,235人増加しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ移行されたことで、縮小や中止されてきた学習会や訓練が徐々に通常どおり開催されてきたことが原因だと考えられます。	(人)	10,200	12,601	15,435	18,000	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 ■■■ (高)
指標	義務教育課程における防災教育プログラムを履修した延べ児童・生徒数 上がると良い指標 【防災対策課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和5年度に義務教育課程における防災教育プログラムを履修し卒業した中学生は118人で、延べ2,339人となり順調に推移しています。 (原因) 各学校等において防災学習等が行われ、児童・生徒は「自分の命は自分が守る」という「自助」の意識を持ち、積極的に防災学習や避難訓練などに取り組んでいます。	(人)	1,945	2,221	2,339	2,400	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
816	955

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-04 災害対応力の強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>行政、防災拠点施設、防災機関</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>災害発生時に迅速かつ的確な判断、指示、行動が行えるよう職員の実践的なスキルが向上し、避難後における備蓄物資や資機材など支援体制が整備されています。</p>
--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町主催の災害対応訓練の実施回数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	回	2	2	2	2	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 町が主催する訓練を2回開催できており、目標どおり、順調に実施できています。</p> <p>(原因) 職員を対象とした区市町災害対策本部合同運営訓練(図上訓練)と職員参集訓練を実施しました。</p>					☀ (向上) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)	

指標	指定避難所資機材等の整備率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	%	36.8	41.9	44.9	50.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 令和5年度の指定避難所資機材等の整備率は44.9%で、前年度より3ポイント増加し、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 救急資機材を新たに13か所の避難所へ整備したことが要因です。</p>					☀ (向上) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 🏰 (高)	

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
18,288	17,425

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-05 防災・減災ハード対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町管理道ほか	基本事業がめざす姿 防災・減災のための道路や砂防等の工事を行い、安全性を高めます。災害時の復旧をおこないます。
-------------------	------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	防炎・減災のハード対策が完了した件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【建設課】	件	45	49	45	45	(横ばい)
評価	(状況) 防炎・減災のハード対策が完了した件数は45件の実施となり、目標を達成しました。 (原因) 令和5年度梅雨前線豪雨等による災害が未発生であるため、災害復旧工事数が0件であるものの、老朽危険空き家除却数が全体の30件、6割超えの対策を講じたことによるものです。					(横ばい)	
							(達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
220,991	191,425

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
13,097	16,304

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

大雨、台風及び地震による自然災害、突発的に発生する感染症対策など消防を取り巻く環境は大きく変化しています。この環境変化に対応し、消防は住民の生命、財産を守らなければなりません。そのためには、消防力の整備指針に基づき、計画的な消防車両の更新や資機材の整備を行い、職員が専門的な知識を身に付けるため各種研修を受講し、訓練を重ね多様化する災害に対応する必要があります。

また、平成27年に運用を開始した消防通信指令台の更新、修繕については費用が高額なため計画的に行う必要があります。高齢化が進む中、救急件数も年間で1,000件を超え高い水準で推移し、長時間の搬送になる管外搬送も全体の21.7%を占めています。このため、搬送途上での高度な処置、観察を行う必要があるため、救急救命士の養成を引き続き行う必要があります。さらに、火災を予防するため、不特定多数の人が利用する建物や高齢者が入所している施設などの予防査察を強化し、消防用設備の点検、設置状況を確認して違反等があれば是正していくことに努めます。一般住宅では住宅用火災警報器の多くが設置から10年以上経過し、電池の交換が必要になることから維持管理の啓発を推進しています。

地域防災の要である消防団では、団員数の減少や高齢化のほか団員のサラリーマン化等により、防災力が低下している地域も見られます。このため、少ない団員数で災害対応可能な資機材等を導入するほか、新規団員の確保と現役団員の退団等を防ぐため、団員の報酬や出勤手当等の処遇改善を行っています。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.19 (2.95)	3.13 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	3.70 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民、消防団、消防職員</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>施設及び人員を活用して、生命、身体及び財産を守り、被害を軽減することによって、安心安全な町になります。</p>
---------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	1万人当たりの火災発生件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【消防本部】	件	5.39	7.5	3.62	2	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 令和5年度に発生した火災は、建物火災3件、林野火災0件、その他の火災4件で合計7件の火災が発生しました。令和5年4月1日現在の愛南町の人口は19,328人で、1万人当たりの火災発生率は3.62件となり、基準値より向上しました。</p> <p>(原因) 建物火災3件とその他火災4件の合計7件の火災原因のうち不注意によるものが減少したことが影響していると考えられます。</p>						☀️ (向上)
		☀️ (向上)					
目標達成度	■ (中)						
指標	火災による損害額	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【消防本部】	千円	20,276	12,460	4,575	1,000	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 令和5年度に発生した火災は、建物火災3件、林野火災0件、その他火災4件、合計7件でした。損害額は4,575千円となり、基準値より15,701千円減少しました。</p> <p>(原因) 建物火災が3件発生しましたが、1件当たりの損害額が低かったことが要因に挙げられます。</p>						☀️ (向上)
		☀️ (向上)					
目標達成度	■ (低)						
指標	救急車の平均到着時間	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【消防本部】	分	10	10.5	10.2	9	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 令和5年度の救急出場件数は1,256件であり、救急車の現場までの平均到着時間は10.2分で、基準値に0.2分届きませんでした。</p> <p>(原因) 現場までの到着時間が短縮できていない要因として、城辺・御荘地区以外の救急が30.8%を占めており、現場までの走行距離が長いことが要因と考えられます。</p>						☀️ (向上)
		☀️ (向上)					
目標達成度	■ (高)						
指標	救急車の平均収容時間	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	119番通報を受けてから病院に収容するまでに要した時間 【消防本部】	分	41.6	39.3	39.7	39.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 令和5年度の傷病者搬送人員は1,184人であり、救急車の平均収容時間は、39.7分でした。基準値より1.9分早く到着することができ、順調となっています。</p> <p>(原因) 救急救命士及び救急隊員の知識と技術が向上し現場での観察と処置の時間を短縮できたことが要因と考えられます。</p>						☁️ (横ばい)
		☀️ (向上)					
目標達成度	■ (高)						

施策のコスト(千円)

R04	R05
456,833	577,835

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>消防施設、消防車両、消防職員</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>国が定める消防力の整備指針に基づく基準人員、装備の確保及び設備更新をすることにより消防力を強化します。</p>
--------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	消防力基準の達成率（装備）	単位	基準値	実績値（R04）	実績値（R05）	目標値（R07）	対基準値
	上がると良い指標 【消防本部】	%	100	100	100	100	(横ばい)
評価	<p>（状況）消防力の整備指針に基づき、消防ポンプ自動車、救急自動車、救助工作車を配備しており、老朽化した車両は随時更新を行い基準値を達成しています。</p> <p>（原因）車両の整備を行い計画的に更新することで消防力を維持しています。</p>					(横ばい)	
						<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>	

指標	消防力基準の達成率（人員）	単位	基準値	実績値（R04）	実績値（R05）	目標値（R07）	対基準値
	上がると良い指標 【消防本部】	%	69.6	69.6	71.0	72.5	(横ばい)
評価	<p>（状況）消防力の整備指針に基づく基準人員は69名ですが、現在の職員数は49名であり基準値は、達成していますが、目標値には届きませんでした。消防職員49名の内、行政職員が7名含まれており、42名の消防吏員で消防業務を行っています。隔日勤務者の人員が少ないため、救急出場等が重複した場合は非番職員を招集し災害に対応しています。</p> <p>（原因）令和4年度に3名の消防職員が退職したのに対し、令和5年度は3名の消防吏員の新規採用と行政職員の異動により消防職員数を維持したことが要因と考えられます。</p>					(横ばい)	
						<p>対前年度</p> <p>目標達成度</p> <p>(高)</p>	

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
33,265	143,624

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、消防職員	基本事業がめざす姿 町民による救命、救急車の適正利用等により、救急救命体制が充実し、救命率の向上を図ります。
--------------------	-----------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町民による心肺停止傷病者への心肺蘇生法実施率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【消防本部】	%	44.4	40.0	53.2	100	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和5年度の心肺停止傷病者は47人であり、現場に居合わせた町民が心肺蘇生法を実施した人数は25人でした。心肺蘇生法実施率は基準値より8.8ポイント向上しました。 (原因) より多くの住民が救命講習を受講することで、救急要請時の口頭指導により積極的に心肺蘇生法を実施したことが要因と考えられます。						☀️ (向上)
	対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	■ (中)			
指標	管外搬送件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【消防本部】	件	206	242	273	180	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和5年度の管外搬送は273件となり、基準値に届きませんでした。また、救急件数の21.7%を管外搬送が占めている状況です。 (原因) 町内基幹病院の医師不足により緊急手術ができず、宇和島市、宿毛市などの救急病院へ搬送しなければならない状況が継続しているためです。						☔️ (低下)
	対前年度	☔️ (低下)	目標達成度	■ (中)			
指標	軽症者の搬送割合 (転院搬送を除く)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【消防本部】	%	38	50.5	45.7	30	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和5年度の転院搬送を除く軽症者の搬送割合は搬送人員993人中454人で、基準値に7.7ポイント届きませんでした。 (原因) 救急車の適正利用に対する意識がまだ低いことが要因だと考えられます。						☀️ (向上)
	対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	■ (中)			

基本事業のコスト (千円)

R04	R05
5,928	6,019

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者	基本事業がめざす姿 消防法令に基づく消防用設備等の設置により、火災の被害を軽減します。
-------------------	------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	消火器と住宅用火災警報器の両方を設置している世帯割合 上がると良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		評価 (状況) 消火器と住宅用火災警報器の両方を設置している世帯の割合は基準値に6.05ポイント届きませんでした。総務省消防庁の調査では町内の住宅用火災警報器の設置率は53.8%となっています。 (原因) 住宅用火災警報器は設置の義務がありますが、消火器は設置の義務がないため、両方を設置している世帯の割合が低くなっていると考えられます。	% (%)	15.55	11.3	9.5	25.00

指標	火災予防条例等関連法に違反している事業所数 下がると良い指標 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		評価 (状況) 管内の防火対象物861件と危険物施設93件に火災予防条例等関連法に違反している事業所はなく基準値を達成することができました。 (原因) 定期的に予防査察を実施していることが要因と考えられます。	事業所 (事業所)	0	0	0	0

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
81	83

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 消防団	基本事業がめざす姿 地域防災の要となる消防団員が確保され、火災や災害時等に出動し機能的に活動することで、被害を軽減しています。
----------------	--------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	火災時消防団員出動率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	【消防本部】	%	35.7	28.1	26.1	40.0
評価	(状況) 火災時の消防団員出動率は26.1%で、前年度より2.0ポイント減少しており、停滞している状況です。 (原因) 団員の多くがサラリーマン化し、地区外での勤務者等が増加したことが、出動率の減少に繋がった原因と思われます。						(低下) 対前年度 (低下) 目標達成度 (中)

指標	災害等の消防団年間出動人数(火災以外)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標	【消防本部】	人	501	298	187	-
評価	(状況) 災害等における消防団の出動人数は187人で、前年度より111人減少しています。 (原因) 前年に比べ災害発生数が少なかったことが原因と思われます。						比較不可 対前年度 比較不可 目標達成度 ---

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
110,462	104,468

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
307,097	323,641

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

町内の交通事故発生件数は減少傾向にありますが、依然として高齢者が当事者となるケースが多くなっています。高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、啓発事業を行っています。

町内で発生した刑法犯のうち、窃盗犯の認知件数が多数を占めています。また、年々巧妙化する振り込め詐欺等特殊詐欺と思われる予兆事案も後を絶ちません。防犯意識の高揚を図るため、愛南警察署、愛南地区防犯協会等と連携し、啓発事業を行っています。

施設整備の面では、事件・事故を未然に防ぐため、道路反射鏡（カーブミラー）やガードレール（ガードパイプ）の整備を行うほか、地区が整備する防犯灯に対して補助を行っています。

消費生活については、町民が安全に消費生活を送ることができるよう、消費生活相談窓口により、トラブルに対処しています。さらに、町民に対して情報提供や注意喚起を行い、多様化・複雑化している消費者トラブルの未然防止に取り組んでいます。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.07 (2.95)	3.01 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.60 (3.67)	3.68 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	交通事故の発生が抑制されます。 犯罪の発生が抑制されます。

施策の成果状況と評価

指標	交通事故発生件数 下がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値											
		件	17	13	7	15	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-left: 10px;"> <caption>交通事故発生件数 (件)</caption> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準</td><td>17</td></tr> <tr><td>R04</td><td>13</td></tr> <tr><td>R05</td><td>7</td></tr> <tr><td>R06</td><td>-</td></tr> <tr><td>R07</td><td>15</td></tr> </table> </div>	項目	値	基準	17	R04	13	R05	7	R06	-	R07
項目	値																	
基準	17																	
R04	13																	
R05	7																	
R06	-																	
R07	15																	
評価	(状況)交通事故発生件数は7件で、前年度より6件減少しており順調です。基準値及び目標値ともを上回りました。 (原因)愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。																	

指標	刑法犯認知件数 下がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値											
		件	65	86	61	60	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-left: 10px;"> <caption>刑法犯認知件数 (件)</caption> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準</td><td>65</td></tr> <tr><td>R04</td><td>86</td></tr> <tr><td>R05</td><td>61</td></tr> <tr><td>R06</td><td>-</td></tr> <tr><td>R07</td><td>60</td></tr> </table> </div>	項目	値	基準	65	R04	86	R05	61	R06	-	R07
項目	値																	
基準	65																	
R04	86																	
R05	61																	
R06	-																	
R07	60																	
評価	(状況)刑法犯認知件数は61件で、前年度より25件減少しており順調に推移しています。基準値を上回りましたが、目標値には届きませんでした。 (原因)事業者、関係機関・団体、自治体等による、官民一体となった各種犯罪防止対策を推進した成果と考えられます。																	

施策のコスト(千円)

R04	R05
26,243	28,529

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民（特に高齢者）、交通安全協会	基本事業がめざす姿 町民、特に高齢者の交通安全意識が高まり、交通事故の発生が抑制されます。
------------------------------------	---------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町民が第1当事者となった交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	件	17	13	6	15	☀ (向上)
評価	(状況) 町民が第1当事者となった交通事故発生件数は6件で、前年度より7件減少しており順調です。基準値及び目標値を共に上回りました。 (原因) 愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。						☀ (対前年度) ☀ (向上) ☀ 目標達成度 🏰 (達成)

指標	高齢者の交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	件	15	7	4	15	☀ (向上)
評価	(状況) 高齢者の交通事故発生件数は4件で、前年度より3件減少し順調です。基準値及び目標値を上回りました。 (原因) 愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。						☀ (対前年度) ☀ (向上) ☀ 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
7,090	8,719

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、町道	基本事業がめざす姿 必要な交通安全施設が整備され、危険箇所が少なくなります。
------------------	-------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	ガードレール（ガードパイプ）整備延長距離数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【建設課】	m	284.5	139.1	478.2	1,000	対基準値 (向上)
	(状況) 令和5年度のガードレール（ガードパイプ）整備延長距離数は339.1m（11工事）で、基準値と比べて54.6mの増加となりました。 (原因) 地区要望等により順次必要なガードレールやガードパイプの整備を図ったことにより、単年度の整備延長、件数が増加したものと考えます。						対前年度 (向上)

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	安全性確保のために新設及び修繕したカーブミラー箇所数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【総務課】	件	24	31	72	100	対基準値 (向上)
	(状況) 令和5年度に安全性確保のために新設及び修繕したカーブミラー箇所数は41件（新設11件、鏡面改修25件、角度調整5件）で、前年度より10件増加しました。基準値を上回り、順調に推移しています。 (原因) 地区要望等による新設や、老朽化した鏡面の取替が増加傾向にあり、整備数が増加したものと考えられます。						対前年度 (向上)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
8,383	8,889

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 防犯意識が向上するとともに、防犯環境の整備を進め、犯罪の発生が抑制されます。
---------------	-----------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	日常生活で犯罪被害に対する不安を感じることがない町民割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	%	92.2	88.9	89.4	90.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)日常生活で犯罪被害に対する不安を感じることがない町民割合は89.4%で前年度より0.5ポイント増加しましたが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばい状態です。基準値及び目標値とも下回りました。 (原因)令和5年は刑法犯の認知件数が前年に比べ減少したものの、住民に身近な犯罪である窃盗事件や暴行、傷害事件が全刑法犯の上位を占めているため、町民の体感治安の改善に至っていないものと考えられます。						☁️ (横ばい)
							☁️ (横ばい)
							■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
10,280	10,116

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 消費生活に対する意識が高まり、消費者トラブルが減少します。
------------------	--------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
消費者トラブルにあった・あいそようになった町民割合 下がると良い指標 【商工観光課】	%	0.6	9.7	8.4	0.4	(低下) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)
(状況) 消費者トラブルにあった・あいそようになった町民割合は8.4%で、前年度より0.7ポイント減少しましたが、基準値を7.8ポイント上回っており、前期目標値にも届いていません。 (原因) インターネット利用の拡大により、通信販売等の消費者トラブルが幅広い年齢層に及んでいることが原因と考えられます。						
消費者トラブルに対する対策を知っている町民割合 上がると良い指標 【商工観光課】	%	59.3	56.4	57.2	70.0	(横ばい) 対前年度 (向上) 目標達成度 (中)
(状況) 消費者トラブルに対する対策を知っている町民割合は57.2%で、前年度から0.8ポイント増加しましたが、基準値を2.1ポイント下回っており、前期目標値にも届いていません。 (原因) 多様化・複雑化する消費者トラブルに対する情報提供や啓発が追い付いていないことが原因と考えられます。						
消費者被害救済割合 上がると良い指標 【商工観光課】	%	71	94.5	81.8	90	(向上) 対前年度 (低下) 目標達成度 (中)
(状況) 消費者被害救済割合が81.8%で、基準値を10.8ポイント上回っていますが、前年度に比べ12.7ポイント減少し、前期目標値に届いていません。 (原因) 専門の消費生活相談員と連携し、成果向上に結びつけていますが、相談内容によっては他機関を紹介するものがあるため、直接の救済割合が減少したものと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
490	805

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

施策を実現する手段

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-05-01 成果重視の行政経営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業 04-05-04 ICTによる情報の適切な管理と利活用

基本事業 04-05-05 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-05-06 シティプロモーションと移住定住の促進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

協働によるまちづくりは、愛南町自治基本条例に明記されているとおり、町民が主体的に町政に参画できる機会を提供するとともに、町政情報を公開することにより透明性のある町政を推進します。

過疎・高齢化が進展し、町の周辺地域においては衰退が著しい地区も発生してきています。地区（自治会）や公民館活動の活性化は、コミュニティの形成に直結する課題であり、地域の意向を踏まえ、直面する課題を解決するために連携した取組を進めることで地域コミュニティの充実を図ります。

時代の変化に伴い多様化していく行政ニーズに対応するため、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携・交流し、福祉、産業等の分野でまちづくりに活かします。

広報紙、ホームページ、SNS等の広報媒体を効果的に利用して、行政情報や町の出来事を町民に分かりやすく伝えるとともに、公募委員や意見表明制度等により町民の声を反映し、町民と行政の一体化を図ります。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.90 (2.95)	2.88 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	3.66 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町の行財政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>効率的で計画的な行財政運営がなされています。</p>
---------------------------	----------------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	総合計画(施策・基本事業)の成果指標目標値の達成割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	31.0	28.2	32.1	50	(横ばい)
評価	<p>(状況) 46の施策成果指標(本施策を除く)の内、13の施策、219の基本事業成果指標の内、72の基本事業において目標を達成し、前年度より3.9ポイント向上しました。</p> <p>(原因) 第3次前期基本計画(R4年度～R8年度)2年目の評価であるため。今後は、前期計画期間の後半にさしかかるため、目標を達成する施策や基本事業が増える見込みです。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>対前年度</p> <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■</p> <p>(低)</p>

指標	町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	80.4	82.5	75.7	90.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う町民の割合は75.7%で、前年度と比較し6.8ポイント低下しました。</p> <p>(原因) 町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う人の割合は6.8ポイント低下しましたが、一方、わからない又は無回答の方の割合は44.1%から42.1%に低下したことから、町民の行財政全般に対する理解度は向上したものと考えられます。ただ、全体の40.2%が分からないと回答しており、積極的な情報提供が必要と考えられます。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>対前年度</p> <p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■</p> <p>(高)</p>

指標	実質公債費比率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	%	8.1	9.6	10.0	8.7	(横ばい)
評価	<p>(状況) 実質公債費率は10.0%で、前年度と比較して0.4ポイント上昇しました。</p> <p>(原因) 合併特例債等による元利償還金の減(分子)がありますが、分子から引かれる基準財政需要額に算入される公債費も減少したことが主な要因となっています。今後は、元利償還金がさらに減少していくため、目標値に向かって推移していくと見込んでいます。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>対前年度</p> <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■</p> <p>(高)</p>

指標	将来負担比率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	%	0	0	0	0	(向上)
評価	<p>(状況) 将来負担比率は地方債残高等の負担見込額に対し、その負担額を上回る基金などの財源があるため指数として算出されず、0%のまま順調に推移しています。</p> <p>(原因) 地方債発行額が元金償還額の範囲内となり、結果地方債残高が1,469,178千円減少したことが主な向上の要因となっています。</p>						<p>(向上)</p> <p>対前年度</p> <p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>☀</p> <p>(達成)</p>

施策のコスト(千円)

R04	R05
5,538,680	5,685,681

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政	基本事業がめざす姿 職員が育成され、働きやすい職場環境で効果的・効率的な組織・人事管理がされています。
---------------	--------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
研修受講者の割合 上がると良い指標 【総務課】	%	100	100	100	100	(向上) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
(状況) 職員の研修受講者の割合は100%で、総合計画基準値と比較して増減はなく、前年度と変わりなく職員研修が実施されており、目標を達成しています。 (原因) 職場研修では、職員の階級別実施したメンタルヘルスケア研修やリスクマネジメント研修、ハラスメント防止研修といった労働安全衛生関係の研修や人権研修等を行いました。職場外研修では、愛媛県や町村会、市町村アカデミー主催の研修に職員の派遣を行いました。計画的に研修を行っていることが、達成の要因と考えています。						
町職員の対応ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合 上がると良い指標 【総務課】	%	85.3	84.1	82.5	90.0	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)
(状況) 町職員の対応ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合は、82.5%で、総合計画基準値と比較して2.8%の減少となり、目標値90.0%から後退しました。 (原因) 職員の人員確保に課題がある中で、行政サービスが複雑化かつ多様化しており、満足度が上がりにくい状況が原因と考えられます。						
年次有給休暇取得5日未満の職員数の割合 下がると良い指標 【総務課】	%	34.5	22.4	15.3	15.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (高)
(状況) 年次有給休暇取得5日未満の職員数の割合は15.3%で、総合計画基準値より19.2ポイント減少し、目標値に近づいています。 (原因) 特定事業主行動計画(後期計画)を令和3年度に策定し、目標として掲げた「年次有給休暇の平均取得日数10日」を周知啓発したことが影響していると考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町の自主財源、町民、町の財政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>自主財源の安定的な確保を図るとともに、中長期的な視点に立った健全な財政運営を行います。</p>
--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	一人当たりの地方債残高	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	千円	887	801	742	756	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 住民一人あたりの地方債残高は令和5年度末で742千円で、昨年度と比較し59千円向上しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 令和5年度末の人口は1万8,878人となっています。人口の減少幅に比べ、地方債残高の減少幅が大きいことが要因です。</p>						☀️ (向上) ☀️ (向上) 🎯 目標達成度 🏰 (達成)
指標	町税の収納率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【税務課】	%	97.6	97.88	97.69	98.0	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 滞納者数は前年度実績に比べ54人増加し、収納率は0.19ポイント低下しました。</p> <p>(原因) 個人町民税について、外国人労働者の出国に伴う徴収不能事案や、税務調査による大幅な増額更生により、年度内納付が出来なかった事案が発生したことが原因です。</p>						☁️ (横ばい) ☔️ (低下) 🎯 目標達成度 📊 (中)
指標	経常収支比率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	%	99.5	92.9	92.6	94.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 経常収支比率は92.6%で、前年度と比較し0.3ポイント向上しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) ふるさと納税により積み立てられた、ふるさとづくり基金からの繰入金が増加したことが主な要因です。</p>						☀️ (向上) ☁️ (横ばい) 🎯 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
41,760	24,225

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-04 ICTによる情報の適切な管理と活用

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政、事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>適正な情報管理がされるとともに、ICTの活用で行政サービスの向上と効率化が進んでいます。</p>
---------------------------------	----------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	<p>ICTを活用した行政サービス改善件数及び新規導入件数（基本計画期間累計）</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p>	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0	1	1	1	☀ (向上) 対前年度 ☁ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)
評価	<p>(状況)令和5年度は、ICTを活用した行政サービスの新規導入件数が0件となっています。</p> <p>(原因)前年度から引続き、各種窓口手続きの利便性向上を図るための行政サービス改善について検討に取り組んでいますが、令和5年度の予算化には至りませんでした。</p>						
指標	<p>情報システムにおける事故件数（セキュリティ及びシステムダウン等）</p> <p>下がると良い指標 【総務課】</p>	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0	0	0	0	☀ (向上) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)
評価	<p>(状況)システムダウン件数は0となっており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因)各種システムの監視体制及び障害発生時の対応手順等の整備により、障害発生時に迅速に対応できていることが要因と考えます。また、機器及びシステム異常等のログの確認並びに機器の点検を定期的実施していることが安定稼働につながり、成果に結びついたと考えられます。</p>						

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
379,067	377,681

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-05 公共施設マネジメントの推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>公共建築物、公園</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>公共建築物の総量の適正化が図られ、管理費が抑制されています。公園が適正に維持管理され、安全に利用できます。</p>
--------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	公共建築物の管理費（日常管理、修繕、改修）	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【企画財政課】	千円	511,891	411,363	636,260	486,296	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 令和5年度指標値は、636,260千円で前年度比で224,897千円の増加となりました。</p> <p>(原因) 一本松交流促進センターやあけぼのグラウンド等の工事があったこと、中浦公民館や緑公民館などでの大規模改修工事が前年度に比べ多かったことが要因です。</p>	(千円)					☔ (低下)
							☔ (低下)
							■ (中)
指標	町が公園管理者として責任を負うことになった事故件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【総務課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 町が公園管理者として責任を負うことになった事故件数は0件となり目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 年に一度公園の遊具点検を行い、危険だと判断された際には修繕や利用停止など、適切な管理を図っていることが成果に結びついたと考えられます。</p>	(件)					☀ (向上)
							☀ (向上)
							🏰 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
179,058	232,607

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-06 シティプロモーションと移住定住の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町外在住者	基本事業がめざす姿 空き家バンク登録件数を増やしたり、町ホームページ・SNSを活用して町の魅力や活動等を積極的にPRし、移住者・定住者が増加します。
------------------	-------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	移住に関する情報発信数（掲載媒体、イベント、つぶやき、HP更新数） 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		件	25	25	43	55	☀️ (向上)
評価	(状況)令和5年度は、43件と目標には届きませんでした。前年度より18件増加しました。 (原因)空き家バンクの登録件数が増加したことがHP更新数の増加の要因だと考えます。						対前年度
							☀️ (向上)
							目標達成度
							■ (中)
指標	空き家バンク制度による延べ登録件数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		件	36	36	55	57	☀️ (向上)
評価	(状況)令和5年度は、19件登録しました。目標値達成に向けて順調に進んでいると考えます。 (原因)空き家バンク制度の周知（HP等）に力を入れたことが主な要因として考えられます。						対前年度
							☀️ (向上)
							目標達成度
							■ (高)
指標	移住者数 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		人	71	71	81	140	☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和5年度は、前年度からは10人増加しましたが、前期目標値にはまだまだ及ばない状況です。 (原因)空き家バンクの登録件数を増やしたり、東京や大阪での移住フェアに参加していますが、移住実績には繋がっていない状況です。交通の利便性などの要件が伸び悩みの大きな原因となっています。						対前年度
							☁️ (横ばい)
							目標達成度
							■ (低)

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
10,033	6,121

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
4,892,158	5,009,022

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-01 学校教育の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業 05-01-02 ICTを活かした教育の推進

基本事業 05-01-03 心の教育の充実

基本事業 05-01-04 健やかな体の育成

基本事業 05-01-05 安心安全な教育環境の整備

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

学校教育法施行規則の一部改正に伴い、学校の実情に合わせて、情報通信技術支援員、特別教育支援員、教員業務支援員等の整備を進め、児童生徒一人一人のニーズに応じた教育の充実に努めました。

GIGAスクール構想により整備したICT環境（一人一台端末や高速大容量のネットワーク等）を適切に活用した学習活動の充実に推進しています。

社会環境の変化に伴う児童生徒や保護者の抱える問題の多様化や、複雑化した家庭環境に応じた心のケアに努めるとともに、継続していじめ問題や不登校問題等に適切に対応しています。特に深刻化するSNSやインターネットを介したいじめ問題の未然防止、保護者への啓発や関係機関と連携して不登校児童生徒への支援に努めています。

学校施設の老朽化が進み、安全・安心な教育環境を維持するため、必要に応じ、迅速且つ計画的な修繕・改修に取り組んでいきます。

児童生徒数の減少が進む中、適切な学校再編により、学校教育活動の充実に努めます。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.96 (2.95)	2.98 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.66 (3.67)	3.67 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象 幼稚園、小中学校、園児、児童、生徒	施策がめざす姿 心身ともに健康な子どもを育成し、教育環境を整備・充実し、安全・安心な学校生活を形成します。
-----------------------------------	-----------------------------------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	楽しく学校生活を送っている児童の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	93.7	94.0	95.0	95.5	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 各小学校の学校評価から、95.0%の児童が学校は楽しいと回答しています。内訳は、十分あてはまる68.7%、あてはまる26.3%です。最も良い評価の「十分あてはまる」が0.7ポイント上昇しています。 (原因) 日頃の授業や学校行事等、学校生活が充実しており、児童や教職員との人間関係が良好であることが考えられます。学校生活が楽しいと思えるように、分かる授業づくり、一人一人の居場所づくり等児童に寄り添う指導や環境づくりの継続の結果であると考えます。						☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)

指標	児童が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	95.7	96.0	95.0	95.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 各小学校の学校評価から、95.0%の児童の保護者が児童が楽しく学校生活を送っていると回答しています。内訳は、十分あてはまる60.9%、あてはまる34.1%です。 (原因) 学校側のきめ細かな指導等により、教職員と保護者、保護者と学校の関係性が良好であることが考えられます。信頼ある取組を行うとともに、地域とともにある学校づくりを目指し実施している結果であると考えます。						☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (高)

指標	楽しく学校生活を送っている生徒(中学生)の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	88.7	92.0	96.2	95.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 各中学校の学校評価から、96.2%の生徒が学校は楽しいとの回答しています。内訳は、十分あてはまる63.5%、あてはまる32.7%です。前年度比4.2ポイントの上昇です。最も良い評価の「十分あてはまる」が2.5ポイント上昇しています。 (原因) 日頃の授業や学校行事等、互いに協力し合いながら活動に取り組むことが充実感につながっており、良好な人間関係を築くことができていると考えられます。学校生活が楽しいと思えるように分かる授業はもとより、一人一人の生徒に目を向け、小さな問題に対してもスピーディーな対応に努めているためと思われます。						☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

指標	生徒が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	91.7	94.0	93.9	95.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 各学校の学校評価から、93.9%の生徒の保護者が生徒が楽しく学校生活を送っていると回答しています。内訳は、十分あてはまる40.7%、あてはまる53.2%です。 (原因) 学校側のきめ細かな指導により、教員と保護者、保護者と学校の関係性が良好であることが考えられます。継続して個々の生徒に寄り添った指導を行うとともに、生徒が生き生きと活動できるよう、様々な情報発信を通して、保護者や地域との連携を深めているためと思われます。						☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (高)

施策のコスト(千円)

R04	R05
553,053	747,450

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 小中学校	基本事業がめざす姿 自ら学び考える力を育成し、基礎・基本を定着させることにより確かな学力の向上を図ります。
-----------------	----------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	授業が分かるという児童の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	95.1	96.0	94.5	95.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)各小学校の学校評価から、94.5%の児童が授業が分かる と回答しています。内訳は、十分あてはまる56.7%、あては まる37.8%です。「あてはまる」の評価が1.2ポイント低下して います。 (原因)教員の指導方法の工夫や児童への熱心な関わりが見え ます。主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善や、個別最 適な学びを考えた効果的なICT活用がなされていると考えます。 若干のポイントの低下がみられることから、学力の定着のため の復習や、個の課題に応じた指導時間の確保など、各校で日頃 から時間をかけた取り組みが更に必要であると考えます。					☁️ (横ばい)	
		☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	

指標	授業が分かるという生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	89.5	92.0	93.9	95.0	☀️ (向上)
評価	(状況)各中学校の学校評価から、93.9%の生徒が授業が分かる と回答しています。内訳は、十分あてはまる40.7%、あては まる53.2%です。最も良い評価の「十分あてはまる」が5.7ポイ ントと大きく上昇しています。 (原因)肯定的な捉え方をしていることから、それぞれの教科 での指導方法の工夫がうかがえます。特に基礎・基本の定着に に向けた授業改善の成果と考えます。主体的・対話的で深い学 びに向けた学び合い活動、効果的なICT活用など、各校での日頃 からの取組も成果として表れているものと思われます。					☀️ (向上)	
		☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)	☀️ (向上)	

指標	学習習慣ができていない児童の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	87.5	77.0	79.5	92.0	☔️ (低下)
評価	(状況)各学校の学校評価から、79.5%の児童が学習習慣が身 に付いていると回答しています。内訳は、十分あてはまる42.1 %、あてはまる37.4%です。前年度比2.5ポイント上昇です。 (原因)家庭学習も行われていますが、家庭での学習が習慣化 できていなかったり、学年に応じた学習時間の確保ができてい なかったりする児童も見られましたが、多くの児童で学習習慣 が身に付いてきていることがうかがえました。					☔️ (低下)	
		☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	

指標	学習習慣ができていない生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	59.6	70.0	70.5	85.0	☀️ (向上)
評価	(状況)各中学校の学校評価から、70.5%の生徒が学習習慣が 身に付いていると回答しています。内訳は、十分あてはまる26. 2%、あてはまる44.3%です。 (原因)各校で自主学習ノートやICTを活用したドリル学習に取り 組ませるなどの活動の効果が、少しずつ表れています。					☀️ (向上)	
		☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
59,746	65,160

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-02 ICTを活かした教育の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 児童、生徒、小中学校	基本事業がめざす姿 ICT機器を利用した児童生徒の興味関心の増加と情報リテラシーが向上しています。
-----------------------	------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
ICT機器を使った学習が楽しいと感じている児童の割合	%	96.0	96	97.5	80	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
上がる和良好的指標 【学校教育課】 (状況) ICT機器を使った学習が楽しいと感じている児童の割合は、97.5%となりました。 (原因) 一人一台の端末配備によって、ICTを活用した授業が積極的に行われています。ICT機器を活用することで動画などのデジタル教材によりビジュアルで授業を理解できるようになったことや、パソコンを使った発表が可能になったためと考えられます。						
ICT機器を使った学習が楽しいと感じている生徒の割合	%	93.0	93	93.6	80	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
上がる和良好的指標 【学校教育課】 (状況) ICT機器を使った学習が楽しいと感じている生徒の割合は、93.6%となりました。 (原因) 一人一台の端末配備によって、ICTを活用した授業が積極的に行われています。ICT機器を活用することにより動画などのデジタル教材によりビジュアルで授業を理解できるようになったことや、パソコンを使った発表が可能になったためと考えられます。						
学習端末を使用している児童・生徒の割合	%	85.0	85	89.5	80	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
上がる和良好的指標 【学校教育課】 (状況) 学習端末を学校活動時間内で複数回使用している児童・生徒の割合は、89.5%となりました。 (原因) 一人一台端末の配備により、積極的にICTを活用する授業が積極的に行われていることで、ICT機器が児童生徒にとって文房具となってきています。また、学習用ドリルなどについてもICTを活用しているため、休み時間や宿題など個に応じた学習においても活用しているからだと考えます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
36,868	93,646

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-03 心の教育の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 いじめ・不登校の根絶に努め、家庭や地域と連携した生徒指導の充実を図ります。
---------------------	----------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
いじめの解消率 上がると良い指標 【学校教育課】	%	95.6	100	100	100	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
(状況) 令和5年度は100%で、基準値、目標値に達しています。 (原因) 各校で児童・生徒のサインに気付くなどのいじめの認知と、教育委員会や警察等の関係機関との連携による適切な初期対応を行った結果であると言えます。						
不登校の児童・生徒数 下がると良い指標 【学校教育課】	人	4	18	12	0	(低下) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)
(状況) 令和5年度は12名で、基準値、目標値を大幅に上回っています。 (原因) 社会環境の多様化や複雑化した家庭環境など不登校の要因は、様々で「どの子にでも起こりうる」のが現代の不登校の社会状況です。目標値とは乖離がありますが、多様な要因や背景のある不登校を一括に取り扱うことなく、事案ごとに保護者や関係機関と連携しながら丁寧に対応したことで、若干の数値の向上につなげることができたと考えます。						
専門機関等へつなげた不登校児童生徒の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	%	100	100	75	100	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)
(状況) 令和5年度は75%で、基準値、目標値には届いていません。 (原因) 各校で不登校対応の体制を整え、それぞれの役割の中で行動しています。基準値、目標値には届いていませんが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣し、不登校児童生徒や保護者とのカウンセリングを繰り返しているものの、関係機関が入ることに抵抗を感じる家庭も少なからずあることが要因であると考えます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
4,091	4,481

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-04 健やかな体の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 健康的な生活習慣の形成を図り、運動を通じて体力を養います。
---------------------	--------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	愛媛県体力標準値で県平均を上回っている項目数の割合（小5・中2） 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	90.6	84.4	75.0	90.0	☂ (低下)
評価	(状況) 令和5年度は321項目中241項目で県平均を上回っており75.0%の達成率ですが、基準値、目標値には達していません。内訳は、各81項目中、小学5年男子が2項目、女子は全ての項目、中学2年男女とも71項目で県平均を上回っています。 (原因) 一部の対象学年で達成数が少なかったため、全体的に達成率が低くなっています。この学年については、全国と比較しても体格差(小さい)があることが要因の一つと考えられます。ただ、各項目県平均値と大きな差はないため、今後継続して運動に親しむ習慣を身に付けさせることで、成長とともに体力の向上が期待されると考えます。						☂ (低下)
							☂ (低下)
							■ (中)

指標	パーフェクト自己新記録賞の割合（小5・中2） 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	83.3	35.1	42.7	90.0	☀ (向上)
評価	(状況) 令和5年度は42.7%で、基準値、目標値に達していません。 (原因) 8項目全てが、昨年度の記録よりも向上しなければならぬため、達成者が少なかったと考えられます。コロナウイルス感染症が5類に移行し、体育的行事等が感染症流行前に戻りはじめたことや、学校体育以外の面でも、運動に親しむための啓発の実施により、少しずつの改善傾向に繋がっていると思われます。						☀ (向上)
							☀ (向上)
							■ (中)

指標	健康診断における精検者の受診率 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	65.0	31.5	29.1	100	☁ (横ばい)
評価	(状況) 要精検者の受診率は29.1%で、総合計画基準値、目標値には大きく届きませんでした。この指標の基となる要請検者数及び検診者数は、検査項目ごとの合計件数となっています。 (原因) 要精検対象児童生徒及び保護者への受診勧奨をしていますが、受診の必要性を強く感じる保護者が少ないことが要因と考えられます。						☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)
							■ (低)

指標	基本的な生活習慣ができている児童・生徒の割合（早寝早起き、朝ごはんを食べている、あいさつなど） 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		%	86.5	86.7	87.5	95.0	☀ (向上)
評価	(状況) 令和5年度は87.5%で、基準値を満たしています。目標値には届いていませんが小学校は89.0%、中学校は84.5%であり、昨年度と比較すると中学校が4.5ポイント上昇しました。 (原因) 継続して児童生徒に基本的な生活習慣の指導を行うとともに、食育の推進について家庭への啓発を行っていますが、基本的な生活習慣の在り方については、意識の持ち方に個人差があることが要因と考えられます。						☀ (向上)
							☀ (向上)
							■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
111,130	126,327

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-05 安心安全な教育環境の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 子どもが安心安全な環境で豊かな学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備・充実に努めます。
---------------------	--------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	学校施設維持管理上の支障件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【学校教育課】	件	0	0	0	0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 児童・生徒の事故につながる不具合や学校運営に支障を来すほどの修繕はありませんでした。 (原因) 学校及び各共同事務室との連携により、不具合の早期発見及び適切な修繕対応ができていることによるものと考えられます。	(件)	基準	R04	R05	R06	対前年度 比較不可 目標達成度 🏰 (達成)
指標	登下校の事故・トラブル件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【学校教育課】	件	2	5	4	0	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和5年度は4件で、基準値、目標値には届きませんでした。内訳は、事故が3件、不審者関連が1件です。 (原因) 各校における交通安全教室や防犯訓練等、警察やスクールガード・リーダーとの連携を継続し、児童生徒や保護者へ啓発も繰り返し続けていますが、個々のとっさの判断力や自転車運転の技術向上には至らなかったためと考えられます。	(件)	基準	R04	R05	R06	対前年度 (横ばい) 目標達成度 🏠 (低)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
150,826	211,207

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
190,392	246,629

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-02 生涯学習の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業 05-02-03 生涯学習施設の適正管理

基本事業 05-02-04 文化財の保護・活用

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

社会の進展に伴い、人々の価値観は多様化しており、生涯学習に対する町民のニーズも多様化しています。そのため、変化するライフスタイルや町民ニーズに対応した生涯学習機会の提供と地域に根ざした公民館活動の充実・強化に取り組む必要があります。また、学習施設利用者が安全・快適に利用できるように個別施設計画に基づく施設の適正な管理に努め、生涯学習環境の充実を図る必要があります。

町民の自主的な文化活動を支援するとともに優れた文化に接する機会の提供や放課後・長期休業中の児童の安全安心な居場所づくりと魅力ある体験活動の充実を図ります。

平城貝塚と遍路道の保護については、前者を令和6年度下半期、後者は柏坂遍路道を令和8年度下半期をそれぞれ国史跡指定の期限に定めて取り組み、史跡指定後は保存活用計画を策定します。そして、埋蔵文化財の周知と保存や、その他の文化財の保護と活用、愛南町の歴史や文化を語るうえで重要な物件の保護を図ることにより、町民の歴史や文化に対する理解を深め、郷土への愛着と誇りを醸成します。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	3.01 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.42 (3.67)	3.47 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	多様な学習機会や情報を提供し、その成果を活かせる活動の場づくりを進める事により、生涯学習に取り組む町民が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値															
	上がると良い指標	%	15.2	13.1	14.4	20.0	(横ばい)															
	【生涯学習課】	(%)					対前年度															
評価	<p>(状況) 令和5年度は14.4%で前回より1.3ポイント上昇、基準値を0.8ポイント下回っていますが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲で横ばいとなっています。未だ目標には届いていませんが、少しずつ目標値に近づいています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、生涯学習に取り組む機会や意欲が少しずつ回復しつつありますが、目標値の到達のためには、新しい生活様式に合わせた中で感染症対策などを十分に行うなど、活動に参加しやすい環境づくりが必要になると考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>生涯学習に取り組んでいる町民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>15.2</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>13.1</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>14.4</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>20.0</td> <td>20.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	基準	15.2	20.0	R04	13.1	20.0	R05	14.4	20.0	R07	20.0	20.0	(横ばい)
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																				
基準	15.2	20.0																				
R04	13.1	20.0																				
R05	14.4	20.0																				
R07	20.0	20.0																				
							目標達成度															
							(中)															

施策のコスト(千円)

R04	R05
403,141	438,347

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 町民のニーズに応じた様々な生涯学習機会の提供や町民の各種文化活動への支援によって、多くの町民が文化活動を含む生涯学習活動に参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
公民館事業に参加した町民の参加者数 上がると良い指標 【生涯学習課】	人	10,297	14,154	16,614	23,000	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (中)
(状況)令和5年度実績は16,614人で前年度と比べ2,460人増加、前期基準値を6,317人上回りましたが、前期目標値には未だ届いていません。 (原因)新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、以前と同様な事業が実施できています。しかしながら、目標値達成には更なる創意工夫が必要と考えられます。						
生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合 上がると良い指標 【生涯学習課】	%	79.0	87.5	81.4	85.0	(横ばい) 対前年度 (低下) 目標達成度 (高)
(状況)令和5年度は81.4%で、前回から6.1ポイント低下しています。前期基準値からは2.4ポイント上回っていますが、前期目標値を下回る結果となっており、目標への推移はやや不調です。 (原因)現地参加型の事業や講座の実施機会は増加傾向ですが、住民のニーズを十分に満たしていない可能性が考えられます。インターネットやメディアの活用など、参加方法の選択肢を広げるなどの工夫を検討していく必要があります。						
生涯学習に関する情報提供の量や内容に満足している町民の割合 上がると良い指標 【生涯学習課】	%	76.4	90.3	79.1	80.0	(横ばい) 対前年度 (低下) 目標達成度 (高)
(状況)令和5年度は79.1%で、前回から11.2ポイント低下、前期基準値は2.7ポイント上回っていますが、前期目標値を下回る結果となっており、目標への推移はやや不調です。 (原因)町ホームページやSNSを活用した情報発信のほか、公民館等の各施設へのチラシの設置などにより積極的に情報提供を行っていますので、発信する内容が住民のニーズに合っていない可能性が考えられます。情報を収集し、住民のニーズに沿った適切な情報発信を行うなどの周知方法の検討が必要です。						
文化活動への参加者数 (芸術・文化・歴史) 上がると良い指標 【生涯学習課】	人	22,279	20,894	31,110	50,000	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (中)
(状況)令和5年度実績は31,110人で、前回より10,216人増加、前期基準値を8,831人上回っています。指標値は増加する傾向を見せていますが、前期目標値は達成できていません。 (原因)新型コロナウイルス感染症対策のために行っていた人数制限を廃止し、御荘文化センターなどの文化施設の利用者数は少しずつ増加傾向にありますが、コロナ禍以前の水準には戻っていません。今後、参加者が集まりやすい環境づくりを行い、インターネットやメディアなどを使った周知を広く行うなどして事業を活発に行うことが必要と考えられます。						

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

基本事業の成果状況と評価

指標	文化事業・芸術鑑賞への機会が十分だと思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	70.7	75.2	75.0	75.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 令和5年度は75.0%で、前期目標値は達成して順調に推移しています。指標値は前年度から0.2ポイント低下していますが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲で横ばい、前期基準値は4.3ポイント上回っています。</p> <p>(原因) 文化協会等による発表会、文化センター自主事業、ブックスタート等の多様な事業を継続して行った結果が、現状につながっていると考えられます。現状と参加者の満足度を維持するため、引き続き事業を活発に行うと同時に、ホームページやSNSを利用した幅広い周知啓発に継続して取り組むことが必要です。</p>					☁️ (横ばい)	
							🏆 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
27,935	30,540

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
小中学生	体験活動や見守りを受けたり、放課後や週末等における安全・安心な居場所があり、健全に育成されています。

基本事業の成果状況と評価

指標	青少年事業延べ参加者・利用者数 上がると良い指標 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		人	6,854	6,205	6,385	9,000	 (低下) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)
評価	(状況) 令和5年度は6,385人で、前回から180人増加しましたが、前期目標値を大きく下回る結果となっております。 (原因) 新規事業等の実施により参加者・利用者数が微増しました。今後、小学校の閉校に伴う放課後子ども教室事業の縮小等により成果の低下が考えられますが、引き続きSNS等を利用した事業の周知啓発に取り組む必要があります。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
6,000	6,783

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-03 生涯学習施設の適正管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、生涯学習施設	基本事業がめざす姿 生涯学習施設を適正に管理することで、多くの町民が安心して利用することができます。
----------------------	-------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	生涯学習施設の維持管理上のトラブル件数 下がるが良い指標 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 生涯学習施設の維持管理上のトラブルは発生しませんでした。 (原因) 各施設管理担当職員による管理が適正に実施できているためです。						対前年度
							目標達成度
							☀ (達成)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
187,859	213,804

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-04 文化財の保護・活用

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>文化財の保護と活用を通じて、町民が町の歴史や文化への理解を深め、郷土への愛着や誇りを醸成します。</p>
-----------------------------	--------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【生涯学習課】	件	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難は発生していません。</p> <p>(原因) 所有者等により適切に管理されていることによります。引き続き、文化財保護行政担当者の巡視も併せ、指定文化財の保護・継承に取り組みます。</p>	(件)					☀️ (向上)
							🏰 (達成)

指標	文化財事業の参加者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	200	274	185	200	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 令和5年度実績は185人で、前回より89人減少、前期基準値を15人下回っており、前期目標値達成に向けた推移はやや不調です。</p> <p>(原因) CATVによる後日視聴などが普及し始めたことなどもあり、参加者の求める事業の実施方法が変化し始めたことが原因と考えられます。今後は住民と協働して住民にとってより参加しやすい形の事業を企画し、インターネットやメディアなどを通じた事業実施を検討するなど、事業の実施方法にも工夫が必要になると思われます。</p>	(人)					☔️ (低下)
							🏰 (達成)
							🏰 (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
7,555	8,063

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
173,792	179,157

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-03 スポーツの充実

施策を実現する手段

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進と適正管理

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子化による競技人口の減少とスポーツ習慣の低下により、スポーツ少年団の団員数が減少しています。今後は学校単位から競技単位のスポーツ少年団への移行を目指し、専門的な知識や技術を有する指導者を養成し、団体の育成と団員の加入促進を図ります。

スポーツ活動に親しむ町民の割合を向上させるため、各種大会や教室への参加機会の充実を図り、スポーツ習慣を高めていくとともに、幅広い年齢層が気軽にスポーツが体験できるよう環境の整備を図ります。

あけぼのグラウンドを中核としたスポーツ合宿の積極的な誘致や対外的なスポーツイベントを開催し、スポーツツーリズムによる交流人口の増加を図ります。また、平成29年度のえひめ国体開催を機にあけぼのグラウンドを人工芝へ改修しましたが、人工芝の劣化が進んでおり、利用者の安全確保やスポーツツーリズムの更なる推進のため人工芝の張替えが必要です。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.04 (2.95)	3.04 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.37 (3.67)	3.41 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>町民ニーズにあったスポーツ環境の整備を行い、健康が維持増進されています。</p>
------------------------	------------------------------------------------------------

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	31.7	22.9	23.3	33.0	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 令和5年度は23.3%で、前年度より0.4ポイント増加していますが、住民アンケートの指標で統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。総合計画基準値より8.4ポイント減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されましたが、活動を自粛している方や活動を休止した方が多くいることが要因であると考えられます。</p>						☁ (横ばい)
							■ (中)

指標	各種スポーツ団体・クラブに加入している町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	11.5	11.3	9.4	13.0	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 令和5年度は9.4%で昨年度より1.9ポイント低下し、基準値より2.1ポイント低下しました。</p> <p>(原因) 若年層の人口減少やコロナ禍でのスポーツ活動自粛により、各種スポーツの団体数が減少していることが低下の要因であると考えられます。</p>						☂ (低下)
							■ (中)

施策のコスト(千円)

R04	R05
121,853	230,327

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民	基本事業がめざす姿 各種スポーツ団体の充実及び指導者の育成により、地域でスポーツ活動をする人が増加します。
------------------	----------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	各種スポーツ指導者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	28	24	30	28	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況)令和5年度は30名(延べ人数)で、前年度より6名増加し、基準値を2名上回りました。 (原因)制度改正により日本スポーツ少年団に登録するスポーツ少年団の指導者は公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の保有が必要となり、新規に資格取得をした指導者が増えたためと考えられます。						
指標	各種スポーツ団体で優秀な成績を収めた者及びスポーツの発展に寄与した者の顕彰者数(延人数)	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	25	23	37	30	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況)令和5年度は37名(延人数)で、昨年度より14名増加し、目標値を7名上回りました。 (原因)新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、各種大会が昨年度より増えたことと、昨年度は表彰対象のなかった団体表彰において、3団体12名の表彰があったためです。						
指標	スポーツ少年団の加入率	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	32.1	37.9	44.1	35.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況)令和5年度のスポーツ少年団加入率は44.1%で、前年度に比べて6.2ポイント向上しました。前期基準値と比較しても12ポイント向上し、目標値を達成しています。 (原因)少子化や小学校の統廃合による単位団の解散等あり、スポーツ人口は減少していますが、学校を通じて保護者へ対し、体験入団の案内を通知したことや、国際大会における日本代表選手の活躍などにより、スポーツに興味を持つ児童が増えたことが要因であると考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
5,808	8,135

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民	基本事業がめざす姿 各種スポーツ活動への参加機会が充実します。
------------------	------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町主催のスポーツ大会・教室等に参加した人数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	628	917	1,368	2,000	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (中)
評価	(状況)令和5年度の参加者数は1,368人で、前年度より451人増加し、基準値より740人上回りました。 (原因)新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、中止されていた大会が実施されたことが増加の要因です。						
指標	スポーツ活動への参加機会が十分であると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	84.0	84.5	83.2	85.0	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)
評価	(状況)令和5年度は83.2%で、前年度に比べて1.3ポイント減少し、基準値より0.8ポイント減少しましたが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲で、横ばい状態です。 (原因)競技人口が減る中、幅広い年齢層で気軽にスポーツが行える環境の提供が維持できているためと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
3,749	5,067

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進と適正管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 スポーツ施設・設備を充実させ、多くの町民が利用します。
------------------	------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	スポーツ施設利用者数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	122,315	84,623	108,215	135,000	(低下) 対前年度 (向上) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 令和5年度は108,215人で前年度より23,592人増加し、順調に回復傾向にはありますが、基準値には届きませんでした。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類移行となり、各種団体の施設利用も概ね通常に戻ったことが増加の要因であると考えます。						

指標	スポーツ施設の維持トラブル不具合件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【生涯学習課】	件	0	0	0	0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 令和5年度も利用に支障をきたす大きな不具合やトラブルもなく、順調に推移しています。 (原因) 各地域の公民館と連携して、施設の巡視、点検を行うことで現状を把握し、必要に応じて適宜修繕や対応を行ったことが要因であると考えます。						

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
55,170	170,716

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 スポーツツーリスト、町民、行政	基本事業がめざす姿 スポーツツーリズム推進基本方針（観光庁）に基づき「見る」、「する」、「支える」などのスポーツを通じた観光のまちづくりを推進します。
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	スポーツツーリズムによる交流人口	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値										
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	4,861	938	3,951	5,000	☂ (低下) 対前年度										
評価	(状況) 令和5年度は3,951人で前年度より3,013人増加しましたが、基準値より910人減少しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行となり、中止になっていた大会が実施できたためです。	<table border="1"> <caption>スポーツツーリズムによる交流人口 (人)</caption> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準</td><td>4,861</td></tr> <tr><td>R04</td><td>938</td></tr> <tr><td>R05</td><td>3,951</td></tr> <tr><td>R07</td><td>5,000</td></tr> </table>					項目	値	基準	4,861	R04	938	R05	3,951	R07	5,000	☀ (向上) 目標達成度 ■ (中)
項目	値																
基準	4,861																
R04	938																
R05	3,951																
R07	5,000																
指標	スポーツ合宿件数	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値										
	上がると良い指標 【生涯学習課】	件	12	7	13	15	☀ (向上) 対前年度										
評価	(状況) 令和5年度は13件で前年度より6件増加し、基準値を1件上回りました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行となり、自粛や縮小していた合宿が再開されたこと、関係課と連携した誘致活動を行ったためであると考えられます。	<table border="1"> <caption>スポーツ合宿件数 (件)</caption> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準</td><td>12</td></tr> <tr><td>R04</td><td>7</td></tr> <tr><td>R05</td><td>13</td></tr> <tr><td>R07</td><td>15</td></tr> </table>					項目	値	基準	12	R04	7	R05	13	R07	15	☀ (向上) 目標達成度 ■ (高)
項目	値																
基準	12																
R04	7																
R05	13																
R07	15																

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
4,316	15,525

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
52,810	30,884

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策を実現する手段

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

近年、SNSの急速な普及拡大による誹謗中傷が大きな社会問題となっています。平成28年度からヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、アイヌ施策推進法が施行されるなど、あらゆる人権課題の解決に向けた取組みを進めていますが、依然として同和問題をはじめ、女性、LGBTQ+等への人権侵害が多く発生しています。

基本的な人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会の実現のため、啓発活動の充実が必要であります。

女性の社会進出が進み、平成30年には政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が施行され、職場等では環境の変化があると思われませんが、家庭まではなかなか浸透していないのが現状です。共働き世帯が増加する中、男女の地位の平等化は重要な課題となっています。令和2年度に策定した第3次愛南町男女共同参画推進計画に基づいて、男女の性差に関係なく、自分の意思を表現できるよう、男女共同参画社会形成の実現を目指します。

施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	3.00 (2.92)	--- (---)	--- (---)	
重要度	3.41 (3.67)	3.43 (3.72)	--- (---)	--- (---)	

()内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	地域、家庭、職域その他様々な場において、人権尊重に対する町民の理解を深め、日常生活において、態度や行動に現れるような人権感覚を身に付けています。

施策の成果状況と評価

指標	この1年間に、自身の人権が侵害されたと感じたことがある町民の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	下がると良い指標	%	8.5	7.9	11.1	7.0	☂ (低下)
	(状況) 令和5年度は11.1%で、前年に比べて3.2ポイント低下しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、行動制限がなくなったため、人同士の接触機会が増えたことが原因だと考えられます。	(%)					☂ (低下)
指標	出身、性別、国籍、年齢、病気、障がいの有無等の人権に係る差別をしてはならないと考える町民の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	上がると良い指標	%	97.9	99.2	98.1	100	☁ (横ばい)
	(状況) 令和5年度は98.1%で、前年に比べて1.1ポイント減少しましたが、市民アンケートの統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因) アンケート結果が高水準を維持している原因は、全国的な傾向である多文化共生への理解が深まりつつあることが一因だと考えられます。	(%)					☁ (横ばい)

施策のコスト(千円)

R04	R05
24,805	14,860

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政及び事業者	基本事業がめざす姿 あらゆる差別や偏見の解消及び多様性を認める人権尊重意識の高揚を図ります。お互いに相手の立場を認め合える豊かな感性をもった児童・生徒を育てます。
-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	学習等により、この1年間に自身の人権意識が高まったと思う町民の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	上がるの良い指標	%	39.9	39.0	39.0	45.0	(横ばい)
	(状況) 令和5年度は39.0%で、前年と同値です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が弱まったとはいえ、学習会の参加者数がコロナ前に回復していないことが、対基準値微減の原因だと考えられます。						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
指標	相手の気持ちを理解し、やさしい言葉遣いや行動ができる児童・生徒の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
評価	上がるの良い指標	%	84.9	87.8	83.5	90.0	(低下)
	(状況) 令和5年度は83.5%で、前年に比べて4.3ポイント低下しています。 (原因) アンケート設問に対して児童・生徒は厳しい基準で判断したため、令和5年度値が減少しましたが、児童・生徒が人権教育を学んできた成果という捉え方もできます。						(低下) 対前年度 (低下) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
16,162	6,000

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政及び事業者	男女がお互いを尊重しつつ、責任を分かち合い、能力を十分に発揮できる共生社会の実現を目指します。

基本事業の成果状況と評価

指標	男女の地位は平等になっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	20.4	23.2	26.5	50.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 男女の地位は平等になっていると思う町民の割合は26.5%で、前年度と比較して3.3ポイント向上しています。目標値とは大きく離れていますが、徐々に意識は高まりつつあります。</p> <p>(原因) 全国的な男女平等の取組みが、社会全体において徐々に浸透していることが一因であると考えます。</p>						☁ (横ばい)
							■ 目標達成度 (低)

基本事業のコスト(千円)

R04	R05
33	162

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R04	R05
8,610	8,698

